

**和東町まちづくりアンケート
調査結果報告書**

令和2年6月

和 東 町

目次

I. 調査の目的と概要

1. 調査の目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
(1) 調査の対象.....	1
(2) 調査の方法.....	1
(3) 調査の期間.....	1
(4) 配布・回収の状況.....	1
(5) 本報告書の見方について.....	1

II. アンケートの結果

1. 回答者の属性.....	2
(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	2
(3) 職業.....	3
(4) 就学先・勤務先.....	3
(5) 居住年数.....	4
(6) 居住地区.....	4
2. まちづくりの評価と今後優先すべきことについて.....	5
(1) 和束町を担う次世代の人づくり協働プログラム.....	6
(2) 住民が支えあう安心と信頼の協働プログラム.....	10
(3) 安全で快適な暮らしを実現できる協働プログラム.....	14
(4) 自然を守りともに暮らす協働プログラム.....	17
(5) 和束のブランドを高める協働プログラム.....	21
(6) 住民・事業者・行政がともに進める協働プログラム.....	25
3. 各分野の取組の重要性について.....	28
(1) 産業振興における重要項目.....	28
(2) 観光振興における重要項目.....	30
(3) 生活環境の整備における重要項目.....	32
(4) 防災における優先項目.....	34
(5) 保健・医療・福祉における重要項目.....	36
(6) 子どもの教育における重要項目.....	38
(7) 生涯学習、文化・スポーツ活動における重要項目.....	40
(8) 行財政運営における重要項目.....	42
4. 公共交通について.....	44
(1) 外出する際の主な交通手段.....	44
(2) 外出の主な目的.....	45

(3) 環境に優しい新たな交通手段の利用意向	47
(4) 外出の利便性向上のために必要な改善・施策	48
5. 住みやすさや、定住意向について	49
(1) 定住意向	49
(2) これからも住みたい理由	50
(3) 転出したい理由	52
6. 人口について	54
(1) 人口	54
(2) 人口減少対策において重要だと思う取組	55
(3) 人口減少抑制・関係人口拡大のために重点的に進めるべきだと思う取組	57
7. 結婚について	58
(1) 婚姻状況	58
(2) 結婚していない理由	59
(3) 今後の結婚に関する希望	61
(4) 結婚後の居住意向	62
(5) 重点的に取り組むべき結婚支援事業	63
8. 出産・子育てについて	64
(1) 子どもの人数	64
(2) 理想的な子どもの人数	65
(3) 理想的な子どもの人数の実現の障壁となり得ること	66
(4) 育児に関して今後力を入れるべきだと思うサービス	68
9. 相楽東部広域連合について	70
(1) 相楽東部広域連合に期待すること	70
(2) 相楽東部広域連合の取り組みへの考え	72
10. 協働のまちづくりについて	73
(1) まちづくりへの関心	73
(2) 町民のまちづくりへの参画に対する考え	74
(3) 自分自身が参画したい活動	75
(4) 民間事業者に期待すること	77
(5) 住民と行政の協働のまちづくりを進めるために必要だと思う取組	79
11. 和東町の将来像について	81
(1) 和東町が将来どのようなまちであってほしいか	81
(2) 10年後の和東町のあるべき姿を表現するキーワードやキャッチフレーズ	83
(3) まちづくりに対する意見・要望	84

I

調査の目的と概要

1. 調査の目的

和束町では、平成23年から令和2年度までの10ヶ年を期間とする「和束町第4次総合計画」に基づきまちづくりを進めて参りましたが、同計画期間の終了に伴って、「和束町第5次総合計画【基本構想・前期基本計画】」（令和3年度スタート）を策定いたします。

策定にあたって、これまでのまちづくりに関する評価及び今後のまちづくりへのご意見を幅広く調査するため、このアンケートを実施しました。

2. 調査の概要

(1) 調査の対象

和束町に居住する18歳以上の住民の中から1,500人を無作為抽出

(2) 調査の方法

配布：郵送による配布

回収：郵便ポスト、もしくは和束町役場ロビー、人権ふれあいセンター事務所、湯船財産区事務所に備え付けのアンケート回収ボックスへ投函

(3) 調査の期間

令和2年4月1日（水）～4月30日（木）

(4) 配布・回収の状況

調査票の配布・回収の状況は下表の通りです（中段は前回、下段は前々回調査の配布・回収状況）。

調査年月	配布数 A	回収数	有効回答数 B	回収率 B/A
令和2年4月	1,500	352	352	23.5%
平成27年2月	1,540	380	380	24.7%
平成22年3月	1,500	555	555	37.0%

(5) 本報告書の見方について

- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。したがって合計が100.0%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数（回収数）は、“全体（n=〇〇）”として掲載し、各比率は回収数を100.0%として算出しました。
- ③ 1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ④ 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- ⑤ 「 」は一つの選択肢、“ ”は複数の選択肢を合わせた表現、< >は調査項目、<< >>は、複数の調査項目をまとめた分類名を表します。

Ⅱ

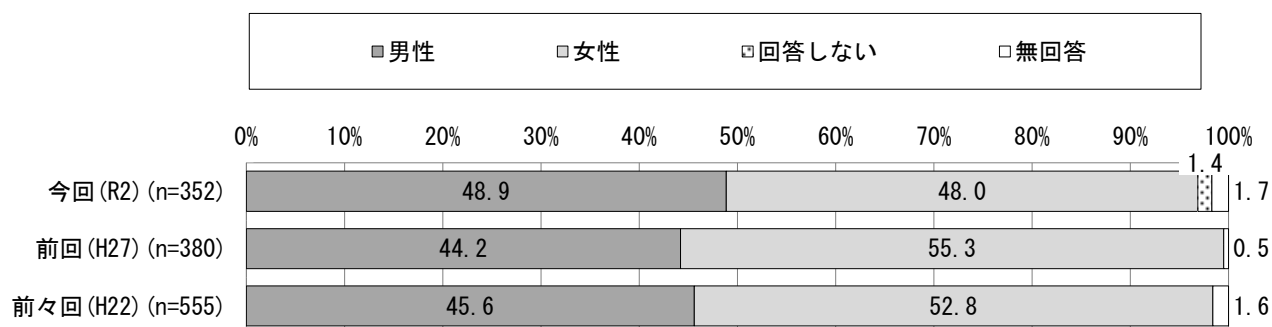
アンケートの結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

あなたの性別

「男性」が48.9%、「女性」が48.0%となっています。
 今回調査では、前回調査、前々回調査とは異なり、女性より男性の回答者が多くなっています。

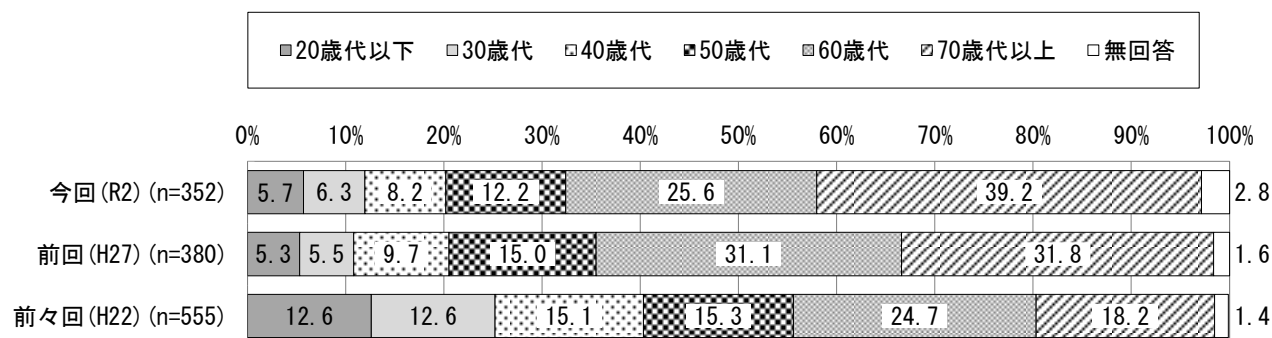


(2) 年齢

あなたの年齢

「70歳代以上」が39.2%と最も高く、「60歳代」が25.6%、「50歳代」が12.2%、「40歳代」が8.2%、「30歳代」が6.3%と続いています。

前回調査と比較すると、「70歳代以上」の割合が7.4%増加しており、アンケート結果にこの年代の意見がより影響されやすくなっているといえます。



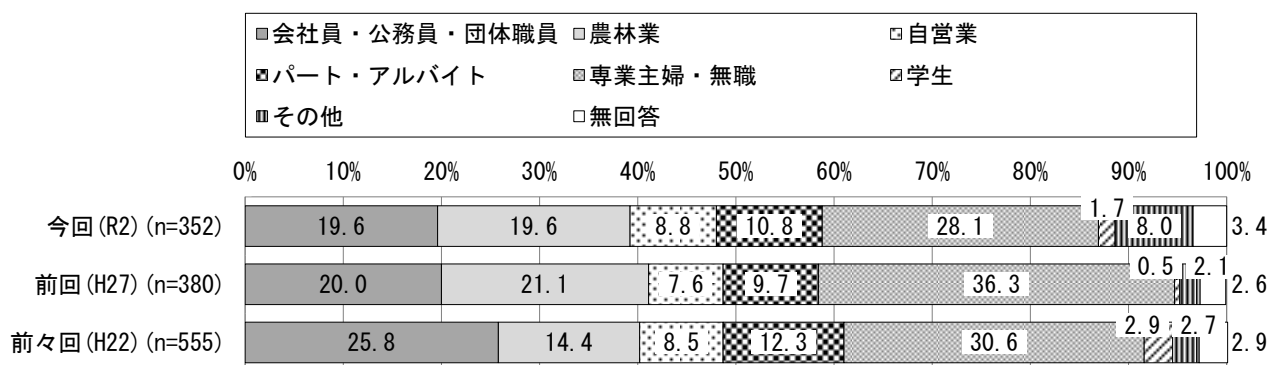
※今回アンケートには「10歳代」との選択肢があるが、前回 (H27)、前々回 (H22) アンケートではみられない。比較を行うため「10歳代」と「20歳代」を合わせて「20歳代以下」と示している。

(3) 職業

あなたの職業（※主たるもの）

「専業主婦・無職」が28.1%と最も高く、「会社員・公務員・団体職員」と「農林業」がそれぞれ19.6%、「パート・アルバイト」が10.8%、「自営業」が8.8%と続いています。

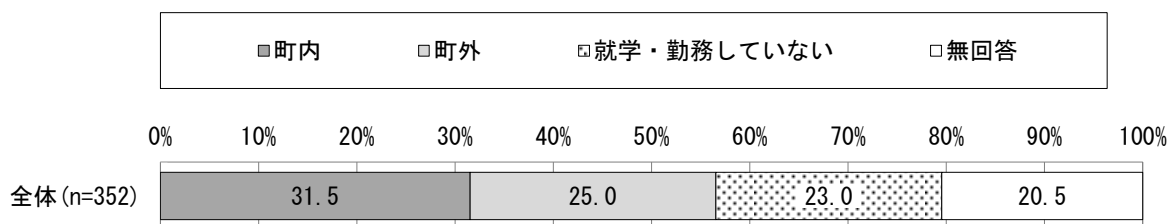
前回調査と比較すると、「専業主婦・無職」が低くなっています。



(4) 就学先・勤務先

あなたの就学先・勤務先

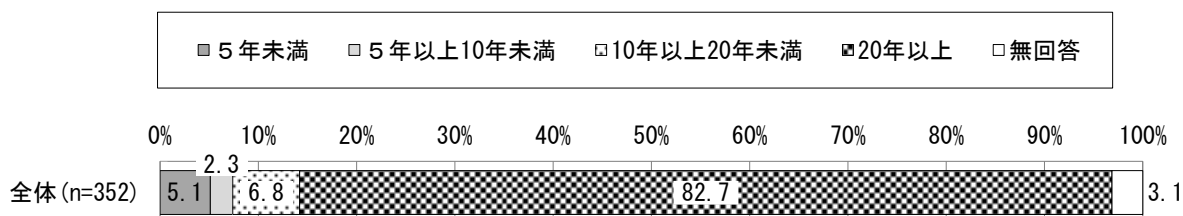
「町内」が31.5%、「町外」が25.0%、「就学・勤務していない」が23.0%となっています。



(5) 居住年数

和東町居住年数（通算）

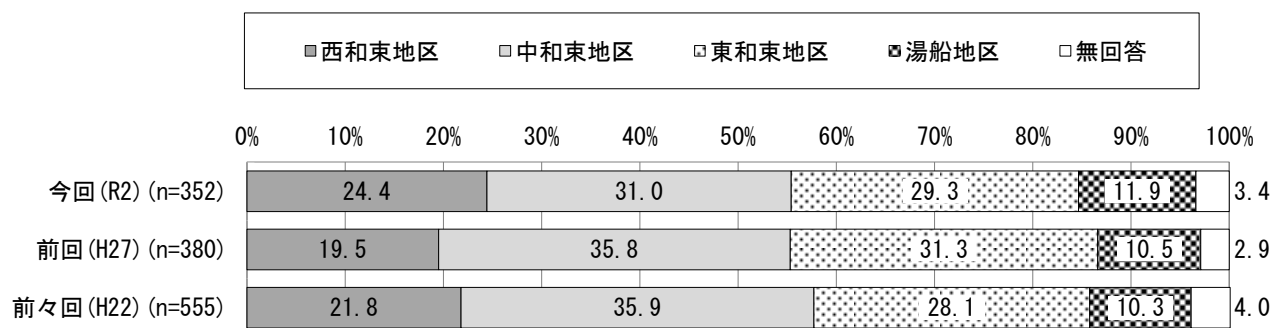
「20年以上」が82.7%と最も高く、「10年以上20年未満」が6.8%、「5年未満」が5.1%、「5年以上10年未満」が2.3%と続いています。



(6) 居住地区

お住まいの地区

「西和東地区」が24.4%、「中和東地区」が31.0%、「東和東地区」が29.3%、「湯船地区」が11.9%となっています。



2. まちづくりの評価と今後優先すべきことについて

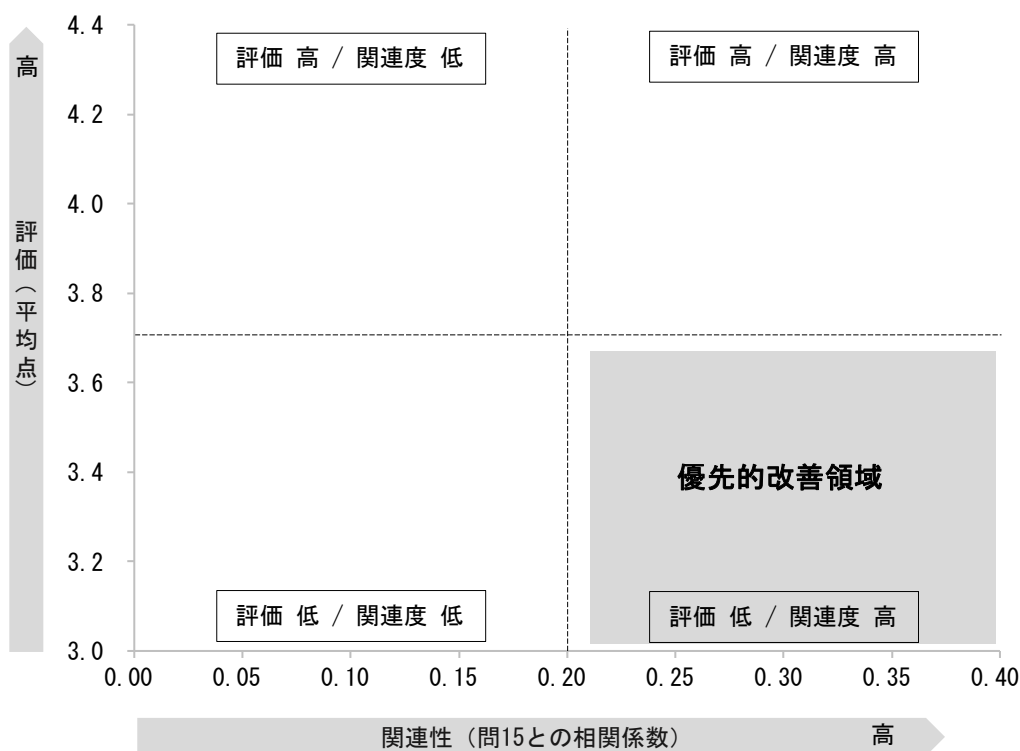
問2 和束町では平成28年度から「和束町第4次総合計画【後期基本計画】」に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。現在、町が取り組んでいる下記の項目（施策）ごとに、現状の満足度について、あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○をつけてください。

問2では、各項目の評価と総合満足度との関連を次のように検討します。

評価は、各項目を「満足している」=6点、「どちらかといえば満足している」=5点、「どちらともいえない」=4点、「どちらかといえば不満である」=3点、「不満である」=2点、「見直すべき」=1点として、平均点により判断しています。

関連性は、定住意向（問15「あなたはこれからも和束町に住み続けたいですか。」）との相関係数により判断しています（「定住意向」を「総合満足度を示す項目」とみなしています）。なお、相関係数とは、2種類のデータの関係を示す指標です。相関係数が1に近いほど、関連性が高いことが示されます。

評価と関連性のグラフでは、以下のようなことがわかります。



グラフでは、「各項目の評価」が縦軸で示されます。上の方にプロットされている項目はすでに評価が高いといえます。また、「総合満足度（定住意向）との関連性」が横軸で示されます。右の方にプロットされている項目は関連性が高いといえます。

このグラフに各項目をプロットすることで、優先的な改善項目を明らかにできます。優先的改善領域となるのはグラフの右下です。この領域では、「総合満足度（定住意向）との関連性」は高く、「項目の評価」が低いことが示されます。つまり、改善することで総合満足度（定住意向）の向上に繋がる可能性が高い項目であるといえます。

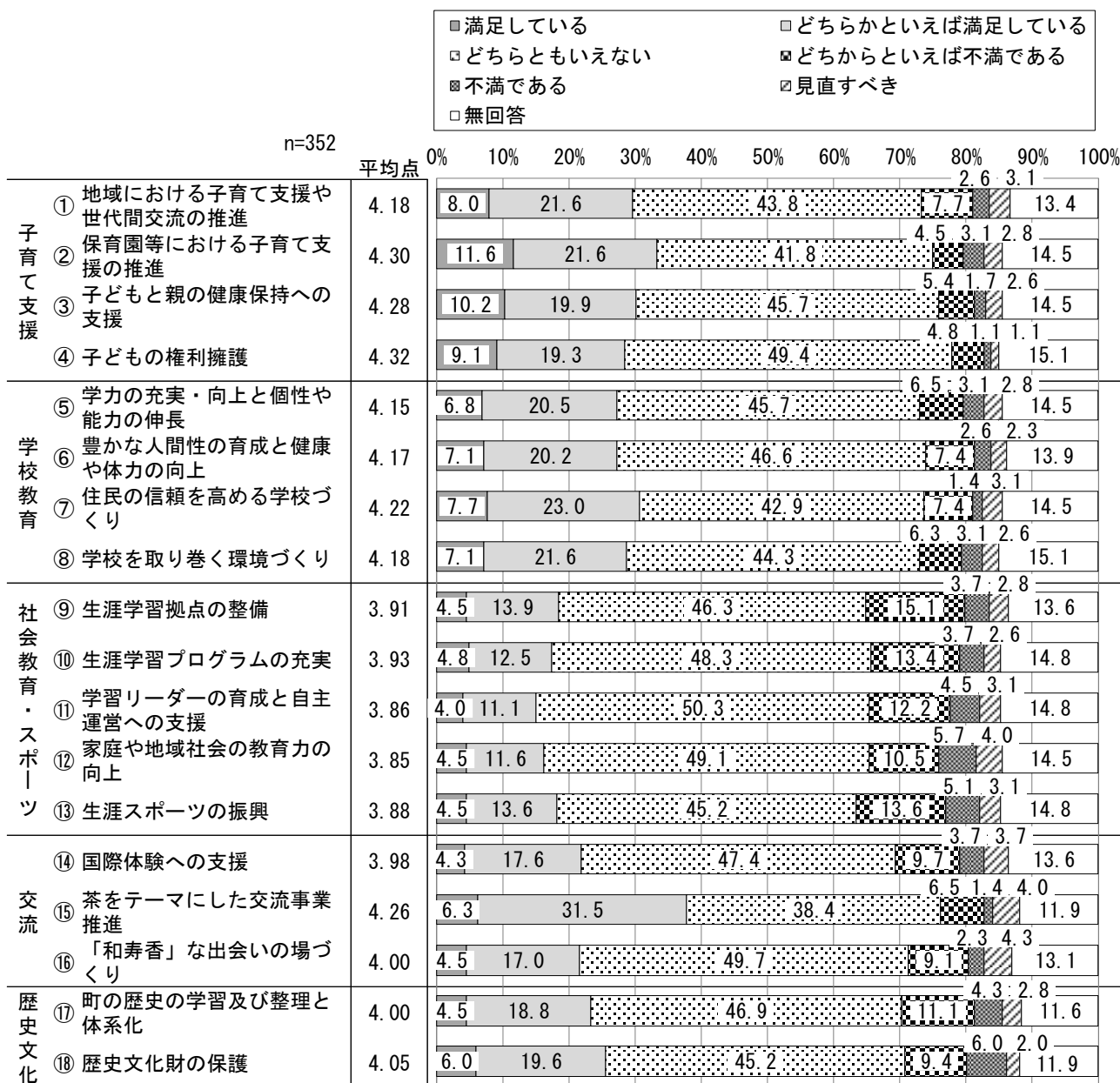
(1) 和束町を担う次世代の人づくり協働プログラム

(ア) 回答および平均点

満足度の評価（平均点）は、＜④子どもの権利擁護＞が4.32点と最も高く、＜②保育園等における子育て支援の推進＞が4.30点、＜③子どもと親の健康保持への支援＞が4.28点と続いています。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”の割合は、＜⑮茶をテーマにした交流事業推進＞が37.8%と最も高くなっています。

「見直すべき」、「不満である」、「どちらかという不満である」を合わせた“不満”の割合は、《社会教育・スポーツ》関連の各項目で高くなっています。



(イ) 属性別平均点

性別では、ほとんどの項目で男性よりも女性の平均点が高くなっています。ただし、平均点に大きな違いはみられません。

年代別では、20歳代以下の平均点が高い傾向にあります。特に、＜⑮茶をテーマにした交流事業推進＞が4.95点と非常に高くなっています。一方、50歳代の平均点が低い傾向にあり、そのなかでも＜⑬生涯スポーツの振興＞は3.51点となっています。

属性 項目		性別		年代別					
		男性	女性	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
子育て支援	① 地域における子育て支援や世代間交流の推進	4.13	4.26	4.58	4.14	4.38	3.90	4.19	4.16
	② 保育園等における子育て支援の推進	4.30	4.32	4.84	3.95	4.48	4.02	4.35	4.30
	③ 子どもと親の健康保持への支援	4.23	4.33	4.53	4.23	4.64	3.95	4.26	4.27
	④ 子どもの権利擁護	4.27	4.38	4.63	4.32	4.56	4.02	4.36	4.26
学校教育	⑤ 学力の充実・向上と個性や能力の伸長	4.15	4.17	4.58	4.14	4.48	3.68	4.15	4.17
	⑥ 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上	4.15	4.21	4.53	4.32	4.56	3.80	4.01	4.23
	⑦ 住民の信頼を高める学校づくり	4.22	4.25	4.79	4.14	4.72	3.76	4.11	4.28
	⑧ 学校を取り巻く環境づくり	4.21	4.19	4.58	4.27	4.52	3.75	4.10	4.25
社会教育・スポーツ	⑨ 生涯学習拠点の整備	3.88	3.94	3.84	3.95	4.13	3.76	3.76	3.98
	⑩ 生涯学習プログラムの充実	3.88	3.98	4.05	3.95	4.17	3.78	3.75	3.99
	⑪ 学習リーダーの育成と自主運営への支援	3.88	3.84	4.16	3.95	3.96	3.80	3.80	3.80
	⑫ 家庭や地域社会の教育力の向上	3.89	3.79	4.11	3.91	3.96	3.80	3.71	3.83
	⑬ 生涯スポーツの振興	3.84	3.89	4.05	4.05	3.96	3.51	3.79	3.95
交流	⑭ 国際体験への支援	3.96	4.06	4.00	4.18	4.17	3.93	4.00	3.97
	⑮ 茶をテーマにした交流事業推進	4.27	4.32	4.95	4.50	4.52	4.20	4.26	4.14
	⑯ 「和寿香」な出会いの場づくり	3.99	4.04	4.21	3.91	4.26	3.88	4.00	4.02
歴史文化	⑰ 町の歴史の学習及び整理と体系化	3.97	4.06	4.79	3.91	4.21	3.78	3.93	4.01
	⑱ 歴史文化財の保護	3.97	4.16	4.68	4.36	4.08	3.93	3.93	4.04

…他の属性よりも平均点が高い

…他の属性よりも平均点が高い

地区別では、《子育て支援》や《学校教育》関連の各項目は西和東地区、《社会教育・スポーツ》関連の各項目は中和東地区、《交流》や《歴史文化》関連の各項目は湯船地区の評価が低い（一部除く）など、地区によって顕著な傾向の違いがみられます。

職業別では、農林業の平均点が高い傾向にあります。しかし、《交流》や《歴史文化》関連の各項目では傾向が異なります。特に、＜⑭国際体験への支援＞、＜⑯「和寿香」な出会いの場づくり＞、＜⑰町の歴史の学習及び整理と体系化＞では、平均点は3点台と低くなっています。

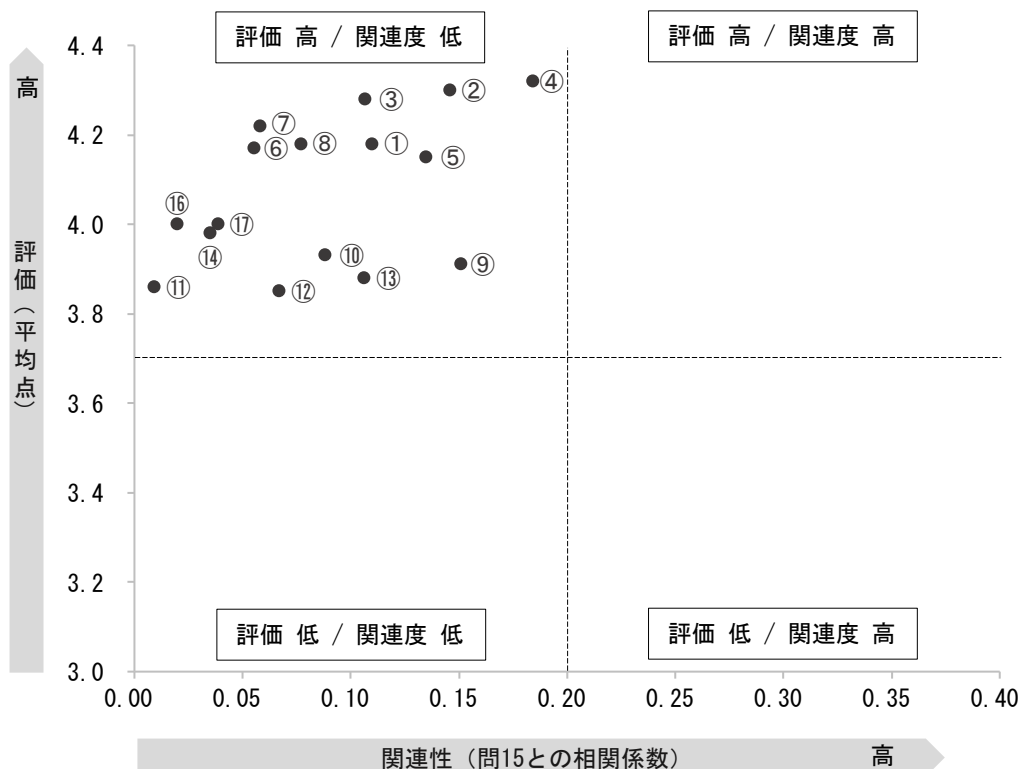
属性 項目		地区別				職業別		
		西和東地区	中和東地区	東和東地区	湯船地区	有職	うち農林業	主婦・無職
子育て支援	① 地域における子育て支援や世代間交流の推進	4.03	4.28	4.20	4.25	4.14	4.25	4.20
	② 保育園等における子育て支援の推進	4.25	4.29	4.43	4.26	4.29	4.33	4.26
	③ 子どもと親の健康保持への支援	4.23	4.30	4.34	4.22	4.26	4.45	4.24
	④ 子どもの権利擁護	4.25	4.32	4.34	4.40	4.30	4.43	4.34
学校教育	⑤ 学力の充実・向上と個性や能力の伸長	4.05	4.09	4.26	4.31	4.17	4.37	3.98
	⑥ 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上	4.09	4.11	4.28	4.31	4.15	4.26	4.06
	⑦ 住民の信頼を高める学校づくり	4.14	4.27	4.23	4.29	4.23	4.28	4.08
	⑧ 学校を取り巻く環境づくり	4.14	4.13	4.25	4.37	4.22	4.35	4.00
社会教育・スポーツ	⑨ 生涯学習拠点の整備	3.93	3.77	4.01	3.94	3.92	4.17	3.81
	⑩ 生涯学習プログラムの充実	3.91	3.80	4.02	4.03	3.94	4.16	3.83
	⑪ 学習リーダーの育成と自主運営への支援	3.86	3.74	3.93	3.97	3.90	4.04	3.67
	⑫ 家庭や地域社会の教育力の向上	3.88	3.69	3.90	4.03	3.86	4.05	3.64
	⑬ 生涯スポーツの振興	3.87	3.68	4.02	4.03	3.87	4.05	3.76
交流	⑭ 国際体験への支援	4.03	3.91	4.07	4.09	3.97	3.89	3.92
	⑮ 茶をテーマにした交流事業推進	4.28	4.26	4.37	4.19	4.29	4.14	4.11
	⑯ 「和寿香」な出会いの場づくり	4.05	4.00	4.10	3.81	4.00	3.96	3.92
歴史文化	⑰ 町の歴史の学習及び整理と体系化	4.00	3.98	4.12	3.77	3.98	3.97	3.91
	⑱ 歴史文化財の保護	3.96	3.99	4.16	4.19	4.03	4.00	4.01

…他の属性よりも平均点が高い
 …他の属性よりも平均点が高い

※職業別の属性において、【有職】とは農林業を含むすべての有職者、【うち農林業】とは有職者のうちの農林業のみを示している

(ウ) 定住意向との関連性

すべての項目が左上の、「評価が高く、総合満足度（定住意向）との関連性が低い領域」にプロットされています。



※⑮および⑱は相関係数がマイナス値であるため掲載していない

参考) 評価（満足度の平均点）と関連性（問 15 との相関係数）の数値

個別の評価を示す項目	評価 (平均点)	関連性 (問15との相関係数)
① 地域における子育て支援や世代間交流の推進	4.18	0.11
② 保育園等における子育て支援の推進	4.30	0.15
③ 子どもと親の健康保持への支援	4.28	0.11
④ 子どもの権利擁護	4.32	0.18
⑤ 学力の充実・向上と個性や能力の伸長	4.15	0.13
⑥ 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上	4.17	0.06
⑦ 住民の信頼を高める学校づくり	4.22	0.06
⑧ 学校を取り巻く環境づくり	4.18	0.08
⑨ 生涯学習拠点の整備	3.91	0.15
⑩ 生涯学習プログラムの充実	3.93	0.09
⑪ 学習リーダーの育成と自主運営への支援	3.86	0.01
⑫ 家庭や地域社会の教育力の向上	3.85	0.07
⑬ 生涯スポーツの振興	3.88	0.11
⑭ 国際体験への支援	3.98	0.04
⑮ 茶をテーマにした交流事業推進	4.26	-0.05
⑯ 「和寿香」な出会いの場づくり	4.00	0.02
⑰ 町の歴史の学習及び整理と体系化	4.00	0.04
⑱ 歴史文化財の保護	4.05	-0.02

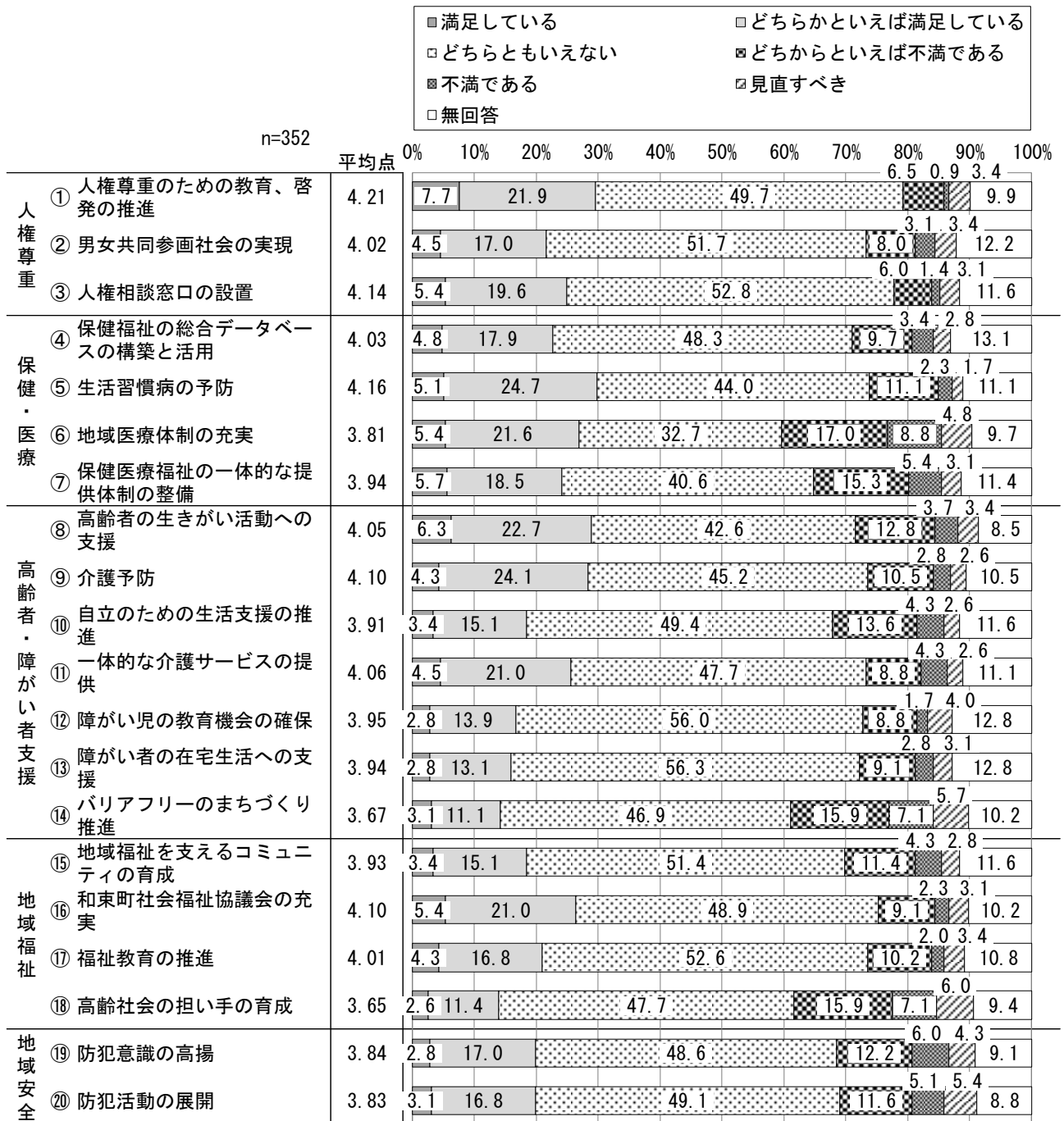
(2) 住民が支えあう安心と信頼の協働プログラム

(ア) 回答および平均点

満足度の評価（平均点）は、＜①人権尊重のための教育、啓発の推進＞が4.21点と最も高く、＜⑤生活習慣病の予防＞が4.16点、＜③人権相談窓口の設置＞が4.14点と続いています。一方、＜⑱高齢社会の担い手の育成＞が3.65点と最も低くなっています。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”の割合は、＜⑤生活習慣病の予防＞が29.8%と最も高くなっています。

「見直すべき」、「不満である」、「どちらかという不満である」を合わせた“不満”の割合は、「⑥地域医療体制の充実」が30.6%と最も高くなっています。



(イ) 属性別平均点

性別では、多くの項目で男性よりも女性の平均点が高くなっています。ただし、平均点に大きな違いはみられません。

年代別では、20歳代以下の平均点が高い傾向にあります。一方、30歳代の平均点が低い傾向にあり、そのなかでも<⑥地域医療体制の充実>が3.32点と低くなっています。

属性 項目		性別		年代別					
		男性	女性	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
人権尊重	① 人権尊重のための教育、啓発の推進	4.26	4.23	4.53	4.00	4.44	4.10	4.21	4.29
	② 男女共同参画社会の実現	4.08	4.01	4.37	3.68	3.88	4.07	4.06	4.07
	③ 人権相談窓口の設置	4.13	4.22	4.58	4.18	4.33	4.07	4.08	4.16
保健・医療	④ 保健福祉の総合データベースの構築と活用	4.04	4.08	4.42	3.77	4.20	3.98	3.96	4.13
	⑤ 生活習慣病の予防	4.18	4.19	4.37	4.05	4.21	4.05	4.13	4.26
	⑥ 地域医療体制の充実	3.88	3.75	4.11	3.32	3.75	3.48	3.77	3.99
	⑦ 保健医療福祉の一体的な提供体制の整備	4.02	3.89	4.26	3.68	3.88	3.73	4.01	4.00
高齢者・障がい者支援	⑧ 高齢者の生きがい活動への支援	4.05	4.07	4.37	4.05	4.28	3.90	3.99	4.05
	⑨ 介護予防	4.10	4.12	4.21	4.05	4.17	3.98	4.11	4.10
	⑩ 自立のための生活支援の推進	3.91	3.93	3.84	3.86	3.75	3.86	3.95	3.94
	⑪ 一体的な介護サービスの提供	4.03	4.11	4.26	3.86	4.25	3.81	4.08	4.08
	⑫ 障がい児の教育機会の確保	3.96	3.97	4.32	3.59	3.96	3.88	3.98	3.96
	⑬ 障がい者の在宅生活への支援	3.95	3.95	4.21	3.59	3.88	3.86	4.02	3.95
	⑭ バリアフリーのまちづくり推進	3.69	3.71	4.26	3.45	3.28	3.40	3.74	3.81
地域福祉	⑮ 地域福祉を支えるコミュニティの育成	3.89	4.01	4.11	3.71	3.96	3.90	3.93	3.98
	⑯ 和束町社会福祉協議会の充実	4.09	4.17	4.00	3.86	4.04	4.00	4.15	4.20
	⑰ 福祉教育の推進	4.03	4.05	4.00	3.73	4.00	3.95	4.02	4.11
	⑱ 高齢社会の担い手の育成	3.65	3.71	3.74	3.64	3.58	3.40	3.67	3.77
地域安全	⑲ 防犯意識の高揚	3.86	3.86	3.89	3.55	3.60	3.71	3.84	4.04
	⑳ 防犯活動の展開	3.85	3.86	4.21	3.50	3.64	3.55	3.81	4.04

…他の属性よりも平均点が高い

…他の属性よりも平均点が高い

地区別では、東和東地区の平均点が高い傾向にあります。特に、＜⑥地域医療体制の充実＞では、東和東地区の平均点が4.01点と、最も平均点が低い湯船地区（3.53点）と比べて0.48点も高くなっています。

職業別では、農林業の平均点が高く、主婦・無職の平均点が低い傾向にあります。

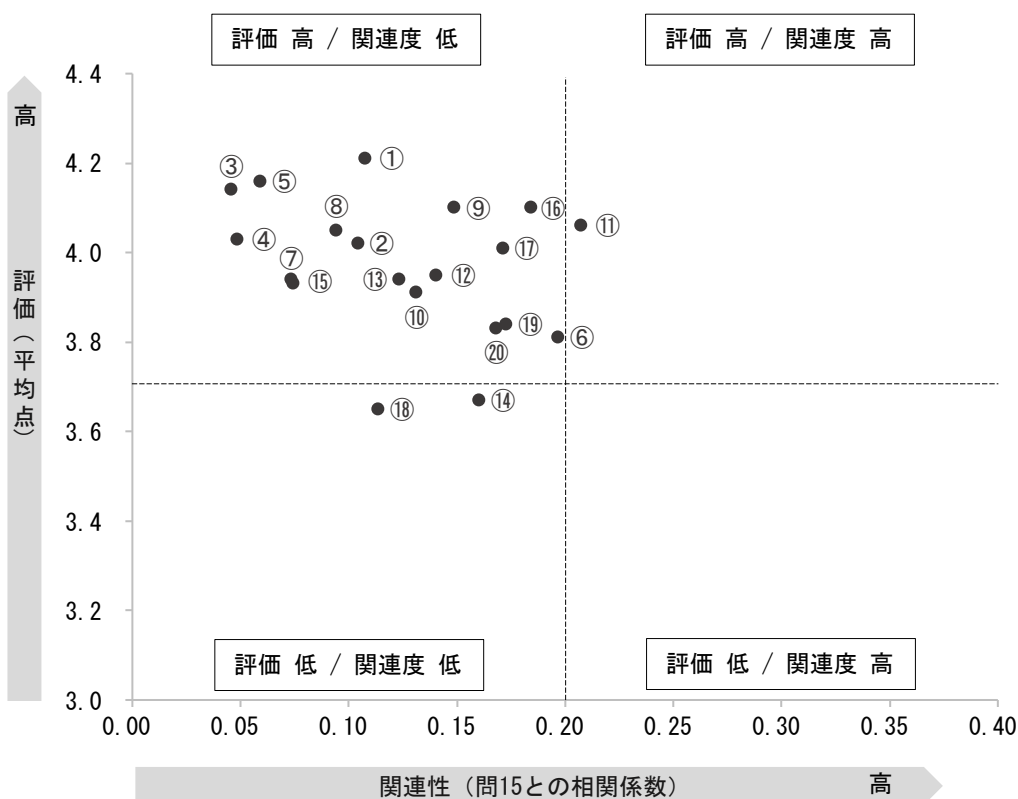
属性 項目		地区別				職業別		
		西和東地区	中和東地区	東和東地区	湯船地区	有職	うち農林業	主婦・無職
人権尊重	① 人権尊重のための教育、啓発の推進	4.19	4.30	4.20	4.17	4.23	4.28	4.09
	② 男女共同参画社会の実現	3.96	4.09	4.04	4.00	4.02	4.11	4.02
	③ 人権相談窓口の設置	4.12	4.17	4.09	4.36	4.13	4.32	4.16
保健・医療	④ 保健福祉の総合データベースの構築と活用	4.09	4.10	3.99	3.91	4.08	4.26	3.92
	⑤ 生活習慣病の予防	4.18	4.13	4.23	4.19	4.19	4.37	4.08
	⑥ 地域医療体制の充実	3.88	3.68	4.01	3.53	3.87	4.32	3.59
	⑦ 保健医療福祉の一体的な提供体制の整備	3.92	3.85	4.14	3.81	3.97	4.27	3.80
高齢者・障がい者支援	⑧ 高齢者の生きがい活動への支援	3.97	3.97	4.22	4.05	4.11	4.29	3.81
	⑨ 介護予防	4.05	4.04	4.28	3.97	4.14	4.37	3.96
	⑩ 自立のための生活支援の推進	3.86	3.91	4.03	3.75	3.91	4.12	3.85
	⑪ 一体的な介護サービスの提供	3.96	4.01	4.23	4.03	4.08	4.40	3.98
	⑫ 障がい児の教育機会の確保	4.00	3.82	4.05	3.97	3.98	4.12	3.82
	⑬ 障がい者の在宅生活への支援	3.99	3.92	4.00	3.78	3.94	4.10	3.90
	⑭ バリアフリーのまちづくり推進	3.71	3.53	3.89	3.59	3.73	4.03	3.55
地域福祉	⑮ 地域福祉を支えるコミュニティの育成	3.97	3.92	3.95	4.00	3.97	4.08	3.91
	⑯ 和東町社会福祉協議会の充実	4.00	4.06	4.25	4.19	4.13	4.39	4.08
	⑰ 福祉教育の推進	4.10	3.90	4.10	4.05	4.06	4.20	3.93
	⑱ 高齢社会の担い手の育成	3.56	3.65	3.76	3.77	3.66	3.87	3.58
地域安全	⑲ 防犯意識の高揚	3.88	3.72	4.02	3.84	3.90	4.03	3.81
	⑳ 防犯活動の展開	3.85	3.73	4.05	3.74	3.88	4.08	3.78

…他の属性よりも平均点が高い

…他の属性よりも平均点が高い

(ウ) 定住意向との関連性

ほとんどの項目が左側の領域に位置しています。総合満足度（定住意向）との関連性は低いといえます。



参考) 評価（満足度の平均点）と関連性（問 15 との相関係数）の数値

個別の評価を示す項目	評価 (平均点)	関連性 (問15との相関係数)
① 人権尊重のための教育、啓発の推進	4.21	0.11
② 男女共同参画社会の実現	4.02	0.10
③ 人権相談窓口の設置	4.14	0.05
④ 保健福祉の総合データベースの構築と活用	4.03	0.05
⑤ 生活習慣病の予防	4.16	0.06
⑥ 地域医療体制の充実	3.81	0.20
⑦ 保健医療福祉の一体的な提供体制の整備	3.94	0.07
⑧ 高齢者の生きがい活動への支援	4.05	0.09
⑨ 介護予防	4.10	0.15
⑩ 自立のための生活支援の推進	3.91	0.13
⑪ 一体的な介護サービスの提供	4.06	0.21
⑫ 障がい児の教育機会の確保	3.95	0.14
⑬ 障がい者の在宅生活への支援	3.94	0.12
⑭ バリアフリーのまちづくり推進	3.67	0.16
⑮ 地域福祉を支えるコミュニティの育成	3.93	0.07
⑯ 和東町社会福祉協議会の充実	4.10	0.18
⑰ 福祉教育の推進	4.01	0.17
⑱ 高齢社会の担い手の育成	3.65	0.11
⑲ 防犯意識の高揚	3.84	0.17
⑳ 防犯活動の展開	3.83	0.17

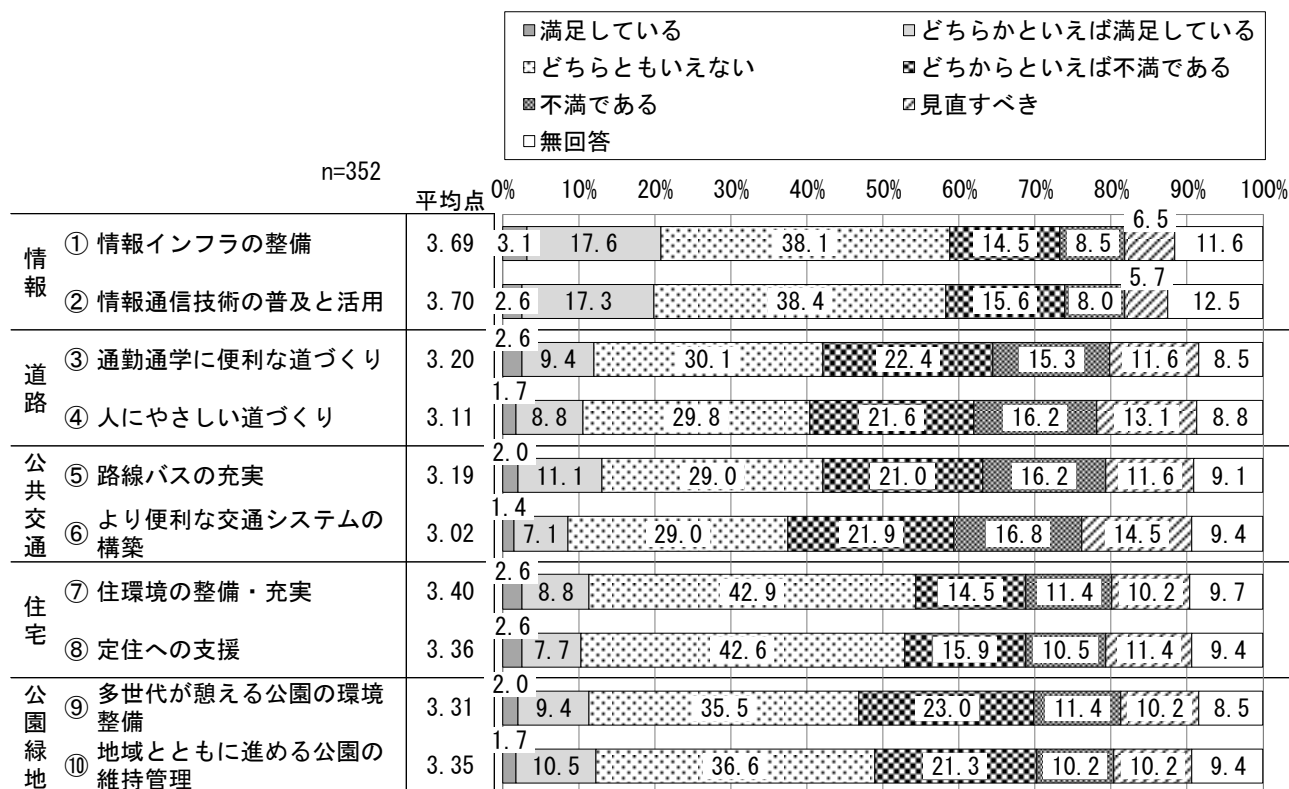
(3) 安全で快適な暮らしを実現できる協働プログラム

(ア) 回答および平均点

満足度の評価（平均点）は、＜②情報通信技術の普及と活用＞が3.70点と最も高く、＜①情報インフラの整備＞が3.69点、＜⑦住環境の整備・充実＞が3.40点と続いています。全体的に4点を超える項目はみられず、特に＜⑥より便利な交通システムの構築＞は3.02点と低い点数になっています。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”の割合は、《情報》関連の各項目で高くなっています。

「見直すべき」、「不満である」、「どちらかという不満である」を合わせた“不満”の割合は、《道路》や《公共交通》関連の各項目で高くなっています。



(イ) 属性別平均点

性別では、《道路》関連の各項目で、女性の平均点が男性に比べ0.2点程度高くなっています。
 年代別では、すべての項目で30歳代の平均点が最も低く、2点台の項目も多くみられます。

属性 項目		性別		年代別					
		男性	女性	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
情報	① 情報インフラの整備	3.75	3.69	4.05	3.00	3.15	3.53	3.83	3.90
	② 情報通信技術の普及と活用	3.71	3.73	4.15	3.05	3.15	3.63	3.84	3.86
道路	③ 通勤通学に便利な道づくり	3.12	3.32	3.30	2.68	2.92	2.98	3.10	3.53
	④ 人にやさしい道づくり	3.03	3.22	3.05	2.77	2.93	2.80	3.10	3.37
公共交通	⑤ 路線バスの充実	3.26	3.18	3.60	2.41	2.88	2.98	3.07	3.55
	⑥ より便利な交通システムの構築	3.05	3.03	3.10	2.18	2.58	2.75	3.00	3.40
住宅	⑦ 住環境の整備・充実	3.46	3.40	3.85	2.45	3.31	3.20	3.38	3.66
	⑧ 定住への支援	3.35	3.41	3.70	2.45	3.16	3.00	3.37	3.67
公園緑地	⑨ 多世代が憩える公園の環境整備	3.30	3.34	3.60	2.55	3.54	3.49	3.17	3.42
	⑩ 地域とともに進める公園の維持管理	3.31	3.43	3.60	2.77	3.73	3.37	3.19	3.50

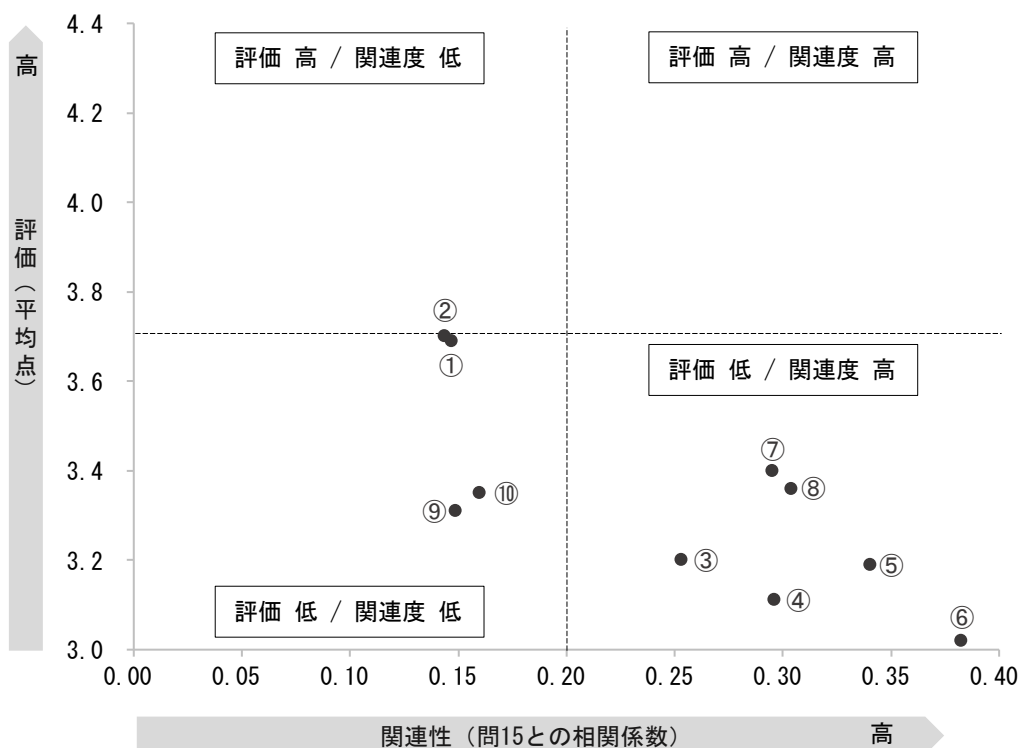
地区別では、湯船地区の平均点が高く、中和東地区の平均点が低い傾向がみられます。
 職業別では、農林業の平均点が高く、有職の平均点が低い傾向がみられます。

属性 項目		地区別				職業別		
		西和東地区	中和東地区	東和東地区	湯船地区	有職	うち農林業	主婦・無職
情報	① 情報インフラの整備	3.64	3.63	3.76	3.89	3.61	3.92	3.74
	② 情報通信技術の普及と活用	3.65	3.64	3.76	3.94	3.64	3.91	3.71
道路	③ 通勤通学に便利な道づくり	3.10	3.08	3.31	3.62	3.14	3.34	3.38
	④ 人にやさしい道づくり	2.94	2.98	3.31	3.44	3.06	3.34	3.23
公共交通	⑤ 路線バスの充実	3.20	2.98	3.23	3.79	3.11	3.51	3.35
	⑥ より便利な交通システムの構築	2.94	2.84	3.19	3.36	2.91	3.36	3.21
住宅	⑦ 住環境の整備・充実	3.53	3.24	3.48	3.51	3.33	3.72	3.47
	⑧ 定住への支援	3.39	3.31	3.40	3.42	3.30	3.68	3.59
公園緑地	⑨ 多世代が憩える公園の環境整備	3.32	3.26	3.38	3.34	3.30	3.38	3.32
	⑩ 地域とともに進める公園の維持管理	3.44	3.32	3.36	3.38	3.37	3.39	3.35

…他の属性よりも平均点が高い
 …他の属性よりも平均点が高い

(ウ) 定住意向との関連性

<③通勤通学に便利な道づくり>～<⑧定住への支援>が、右下の優先的改善領域に位置しています。改善することで、総合満足度（定住意向）が向上すると考えられます。



参考) 評価（満足度の平均点）と関連性（問 15 との相関係数）の数値

個別の評価を示す項目	評価 (平均点)	関連性 (問15との相関係数)
① 情報インフラの整備	3.69	0.15
② 情報通信技術の普及と活用	3.70	0.14
③ 通勤通学に便利な道づくり	3.20	0.25
④ 人にやさしい道づくり	3.11	0.30
⑤ 路線バスの充実	3.19	0.34
⑥ より便利な交通システムの構築	3.02	0.38
⑦ 住環境の整備・充実	3.40	0.30
⑧ 定住への支援	3.36	0.30
⑨ 多世代が憩える公園の環境整備	3.31	0.15
⑩ 地域とともに進める公園の維持管理	3.35	0.16

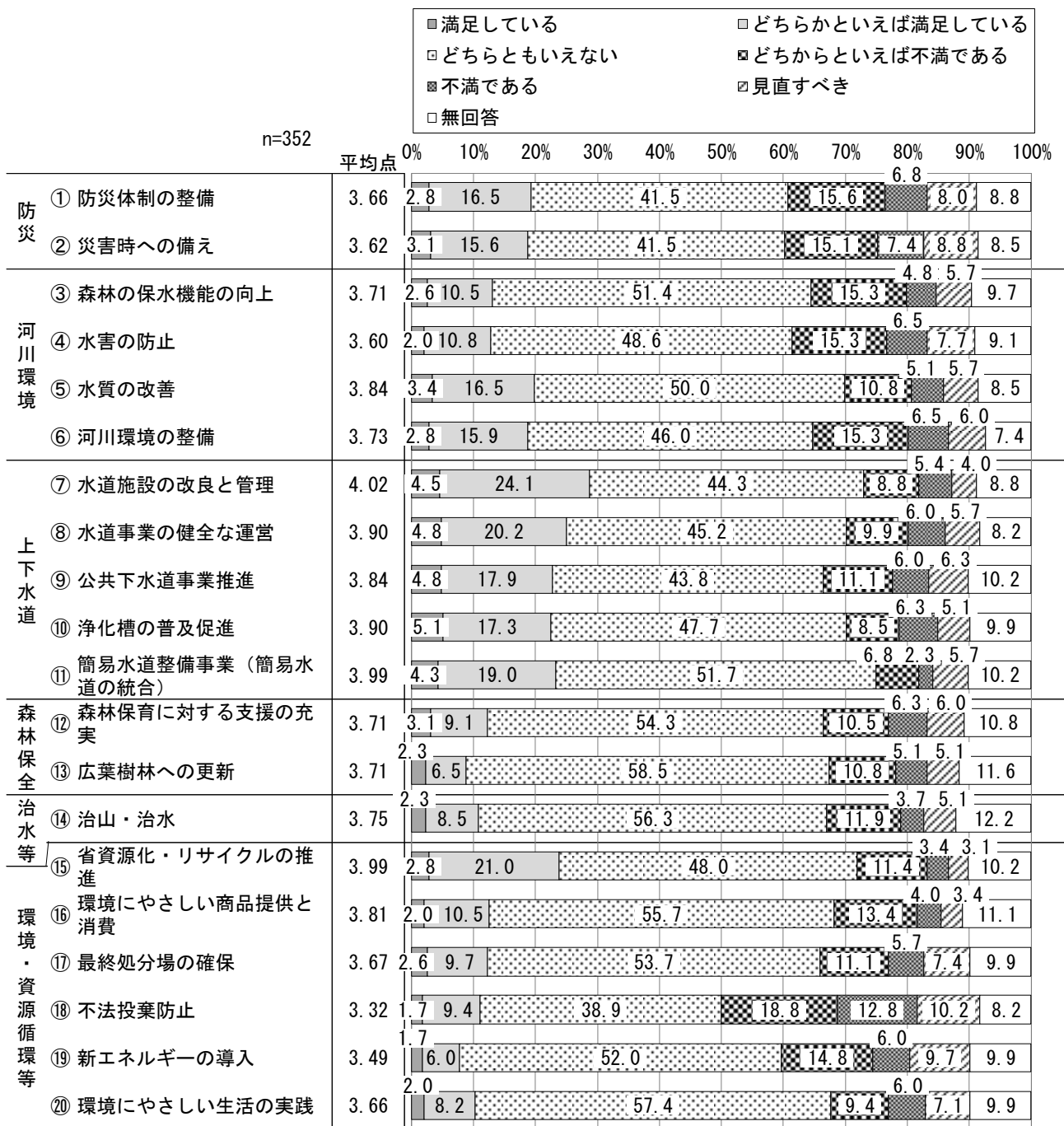
(4) 自然を守りともに暮らす協働プログラム

(ア) 回答および平均点

満足度の評価（平均点）は、＜⑦水道施設の改良と管理＞が4.02点と最も高く、＜⑪簡易水道整備事業（簡易水道の統合）＞と＜⑮省資源化・リサイクルの推進＞がそれぞれ3.99点と続いています。全体的に4点を超える項目はほとんどみられません。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”の割合は、＜⑦水道施設の改良と管理＞が28.6%と最も高くなっています。

「見直すべき」、「不満である」、「どちらかという不満である」を合わせた“不満”の割合は、「⑱不法投棄防止」が41.8%と最も高くなっています。また、《防災》関連の各項目では3割を超えています。



(イ) 属性別平均点

性別では、多くの項目で男性よりも女性の平均点が高くなっています。特に、＜⑬広葉樹林への更新＞、＜⑭治山・治水＞、＜⑰最終処分場の確保＞では0.3点以上の差がみられます。

年代別では、多くの項目で20歳代以下の平均点が高い傾向にあります。ただし、《防災》関連の各項目では70歳代以上の平均点が最も高くなっています。

属性 項目		性別		年代別					
		男性	女性	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
防災	① 防災体制の整備	3.60	3.78	3.75	3.09	3.85	3.51	3.59	3.88
	② 災害時への備え	3.55	3.75	3.70	3.05	3.77	3.51	3.56	3.83
河川環境	③ 森林の保水機能の向上	3.63	3.83	4.40	3.68	3.69	3.60	3.69	3.71
	④ 水害の防止	3.53	3.70	4.40	3.68	3.52	3.48	3.55	3.59
	⑤ 水質の改善	3.81	3.92	4.65	3.77	3.56	3.67	3.74	3.97
	⑥ 河川環境の整備	3.71	3.79	4.55	3.64	3.81	3.71	3.56	3.78
上下水道	⑦ 水道施設の改良と管理	4.02	4.07	4.35	3.41	3.93	3.60	4.02	4.28
	⑧ 水道事業の健全な運営	3.82	4.05	4.20	3.50	3.67	3.51	3.85	4.19
	⑨ 公共下水道事業推進	3.82	3.91	4.20	3.09	3.56	3.59	3.99	4.02
	⑩ 浄化槽の普及促進	3.97	3.88	4.60	3.50	3.52	3.68	4.08	3.95
	⑪ 簡易水道整備事業（簡易水道の統合）	3.99	4.05	4.55	3.68	3.93	3.83	3.94	4.12
森林保全	⑫ 森林保育に対する支援の充実	3.61	3.86	4.40	3.95	3.64	3.65	3.55	3.75
	⑬ 広葉樹林への更新	3.57	3.90	3.95	3.82	3.72	3.85	3.67	3.68
治水等	⑭ 治山・治水	3.61	3.94	4.32	4.00	3.80	3.55	3.66	3.76
環境・資源循環等	⑮ 省資源化・リサイクルの推進	4.02	4.01	4.30	3.55	4.08	3.72	4.16	4.03
	⑯ 環境にやさしい商品提供と消費	3.86	3.80	4.15	3.64	3.81	3.68	3.92	3.79
	⑰ 最終処分場の確保	3.54	3.84	4.25	3.41	3.85	3.48	3.67	3.69
	⑱ 不法投棄防止	3.28	3.39	3.80	3.09	3.35	3.22	3.22	3.43
	⑲ 新エネルギーの導入	3.43	3.57	4.10	3.09	3.62	3.08	3.39	3.69
	⑳ 環境にやさしい生活の実践	3.61	3.74	4.15	3.50	3.54	3.65	3.60	3.74

…他の属性よりも平均点が高い

…他の属性よりも平均点が高い

地区別では、《環境・資源循環等》関連の各項目で、中和東地区の平均点が最も低くなっています。

職業別では、農林業の平均点が高い傾向にあります。特に《上下水道》関連の各項目では4点台となっています。

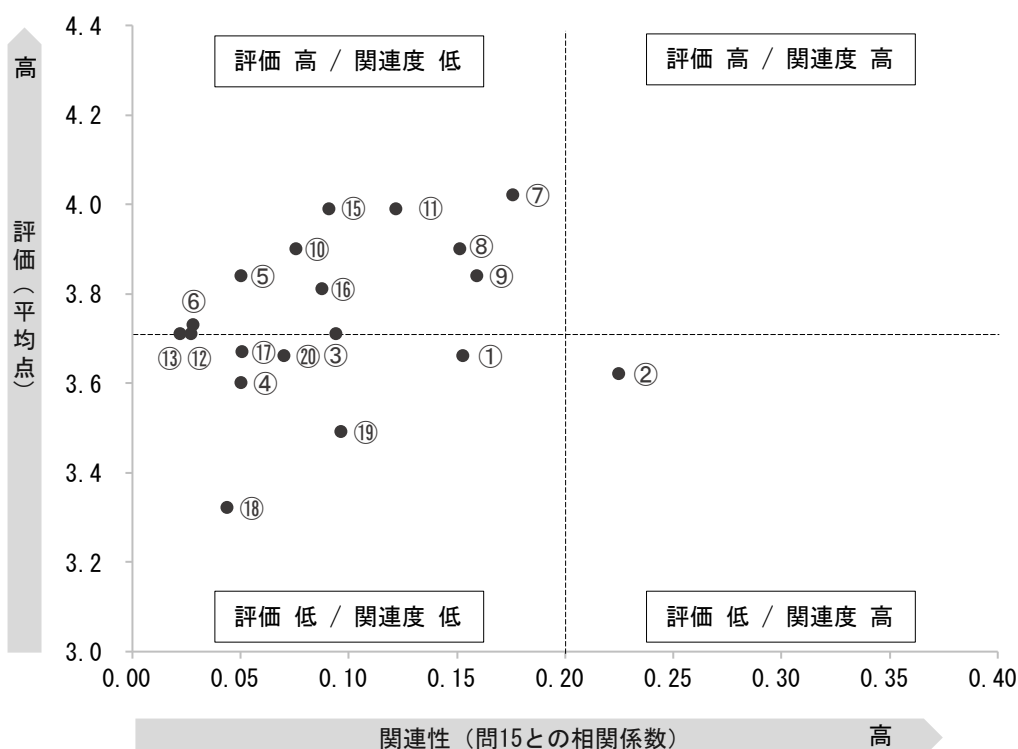
属性 項目		地区別				職業別		
		西 和 東 地区	中 和 東 地区	東 和 東 地区	湯 船 地 区	有 職	う ち 農 林 業	主 婦 ・ 無 職
防災	① 防災体制の整備	3.66	3.62	3.77	3.58	3.66	3.90	3.68
	② 災害時への備え	3.65	3.54	3.79	3.50	3.60	4.00	3.73
河川 環境	③ 森林の保水機能の向上	3.65	3.74	3.73	3.77	3.73	3.81	3.72
	④ 水害の防止	3.54	3.62	3.68	3.50	3.61	3.77	3.58
	⑤ 水質の改善	3.79	3.81	3.92	4.08	3.83	4.03	3.92
	⑥ 河川環境の整備	3.85	3.73	3.76	3.58	3.80	3.92	3.62
上下 水道	⑦ 水道施設の改良と管理	3.81	4.08	4.10	4.26	4.02	4.31	4.11
	⑧ 水道事業の健全な運営	3.87	3.83	3.94	4.16	3.89	4.08	3.99
	⑨ 公共下水道事業推進	3.68	3.90	4.00	3.77	3.86	4.18	3.80
	⑩ 浄化槽の普及促進	3.95	3.93	3.88	3.87	3.94	4.16	3.88
	⑪ 簡易水道整備事業（簡易水道の統合）	3.96	4.09	3.98	4.03	4.02	4.21	4.00
森林 保全	⑫ 森林保育に対する支援の充実	3.66	3.73	3.78	3.75	3.71	3.87	3.68
	⑬ 広葉樹林への更新	3.75	3.72	3.71	3.69	3.71	3.77	3.78
治水 等	⑭ 治山・治水	3.60	3.72	3.84	3.97	3.76	3.90	3.78
環境・ 資源 循環 等	⑮ 省資源化・リサイクルの推進	4.12	3.86	4.05	4.05	3.96	4.12	4.04
	⑯ 環境にやさしい商品提供と消費	3.92	3.72	3.87	3.79	3.80	3.93	3.83
	⑰ 最終処分場の確保	3.61	3.61	3.73	3.86	3.60	3.72	3.83
	⑱ 不法投棄防止	3.43	3.15	3.46	3.26	3.23	3.38	3.40
	⑲ 新エネルギーの導入	3.48	3.32	3.63	3.68	3.39	3.60	3.64
	⑳ 環境にやさしい生活の実践	3.90	3.49	3.63	3.82	3.61	3.79	3.71

…他の属性よりも平均点が高い

…他の属性よりも平均点が高い

(ウ) 定住意向との関連性

<②災害時への備え>が右下の優先的改善領域に位置しています。改善することで総合満足度（定住意向）が向上すると考えられます。



※⑭は相関係数が0であるため掲載していない

参考) 評価（満足度の平均点）と関連性（問 15 との相関係数）の数値

個別の評価を示す項目	評価 (平均点)	関連性 (問15との相関係数)
① 防災体制の整備	3.66	0.15
② 災害時への備え	3.62	0.22
③ 森林の保水機能の向上	3.71	0.09
④ 水害の防止	3.60	0.05
⑤ 水質の改善	3.84	0.05
⑥ 河川環境の整備	3.73	0.03
⑦ 水道施設の改良と管理	4.02	0.18
⑧ 水道事業の健全な運営	3.90	0.15
⑨ 公共下水道事業推進	3.84	0.16
⑩ 浄化槽の普及促進	3.90	0.08
⑪ 簡易水道整備事業（簡易水道の統合）	3.99	0.12
⑫ 森林保育に対する支援の充実	3.71	0.03
⑬ 広葉樹林への更新	3.71	0.02
⑭ 治山・治水	3.75	0.00
⑮ 省資源化・リサイクルの推進	3.99	0.09
⑯ 環境にやさしい商品提供と消費	3.81	0.09
⑰ 最終処分場の確保	3.67	0.05
⑱ 不法投棄防止	3.32	0.04
⑲ 新エネルギーの導入	3.49	0.10
⑳ 環境にやさしい生活の実践	3.66	0.07

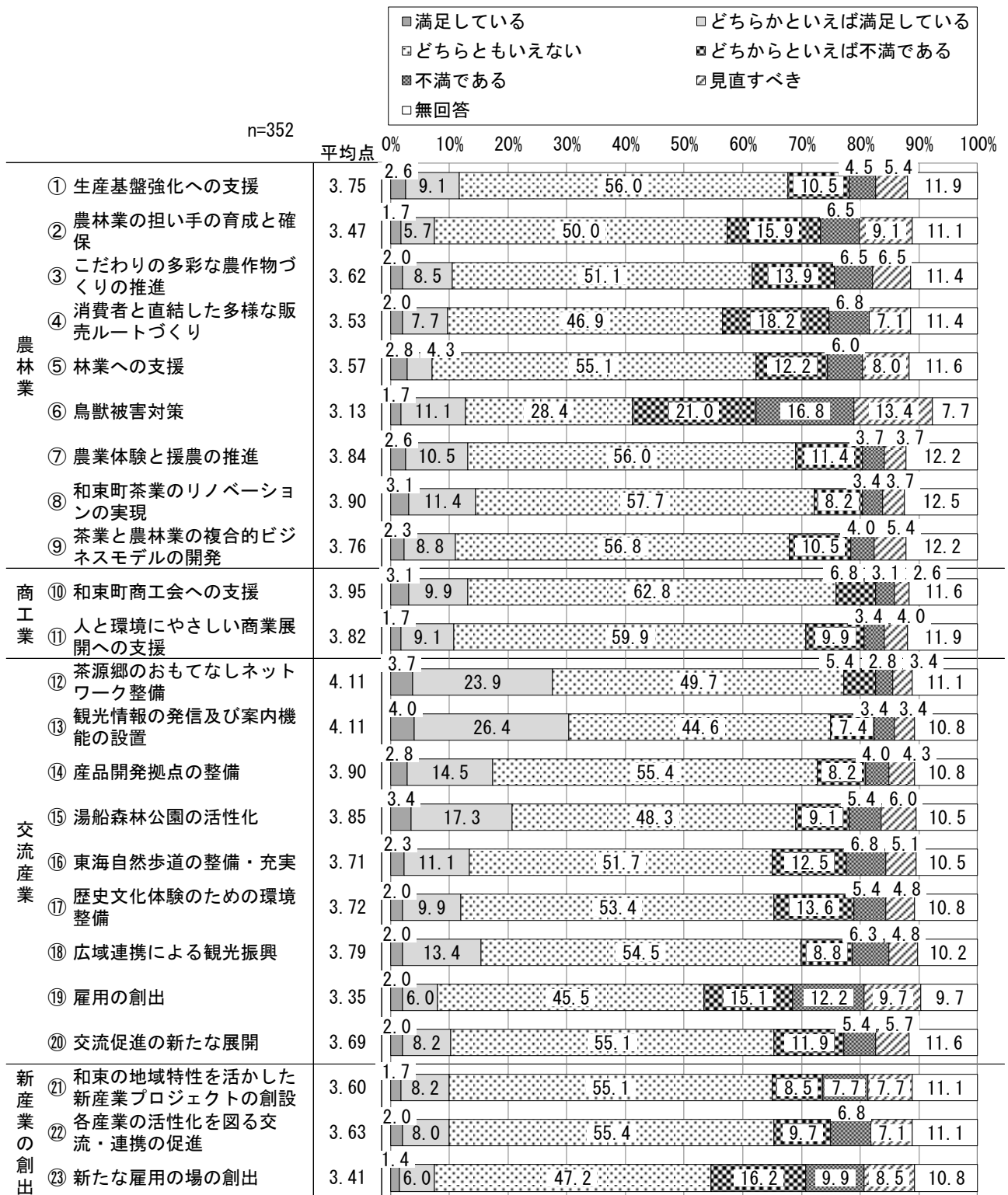
(5) 和東のブランドを高める協働プログラム

(ア) 回答および平均点

満足度の評価（平均点）は、＜⑫茶源郷のおもてなしネットワーク整備＞やく＜⑬観光情報の発信及び案内機能の設置＞がそれぞれ 4.11 点と最も高く、＜⑩和東町商工会への支援＞が 3.95 点と続いています。全体的に 4 点を超える項目はほとんどみられません。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”の割合は、＜⑬観光情報の発信及び案内機能の設置＞が 30.4%と最も高くなっています。

「見直すべき」、「不満である」、「どちらかという不満である」を合わせた“不満”の割合は、「⑥鳥獣被害対策」が 51.2%と最も高くなっています。



(イ) 属性別平均点

性別では、すべての項目で男性よりも女性の平均点が高くなっています。特に、《新産業の創出》関連の各項目では0.3点以上の差がみられます。

年代別では、すべての項目で20歳代以下の平均点が最も高くなっています。

属性 項目		性別		年代別					
		男性	女性	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
農 林 業	① 生産基盤強化への支援	3.74	3.80	4.15	3.77	3.69	3.68	3.68	3.82
	② 農林業の担い手の育成と確保	3.38	3.59	3.60	3.59	3.50	3.38	3.41	3.52
	③ こだわりの多彩な農作物づくりの推進	3.50	3.76	4.30	3.91	3.69	3.45	3.49	3.61
	④ 消費者と直結した多様な販売ルートづくり	3.47	3.61	3.90	3.50	3.46	3.45	3.40	3.64
	⑤ 林業への支援	3.45	3.72	4.10	3.77	3.65	3.50	3.43	3.59
	⑥ 鳥獣被害対策	3.13	3.16	3.80	3.45	2.93	3.00	2.91	3.22
	⑦ 農業体験と援農の推進	3.83	3.88	4.35	4.05	3.77	3.85	3.75	3.81
	⑧ 和東町茶業のリノベーションの実現	3.89	3.95	4.45	3.77	3.96	3.90	3.75	3.96
	⑨ 茶業と農林業の複合的ビジネスモデルの開発	3.68	3.86	4.15	3.82	3.65	3.58	3.65	3.88
商 工 業	⑩ 和東町商工会への支援	3.94	3.99	4.37	4.05	4.04	3.88	3.90	3.95
	⑪ 人と環境にやさしい商業展開への支援	3.82	3.84	4.32	3.77	3.92	3.73	3.70	3.86
交 流 産 業	⑫ 茶源郷のおもてなしネットワーク整備	4.11	4.15	4.25	4.00	3.92	3.95	4.11	4.23
	⑬ 観光情報の発信及び案内機能の設置	4.10	4.17	4.45	4.05	3.96	4.05	4.12	4.18
	⑭ 産品開発拠点の整備	3.86	3.99	4.45	3.62	3.92	3.88	3.84	3.96
	⑮ 湯船森林公園の活性化	3.82	3.90	4.20	3.14	3.77	3.95	3.82	3.96
	⑯ 東海自然歩道の整備・充実	3.63	3.82	4.05	3.57	3.77	3.52	3.63	3.84
	⑰ 歴史文化体験のための環境整備	3.64	3.84	4.15	3.67	3.62	3.67	3.57	3.84
	⑱ 広域連携による観光振興	3.74	3.90	4.30	3.62	3.85	3.76	3.66	3.89
	⑲ 雇用の創出	3.25	3.50	3.65	3.19	3.12	3.17	3.24	3.58
	⑳ 交流促進の新たな展開	3.65	3.77	3.95	3.62	3.58	3.57	3.66	3.79
新 産 業 の 創 出	㉑ 和東の地域特性を活かした新産業プロジェクトの創設	3.45	3.81	4.15	3.57	3.62	3.71	3.42	3.66
	㉒ 各産業の活性化を図る交流・連携の促進	3.49	3.83	4.30	3.57	3.69	3.76	3.52	3.61
	㉓ 新たな雇用の場の創出	3.24	3.63	4.00	3.38	3.42	3.48	3.27	3.45

…他の属性よりも平均点が高い

…他の属性よりも平均点が高い

地区別では、《交流産業》関連の各項目で西和東地区、《新産業の創出》関連の各項目で東和東地区の平均点が高い傾向にあります。

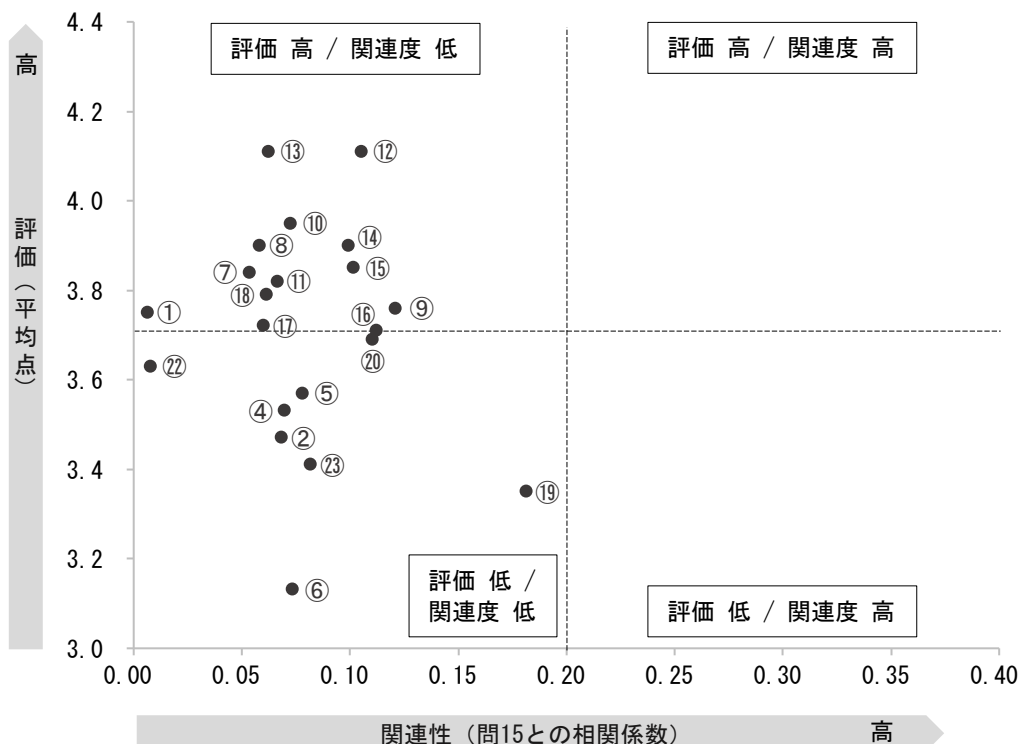
職業別では、多くの項目で主婦・無職の平均点が高い傾向にあります。また、農林業の平均点が最も低い項目が複数みられ、そのなかでも＜⑳新たな雇用の場の創出＞は3.14点となっています。

属性 項目		地区別				職業別		
		西和東地区	中和東地区	東和東地区	湯船地区	有職	うち農林業	主婦・無職
農林業	① 生産基盤強化への支援	3.91	3.65	3.82	3.61	3.65	3.63	3.90
	② 農林業の担い手の育成と確保	3.47	3.43	3.54	3.41	3.41	3.52	3.60
	③ こだわりの多彩な農作物づくりの推進	3.60	3.67	3.56	3.68	3.50	3.44	3.75
	④ 消費者と直結した多様な販売ルートづくり	3.54	3.52	3.62	3.43	3.46	3.48	3.61
	⑤ 林業への支援	3.45	3.67	3.62	3.49	3.49	3.54	3.70
	⑥ 鳥獣被害対策	3.04	3.08	3.24	3.32	3.05	3.42	3.17
	⑦ 農業体験と援農の推進	3.94	3.83	3.76	3.91	3.81	3.81	3.85
	⑧ 和東町茶業のリノベーションの実現	3.99	3.83	3.87	4.08	3.86	3.93	4.01
	⑨ 茶業と農林業の複合的ビジネスモデルの開発	3.77	3.67	3.84	3.81	3.66	3.67	3.95
商工業	⑩ 和東町商工会への支援	3.96	3.97	3.91	4.00	3.91	3.87	3.99
	⑪ 人と環境にやさしい商業展開への支援	3.82	3.79	3.79	3.97	3.80	3.75	3.80
交流産業	⑫ 茶源郷のおもてなしネットワーク整備	4.23	3.90	4.28	4.11	4.10	4.19	4.15
	⑬ 観光情報の発信及び案内機能の設置	4.25	3.97	4.21	4.05	4.14	4.28	4.15
	⑭ 産品開発拠点の整備	4.04	3.89	3.87	3.79	3.90	3.83	3.92
	⑮ 湯船森林公園の活性化	3.97	3.70	3.89	3.90	3.76	3.82	3.94
	⑯ 東海自然歩道の整備・充実	3.81	3.71	3.68	3.61	3.60	3.50	3.93
	⑰ 歴史文化体験のための環境整備	3.77	3.73	3.72	3.61	3.62	3.50	3.86
	⑱ 広域連携による観光振興	3.90	3.80	3.76	3.76	3.73	3.62	3.91
	⑲ 雇用の創出	3.25	3.27	3.52	3.44	3.28	3.38	3.51
	⑳ 交流促進の新たな展開	3.66	3.60	3.85	3.65	3.66	3.64	3.77
新産業の創出	㉑ 和東の地域特性を活かした新産業プロジェクトの創設	3.65	3.54	3.66	3.65	3.53	3.28	3.75
	㉒ 各産業の活性化を図る交流・連携の促進	3.61	3.62	3.72	3.62	3.58	3.31	3.73
	㉓ 新たな雇用の場の創出	3.28	3.43	3.50	3.50	3.33	3.14	3.57

…他の属性よりも平均点が高い
 …他の属性よりも平均点が高い

(ウ) 定住意向との関連性

すべての項目が左側の領域に位置しています。総合満足度（定住意向）との関連性は低いといえます。



※③および⑫は相関係数が0であるため掲載していない

参考) 評価（満足度の平均点）と関連性（問 15 との相関係数）の数値

個別の評価を示す項目	評価 (平均点)	関連性 (問15との相関係数)
① 生産基盤強化への支援	3.75	0.01
② 農林業の担い手の育成と確保	3.47	0.07
③ こだわりの多彩な農作物づくりの推進	3.62	0.00
④ 消費者と直結した多様な販売ルートづくり	3.53	0.07
⑤ 林業への支援	3.57	0.08
⑥ 鳥獣被害対策	3.13	0.07
⑦ 農業体験と援農の推進	3.84	0.05
⑧ 和東町茶業のリノベーションの実現	3.90	0.06
⑨ 茶業と農林業の複合的ビジネスモデルの開発	3.76	0.12
⑩ 和東町商工会への支援	3.95	0.07
⑪ 人と環境にやさしい商業展開への支援	3.82	0.07
⑫ 茶源郷のおもてなしネットワーク整備	4.11	0.11
⑬ 観光情報の発信及び案内機能の設置	4.11	0.06
⑭ 産品開発拠点の整備	3.90	0.10
⑮ 湯船森林公園の活性化	3.85	0.10
⑯ 東海自然歩道の整備・充実	3.71	0.11
⑰ 歴史文化体験のための環境整備	3.72	0.06
⑱ 広域連携による観光振興	3.79	0.06
⑲ 雇用の創出	3.35	0.18
⑳ 交流促進の新たな展開	3.69	0.11
㉑ 和東の地域特性を活かした新産業プロジェクトの創設	3.60	0.00
㉒ 各産業の活性化を図る交流・連携の促進	3.63	0.01
㉓ 新たな雇用の場の創出	3.41	0.08

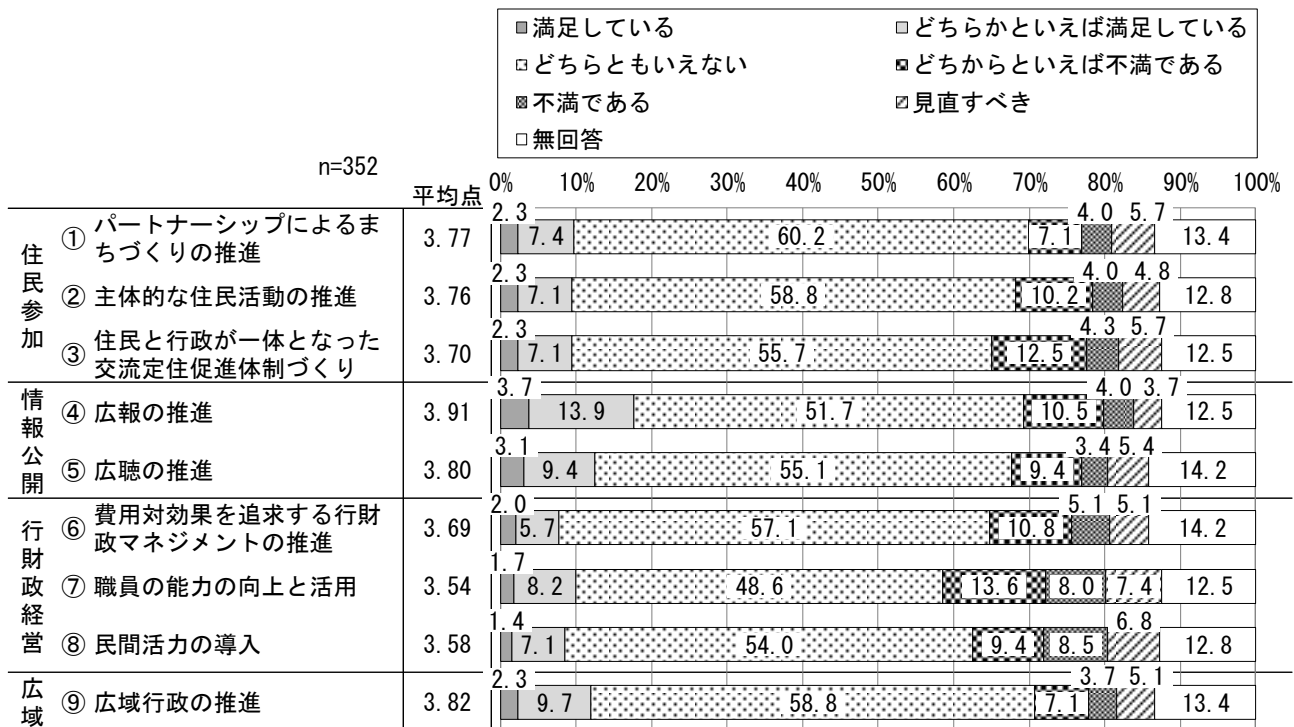
(6) 住民・事業者・行政がともに進める協働プログラム

(ア) 回答および平均点

満足度の評価（平均点）は、＜④広報の推進＞が3.91点と最も高く、＜⑨広域行政の推進＞が3.82点と続いています。全体的に4点を超える項目はみられません。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”の割合は、＜④広報の推進＞が17.6%と最も高くなっています。

「見直すべき」、「不満である」、「どちらかという不満である」を合わせた“不満”の割合は、「職員の能力の向上と活用」が29.0%と最も高くなっています。



(イ) 属性別平均点

性別では、すべての項目で男性よりも女性の平均点が高くなっています。

年代別では、すべての項目で20歳代以下の平均点が最も高くなっています。また、《情報公開》や《行財政経営》関連の各項目で、30歳代の平均点が最も低くなっています。

属性 項目		性別		年代別					
		男性	女性	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
住民参加	① パートナーシップによるまちづくりの推進	3.73	3.85	4.10	3.71	3.60	3.81	3.85	3.75
	② 主体的な住民活動の推進	3.70	3.86	3.95	3.86	3.72	3.86	3.78	3.73
	③ 住民と行政が一体となった交流定住促進体制づくり	3.61	3.83	4.10	3.76	3.52	3.67	3.68	3.74
情報公開	④ 広報の推進	3.85	4.02	4.10	3.71	3.88	3.95	3.87	4.00
	⑤ 広聴の推進	3.71	3.96	4.10	3.62	3.68	3.83	3.79	3.89
行財政経営	⑥ 費用対効果を追求する行財政マネジメントの推進	3.65	3.77	4.05	3.48	3.60	3.71	3.70	3.74
	⑦ 職員の能力の向上と活用	3.52	3.60	3.95	3.29	3.68	3.39	3.48	3.65
	⑧ 民間活力の導入	3.52	3.67	4.00	3.38	3.72	3.56	3.49	3.63
広域	⑨ 広域行政の推進	3.78	3.91	4.15	3.90	3.96	3.63	3.71	3.94

地区別では、湯船地区の平均点が高い傾向にあります。

職業別では、主婦・無職の平均点が高く、農林業が低い傾向にあります。

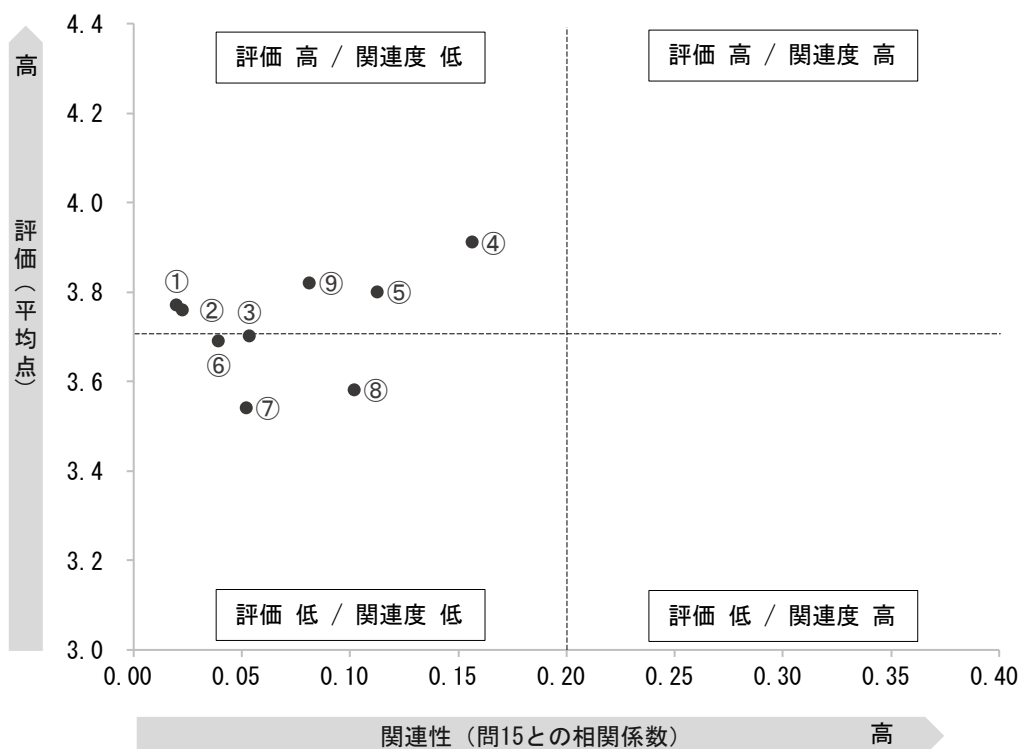
属性 項目		地区別				職業別		
		西和東地区	中和東地区	東和東地区	湯船地区	有職	うち農林業	主婦・無職
住民参加	① パートナーシップによるまちづくりの推進	3.71	3.77	3.84	3.81	3.77	3.69	3.76
	② 主体的な住民活動の推進	3.82	3.70	3.79	3.81	3.75	3.61	3.81
	③ 住民と行政が一体となった交流定住促進体制づくり	3.63	3.68	3.73	3.89	3.68	3.56	3.71
情報公開	④ 広報の推進	3.95	3.76	4.00	4.05	3.90	3.88	3.94
	⑤ 広聴の推進	3.81	3.72	3.86	3.97	3.79	3.76	3.84
行財政経営	⑥ 費用対効果を追求する行財政マネジメントの推進	3.60	3.66	3.77	3.81	3.69	3.79	3.67
	⑦ 職員の能力の向上と活用	3.53	3.47	3.64	3.66	3.48	3.45	3.56
	⑧ 民間活力の導入	3.46	3.61	3.69	3.62	3.54	3.60	3.62
広域	⑨ 広域行政の推進	3.83	3.81	3.86	3.81	3.78	3.75	3.87

…他の属性よりも平均点が高い

…他の属性よりも平均点が高い

(ウ) 定住意向との関連性

すべての項目が左側の領域に位置しています。総合満足度（定住意向）との関連性は低いといえます。



参考) 評価（満足度の平均点）と関連性（問 15 との相関係数）の数値

個別の評価を示す項目	評価 (平均点)	関連性 (問15との相関係数)
① パートナーシップによるまちづくりの推進	3.77	0.02
② 主体的な住民活動の推進	3.76	0.02
③ 住民と行政が一体となった交流定住促進体制づくり	3.70	0.05
④ 広報の推進	3.91	0.16
⑤ 広聴の推進	3.80	0.11
⑥ 費用対効果を追求する行財政マネジメントの推進	3.69	0.04
⑦ 職員の能力の向上と活用	3.54	0.05
⑧ 民間活力の導入	3.58	0.10
⑨ 広域行政の推進	3.82	0.08

3. 各分野の取組の重要性について

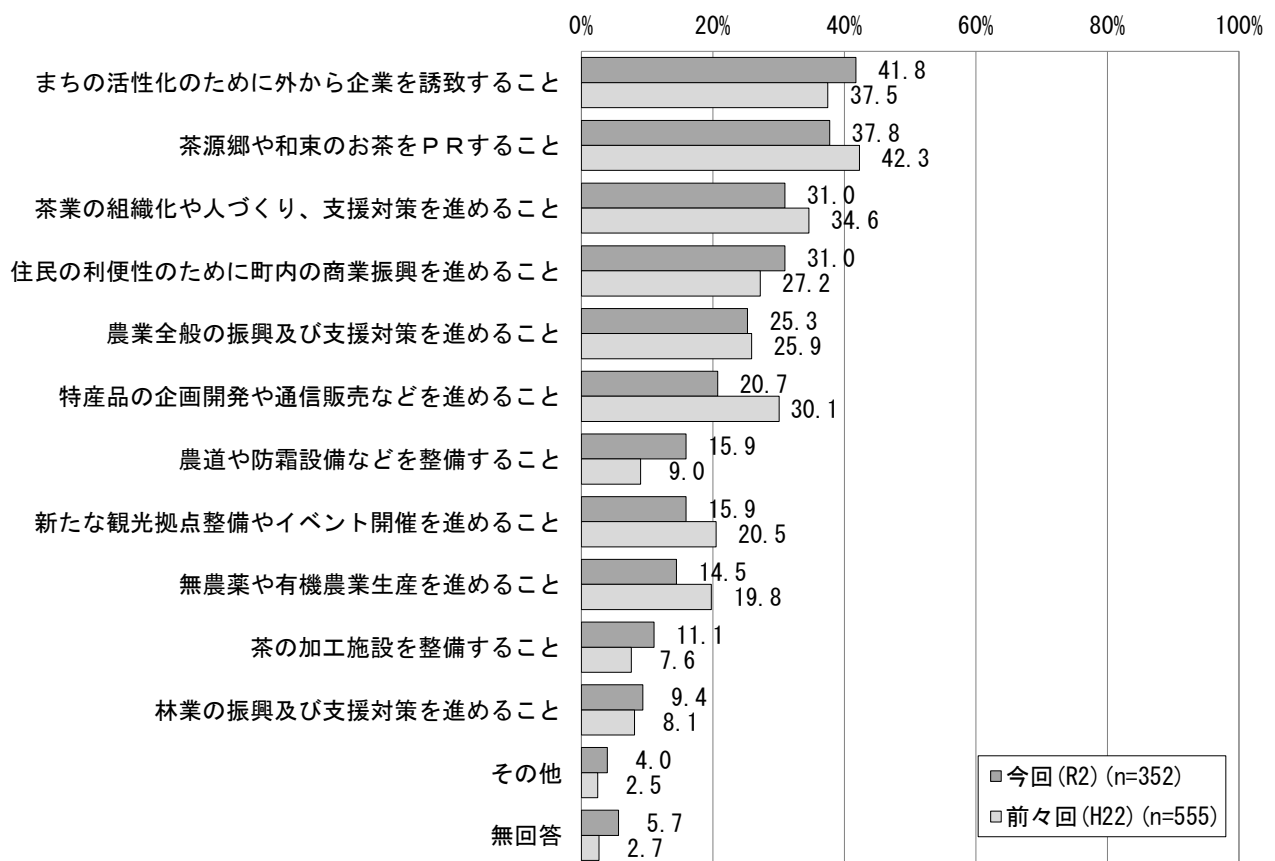
(1) 産業振興における重要項目

問3 和束町の産業振興について、特に重要と思われる項目は次のうちどれですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

(ア) 全体

今回調査では、前々回調査で最も回答割合が高かった「茶源郷や和束のお茶をPRすること」を超えて、「まちの活性化のために外から企業を誘致すること」が41.8%と最も高くなっています。

次いで「茶源郷や和束のお茶をPRすること」が37.8%、「茶業の組織化や人づくり、支援対策を進めること」と「住民の利便性のために町内の商業振興を進めること」がそれぞれ31.0%となっています。



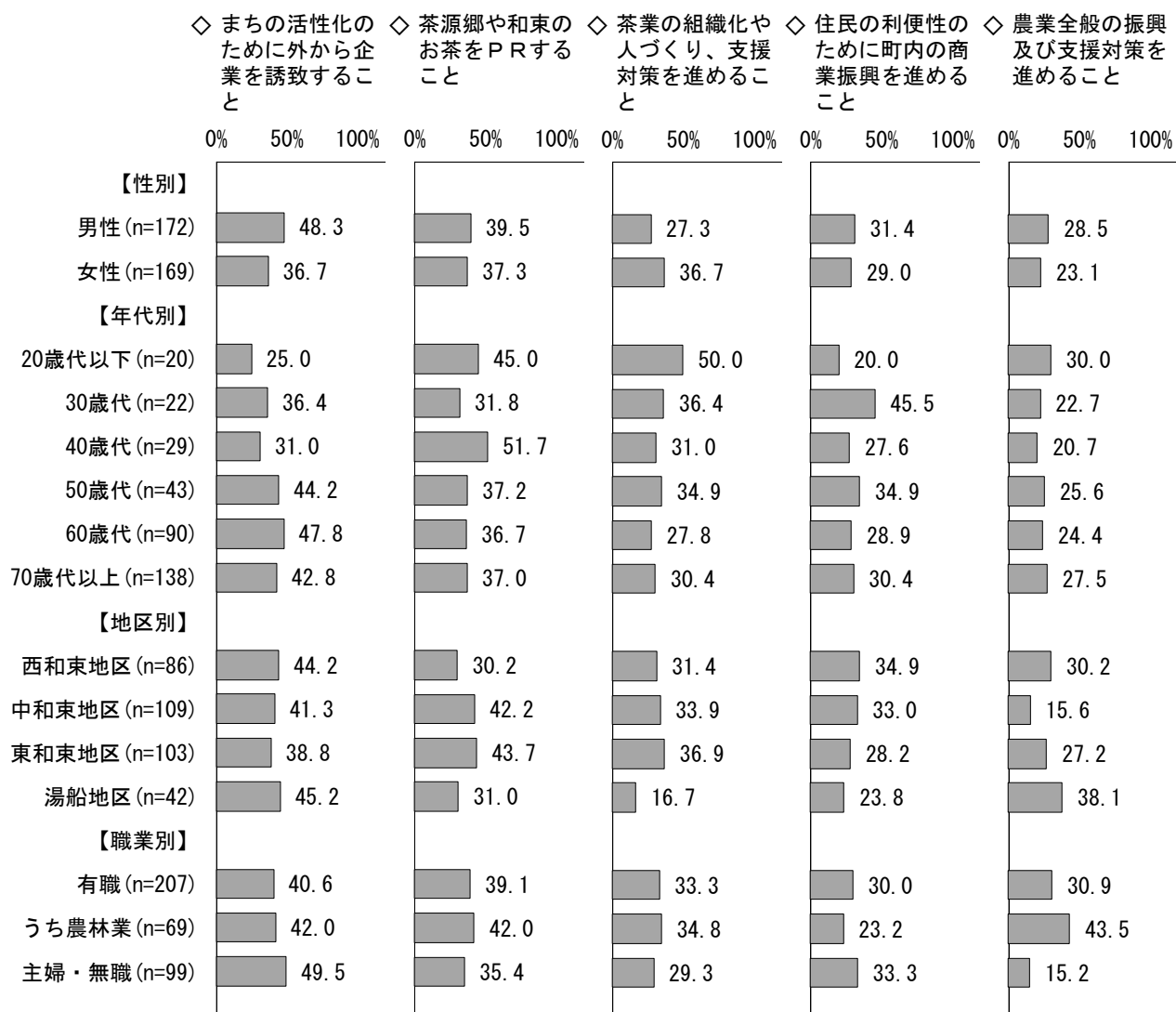
(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、男性は「まちの活性化のために外から企業を誘致すること」（48.3%）、女性は「茶源郷や和東のお茶をPRすること」（37.3%）が最も高くなっています。

年代別では、20歳代以下は「茶業の組織化や人づくり、支援対策を進めること」（50.0%）、30歳代は「住民の利便性のために町内の商業振興を進めること」（45.5%）、40歳代は「茶源郷や和東のお茶をPRすること」（51.7%）、50歳代以降は「まちの活性化のために外から企業を誘致すること」が最も高くなっています。

地区別では、西和東地区や湯船地区は「まちの活性化のために外から企業を誘致すること」、中和東地区や東和東地区は「茶源郷や和東のお茶をPRすること」が最も高くなっています

職業別では、農林業で「農業全般の振興及び支援対策を進めること」が43.5%と他の属性と比べて高くなっています。

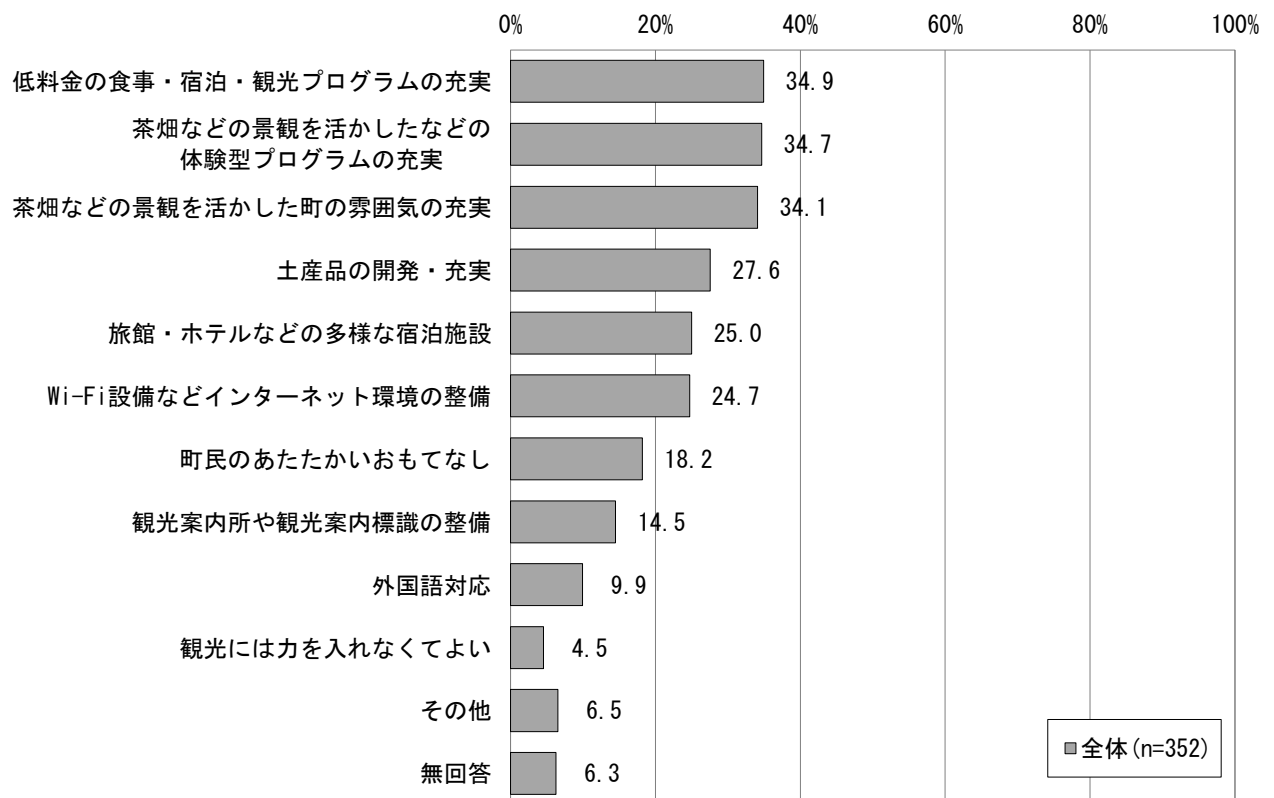


(2) 観光振興における重要項目

問4 和東町の観光振興について、特に重要と思われる項目は次のうちどれですか。あなたの考えに近い番号に3つまで○を付けてください。

(ア) 全体

全体では、「低料金の食事・宿泊・観光プログラムの充実」が34.9%と最も高く、「茶畑などの景観を活かしたなどの体験型プログラムの充実」が34.7%、「茶畑などの景観を活かした町の雰囲気への充実」が34.1%、「土産品の開発・充実」が27.6%と続いています。



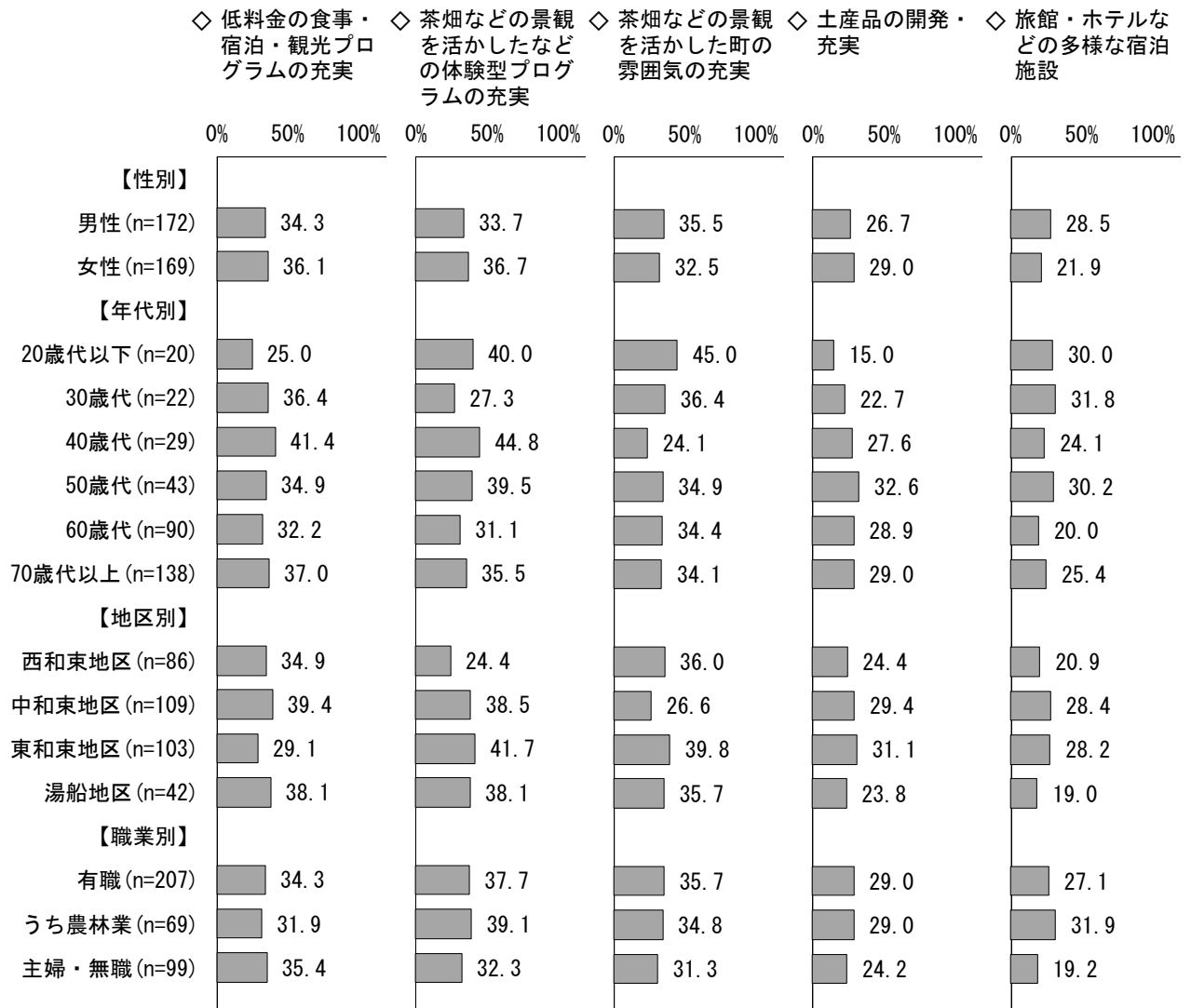
(イ) 属性別（上位5項目）

性別では「旅館・ホテルなどの多様な宿泊施設」は、男性（28.5%）が女性（21.9%）を6.6ポイント上回っています。

年代別では、40歳代で「低料金の食事・宿泊・観光プログラムの充実」（41.4%）や「茶畑などの景観を活かしたなどの体験型プログラムの充実」（44.8%）といった観光メニューの充実に関する回答が4割を超えています。

地区別では、東和東地区で「茶畑などの景観を活かしたなどの体験型プログラムの充実」が41.7%と他の地区と比べて高くなっています。

職業別では、農林業で「茶畑などの景観を活かしたなどの体験型プログラムの充実」（39.1%）や「旅館・ホテルなどの多様な宿泊施設」（31.9%）が他の属性と比べて高くなっています。



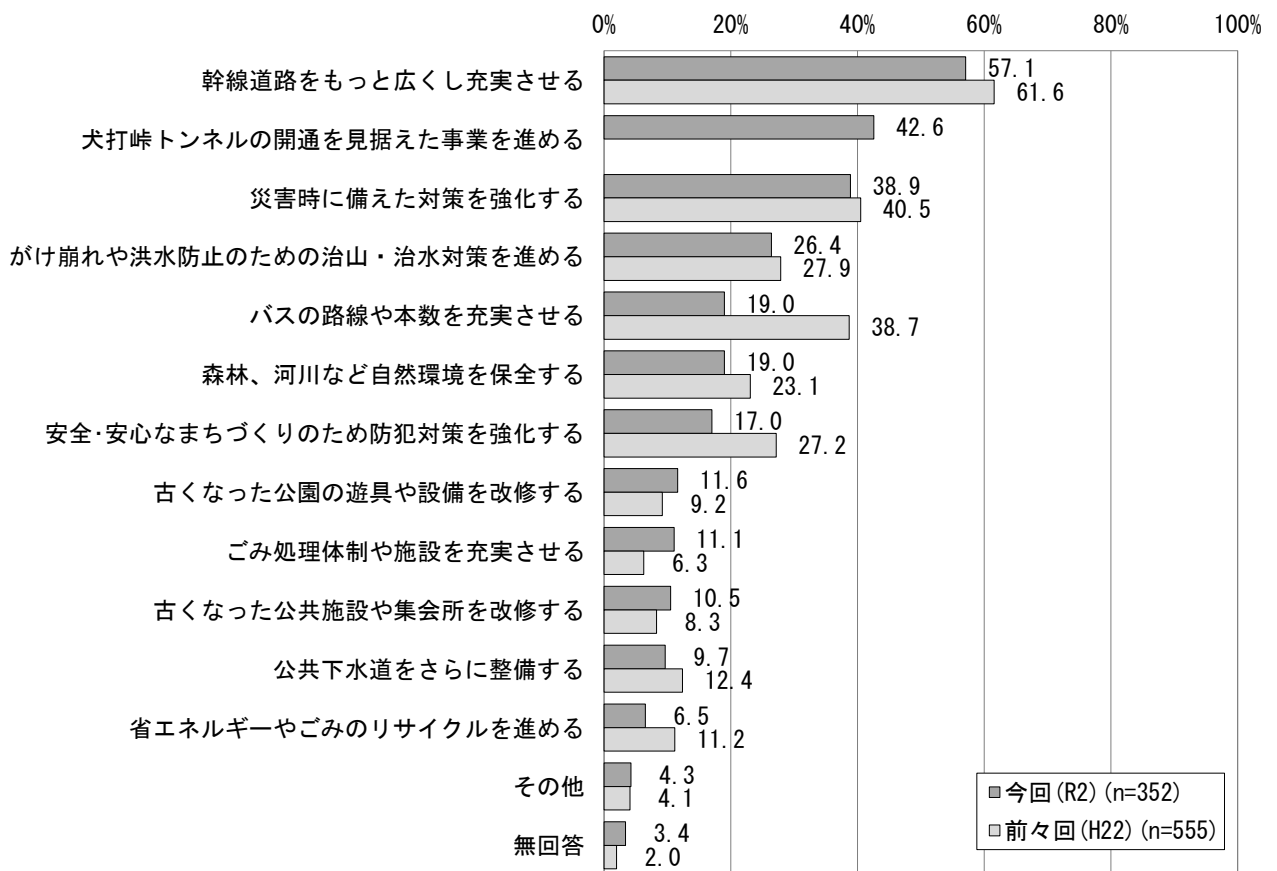
(3) 生活環境の整備における重要項目

問5 和東町の生活環境の整備について、特に重要と思われる項目は次のうちどれですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、「幹線道路をもっと広くし充実させる」が57.1%と最も高く、「犬打峠トンネルの開通を見据えた事業を進める」が42.6%、「災害時に備えた対策を強化する」が38.9%、「がけ崩れや洪水防止のための治山・治水対策を進める」が26.4%と続いています。

経年比較では、前々回調査と比べて「バスの路線や本数を充実させる」が19.7ポイント、「安心・安全なまちづくりのための防犯対策を強化する」が10.2ポイント低くなっています。



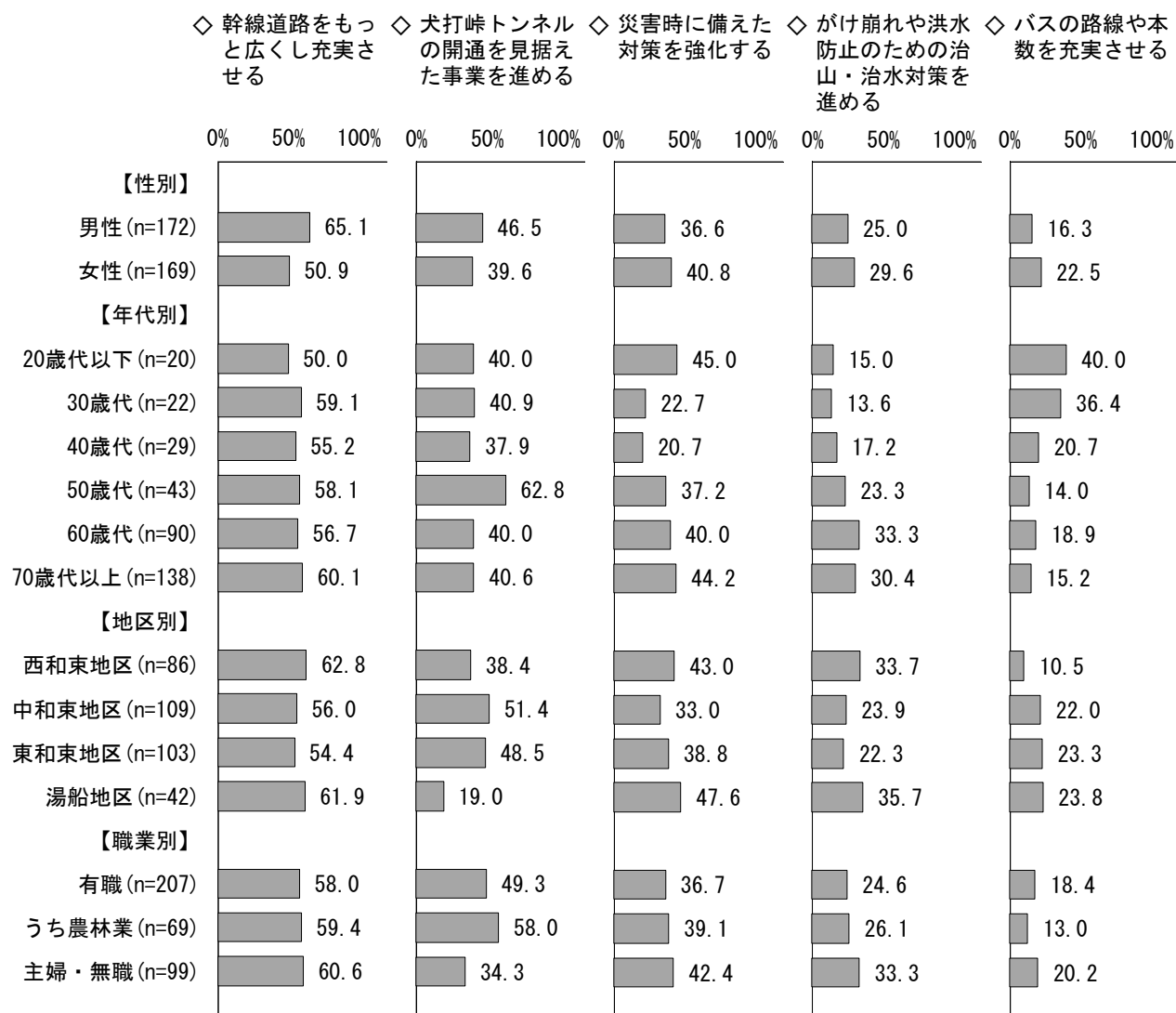
※前々回（H22）アンケートでは、「犬打峠トンネルの開通を見据えた事業を進める」の選択肢はない。そのため、今回アンケートと正確な比較はできない。

(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、男女ともに「幹線道路をもっと広くし充実させる」が最も高く、男性では6割超（65.1%）となっています。

年代別では、すべての年代で「幹線道路をもっと広くし充実させる」が5割以上となっています。また、「がけ崩れや洪水防止のための治山・治水対策を進める」は年代が上がるほど、「バスの路線や本数を充実させる」は年代が下がるほど、割合が高まる傾向があります（一部年代除く）。

地区別では、中和東地区や東和東地区で「犬打峠トンネルの開通を見据えた事業を進める」が約5割と他の地区と比べ高くなっています。



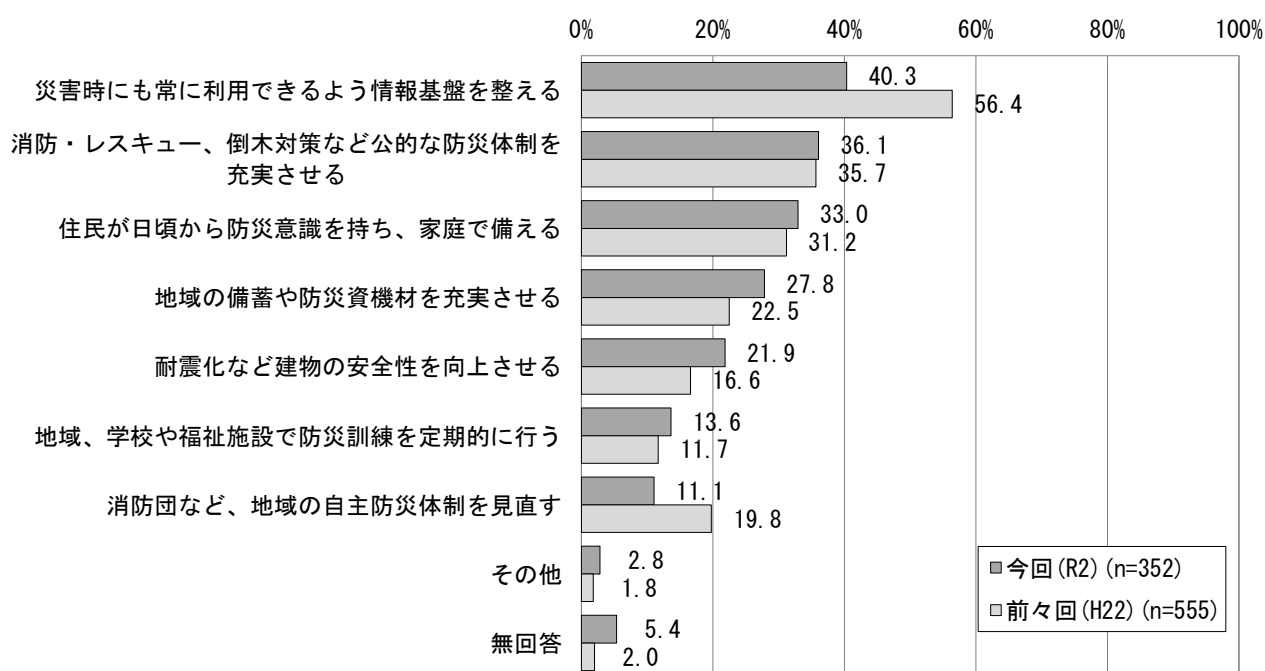
(4) 防災における優先項目

問6 わが国では、近い将来大規模な地震が起こる可能性が高いとみられています。
 今後、防災について和束町が特に優先的に取り組まなくてはならない項目は次のうちどれだと思いますか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、「災害時にも常に利用できるよう情報基盤を整える」が40.3%と最も高く、「消防・レスキュー、倒木対策など公的な防災体制を充実させる」が36.1%、「住民が日頃から防災意識を持ち、家庭で備える」が33.0%、「地域の備蓄や防災資機材を充実させる」が27.8%と続いています。

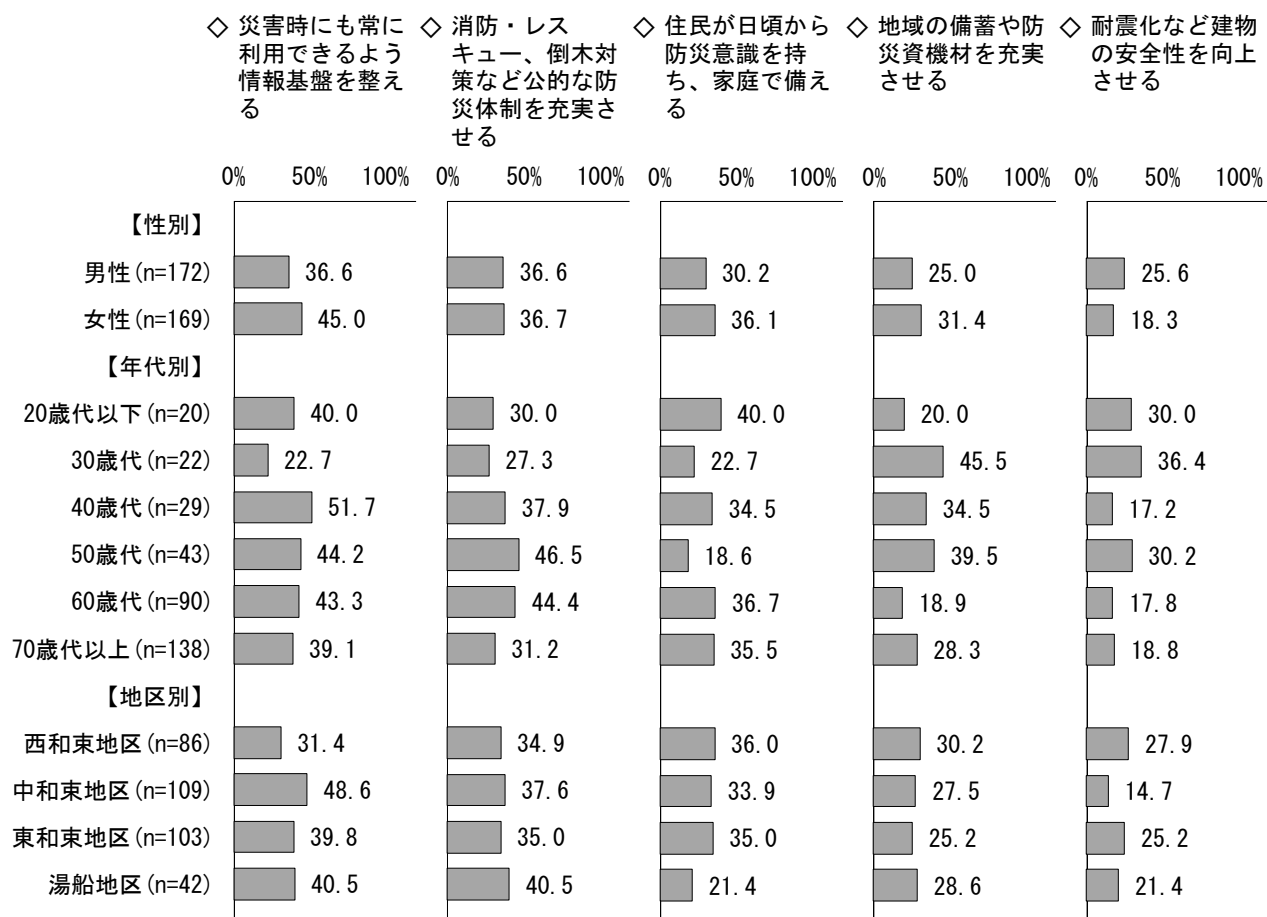
経年比較では、前々回調査と比べて「災害時にも常に利用できるよう情報基盤を整える」が16.1ポイント、「消防団など、地域の自主防災体制を見直す」が8.7ポイント低くなっています。



(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、男性は「災害時にも常に利用できるよう情報基盤を整える」と「消防・レスキュー、倒木対策など公的な防災体制を充実させる」（それぞれ36.6%）、女性は「災害時にも常に利用できるよう情報基盤を整える」（45.0%）が最も高くなっています。

地区別では、中和束地区で「災害時にも常に利用できるよう情報基盤を整える」が48.6%と他の地区と比べ高くなっています。



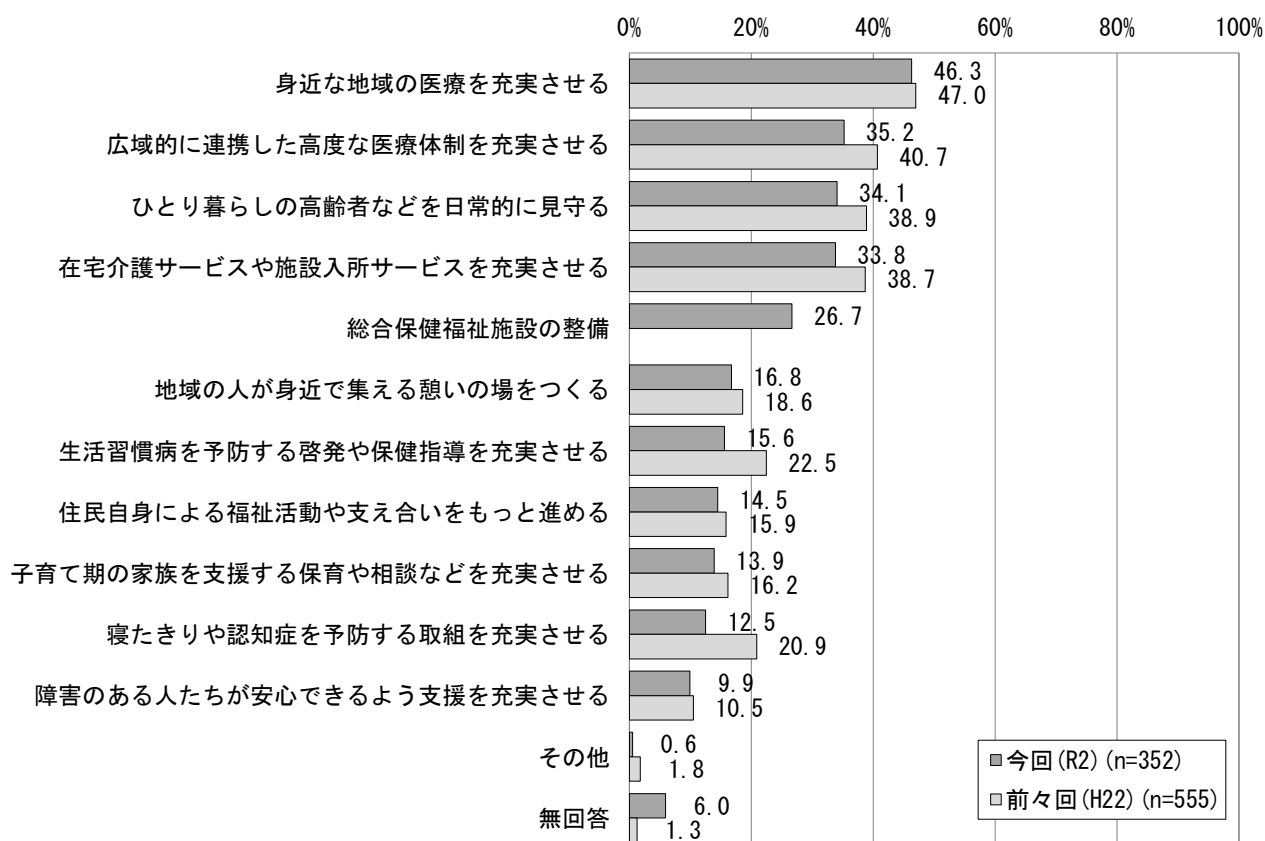
(5) 保健・医療・福祉における重要項目

問7 和東町の保健・医療・福祉について、特に重要と思われる項目は次のうちどれですか。
あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、「身近な地域の医療を充実させる」が46.3%と最も高く、「広域的に連携した高度な医療体制を充実させる」が35.2%、「ひとり暮らしの高齢者などを日常的に見守る」が34.1%、「在宅介護サービスや施設入所サービスを充実させる」が33.8%と続いています。

経年比較では、今回調査と前々回調査で上位4項目の順位に変動はみられせん。



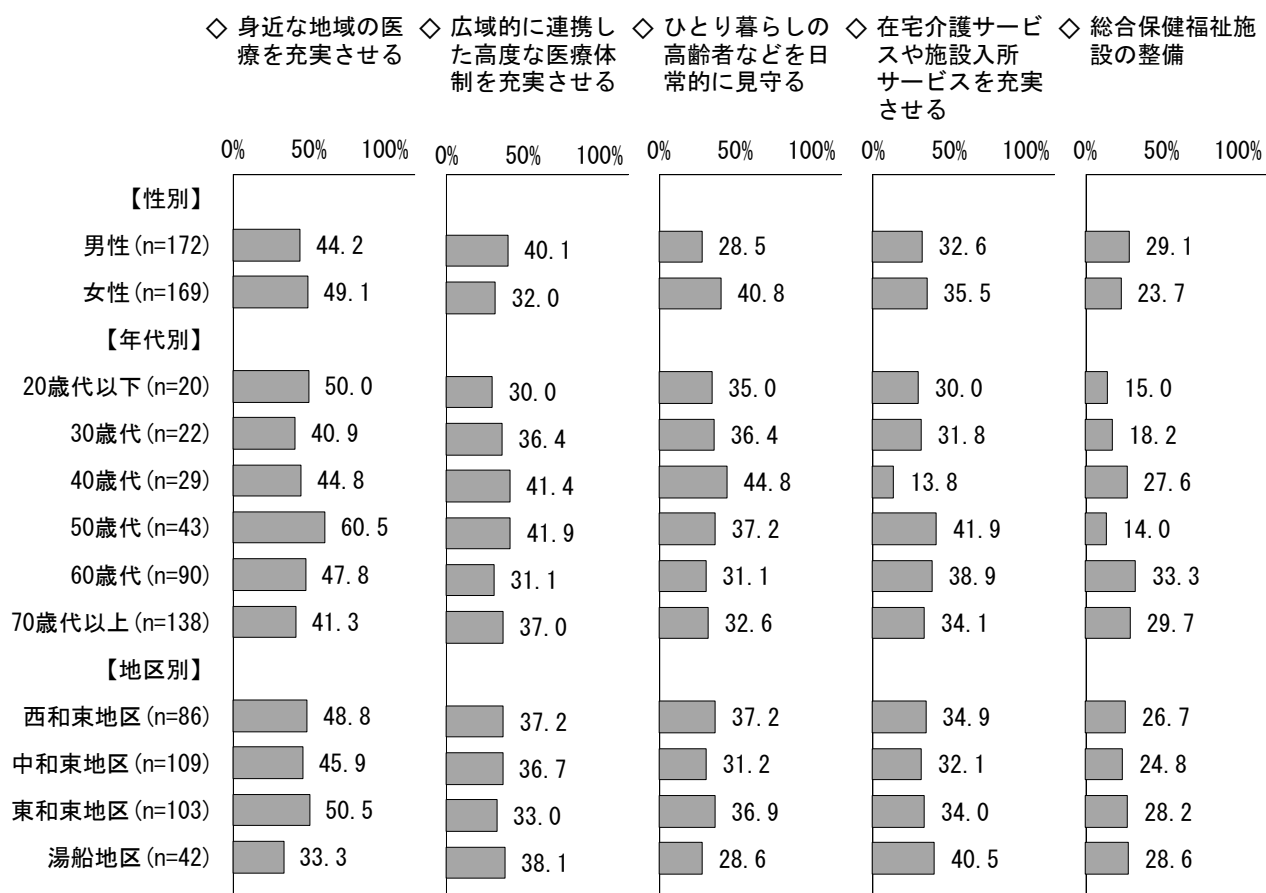
※前々回 (H22) アンケートでは、「総合保健福祉施設の整備」の選択肢はない。そのため、今回アンケートと正確な比較はできない。

(イ) 属性別（上位5項目）

性別では「広域的に連携した高度な医療体制を充実させる」は、男性（40.1%）が女性（32.0%）を8.1ポイント上回っています。一方、「ひとり暮らしの高齢者などを日常的に見守る」は、女性（40.8%）が男性（28.5%）を12.3ポイント上回っています。

年代別では、すべての年代で「身近な地域の医療を充実させる」が最も高くなっており、50歳代では60.5%となっています。また、40歳代、50歳代では「広域的に連携した高度な医療体制を充実させる」が4割を超えています。

地区別では、西和東地区、中和東地区、東和東地区では「身近な地域の医療を充実させる」が最も高くなっていますが、湯船地区では「在宅介護サービスや施設入所サービスを充実させる」が最も高くなっています。



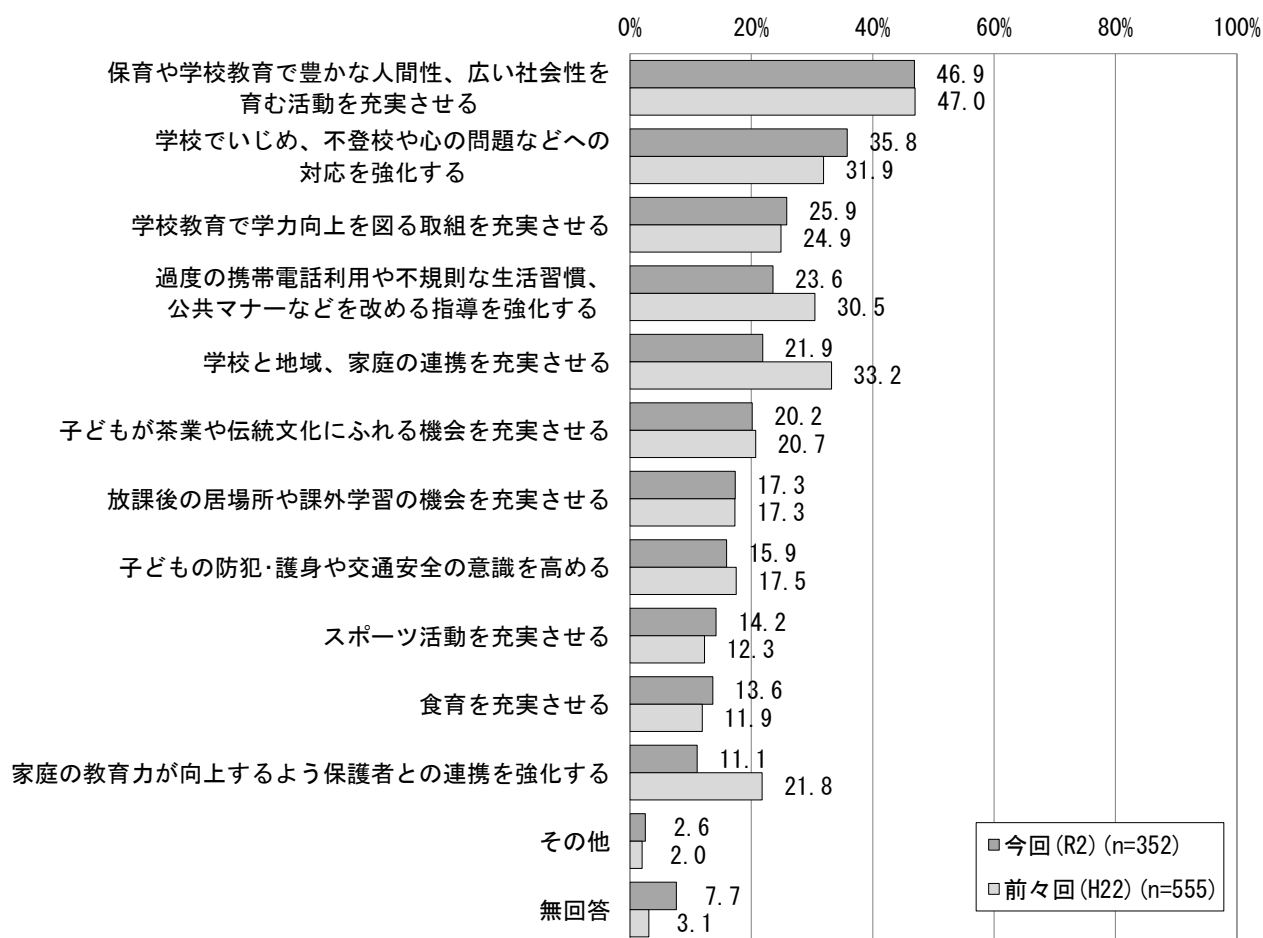
(6) 子どもの教育における重要項目

問8 和東町の次代を担う子どもの教育について、特に重要と思われる項目は次のうちどれですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、「保育や学校教育で豊かな人間性、広い社会性を育む活動を充実させる」が46.9%と最も高く、「学校でいじめ、不登校や心の問題などへの対応を強化する」が35.8%、「学校教育で学力向上を図る取組を充実させる」が25.9%、「過度の携帯電話利用や不規則な生活習慣、公共マナーなどを改める指導を強化する」が23.6%と続いています。

経年比較では、今回調査と前々回調査で順位が大きく変動しており、子どもの教育に対する意識の変化が読み取れます。



※食育とは…健全な食生活や食文化の継承などのため、食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を身に付けるための学習などを行うこと。

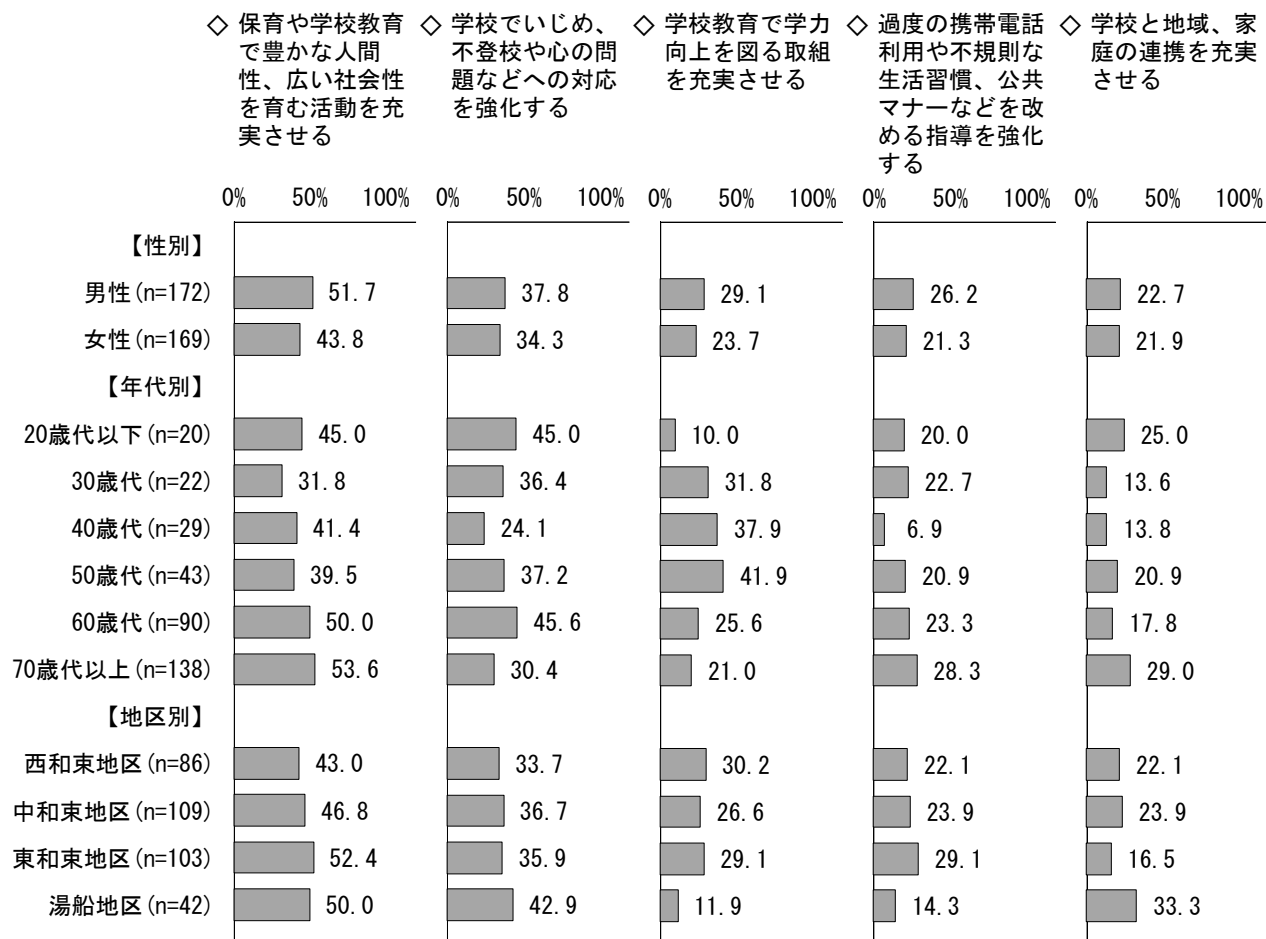
※今回アンケートと前々回 (H22) アンケートでは選択肢の文言が若干異なる。具体的には、今回の「保育や学校教育で豊かな人間性、広い社会性を育む活動を充実させる」は前々回では「保育所や学校で豊かな人間性、広い社会性を育む活動を充実させる」、今回の「過度の携帯電話利用や不規則な生活習慣、公共マナーなどを改める指導を強化する」は前々回では「過度の携帯電話や生活習慣、公共マナー等の指導を強化する」となっている。

(イ) 属性別（上位5項目）

性別では「保育や学校教育で豊かな人間性、広い社会性を育む活動を充実させる」は、男性（51.7%）が女性（43.8%）を7.9ポイント上回っています。

年代別では、30歳代から50歳代で「学校教育で学力向上を図る取組を充実させる」が3割以上と他の年代と比べて高くなっています。

地区別では、湯船地区で「学校と地域、家庭の連携を充実させる」が33.3%と、他の地区と比較して高くなっています。



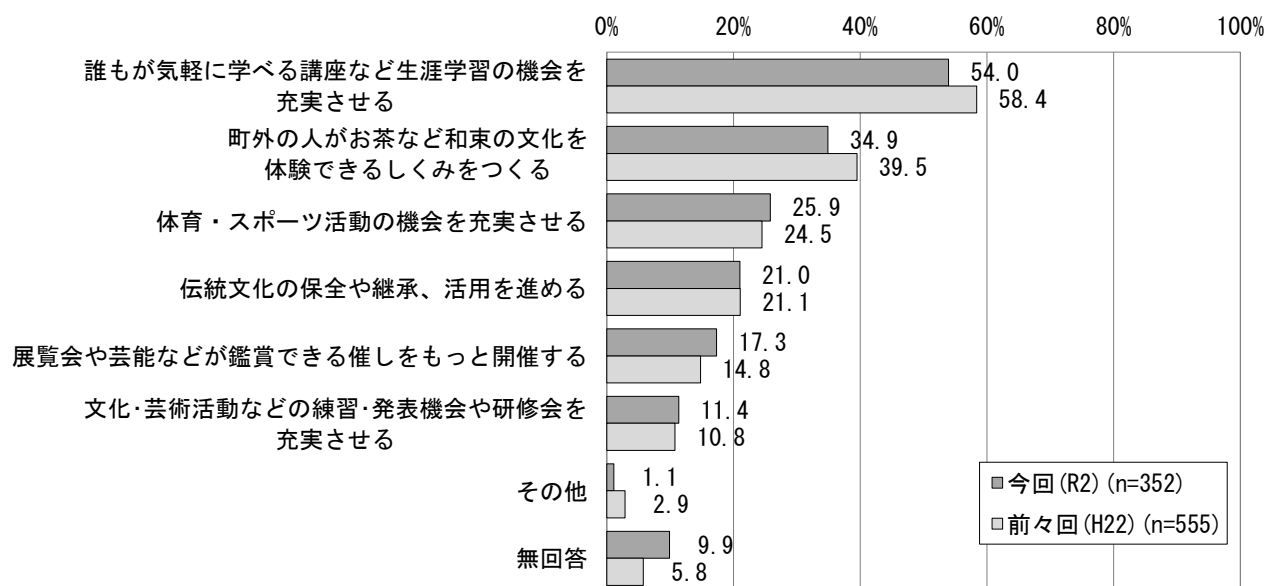
(7) 生涯学習、文化・スポーツ活動における重要項目

問9 和束町の生涯学習、文化・スポーツ活動について、特に重要と思われる項目は次のうちどれですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、「誰もが気軽に学べる講座など生涯学習の機会を充実させる」が54.0%と最も高く、「町外の人がお茶など和束の文化を体験できるしくみをつくる」が34.9%、「体育・スポーツ活動の機会を充実させる」が25.9%、「伝統文化の保全や継承、活用を進める」が21.0%と続いています。

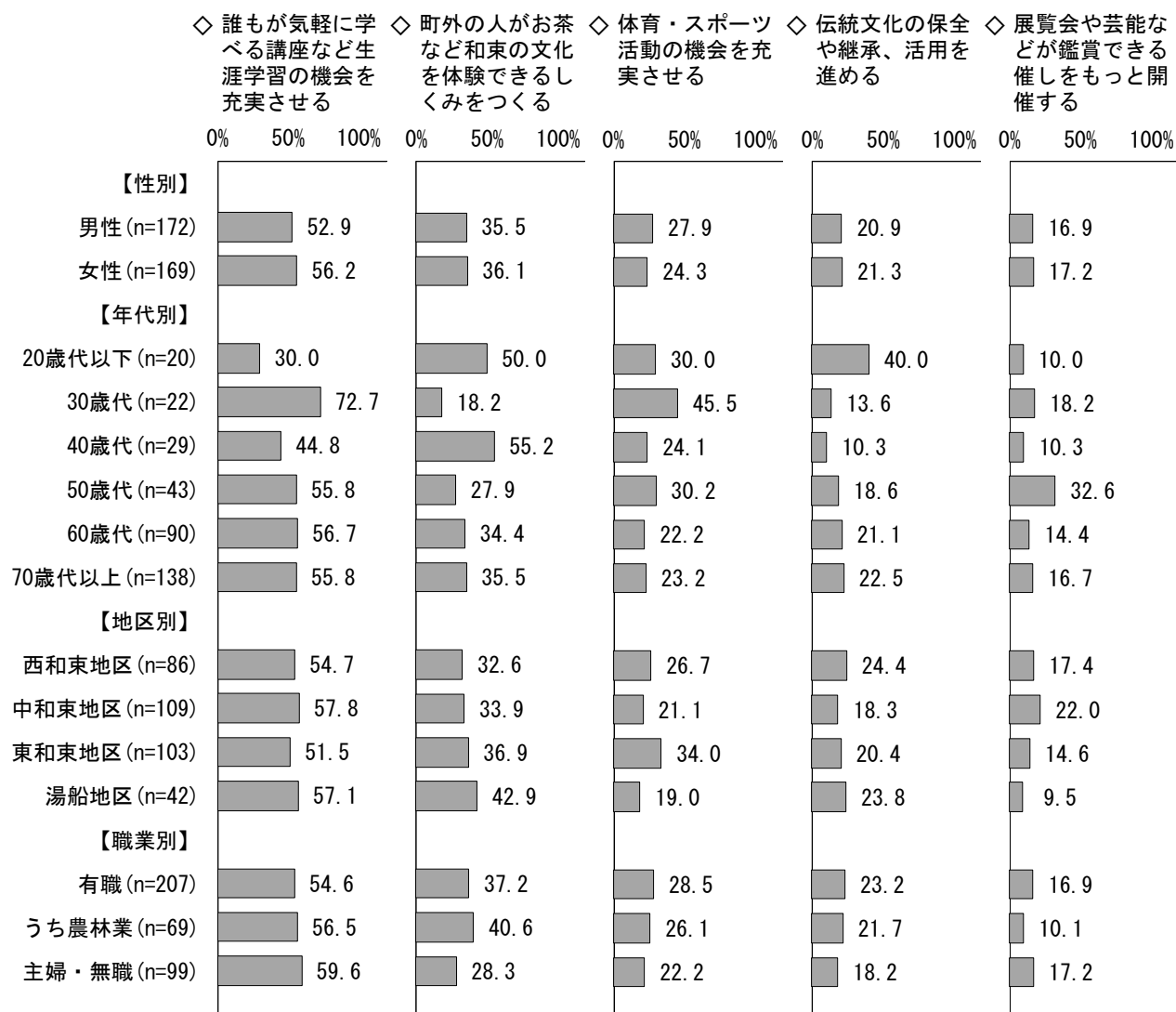
経年比較では、今回調査と前々回調査で順位に変動はみられません。



(イ) 属性別（上位5項目）

年代別では、20歳代以下や40歳代で「町外の人がお茶など和東の文化を体験できるしくみをつくる」、30歳代や50歳代以降で「誰もが気軽に学べる講座など生涯学習の機会を充実させる」がそれぞれ5割を超えています。

地区別では、すべての地区で「誰もが気軽に学べる講座など生涯学習の機会を充実させる」が5割を超えています。



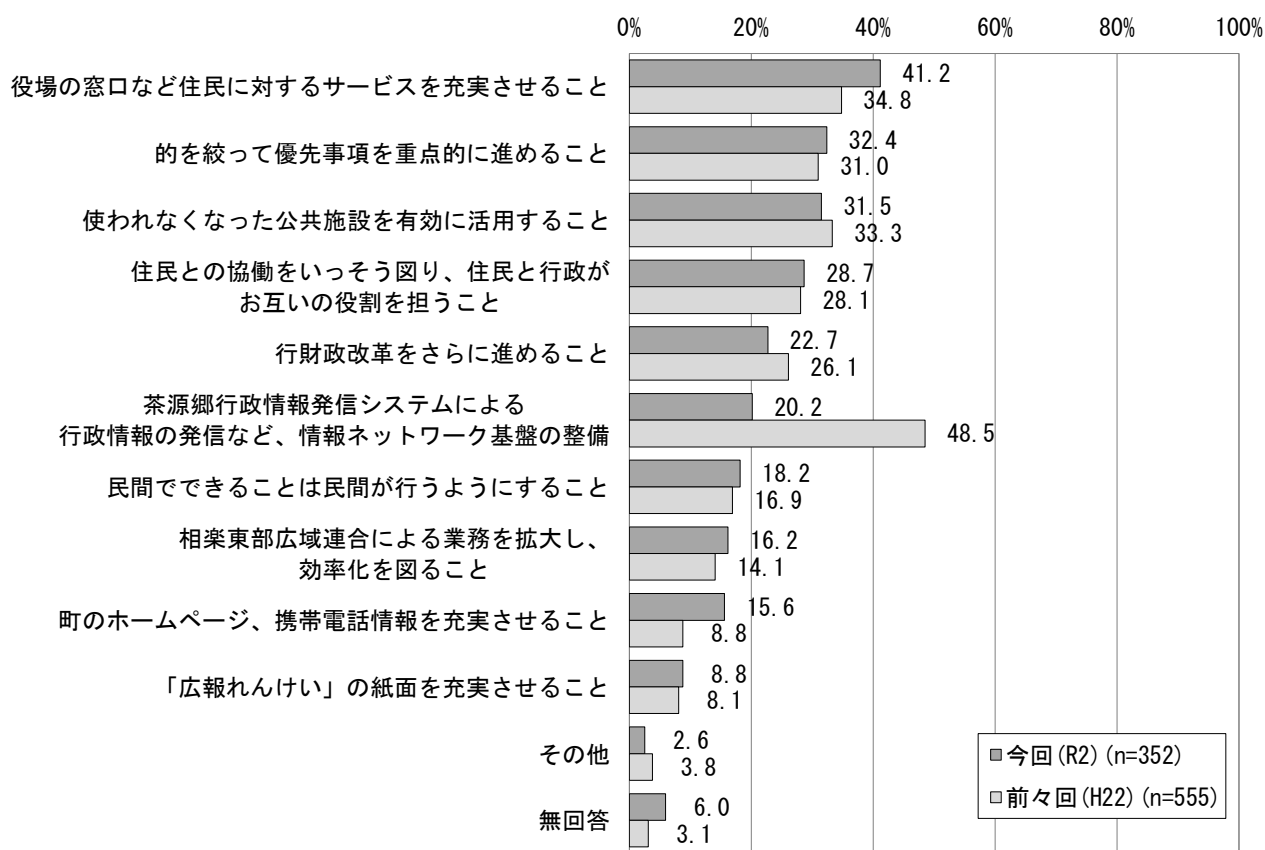
(8) 行財政運営における重要項目

問 10 和東町の行財政運営について、特に重要と思われる項目は次のうちどれですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、「役場の窓口など住民に対するサービスを充実させること」が41.2%と最も高く、「的を絞って優先事項を重点的に進めること」が32.4%、「使われなくなった公共施設を有効に活用すること」が31.5%、「住民との協働をいっそう図り、住民と行政がお互いの役割を担うこと」が28.7%と続いています。

経年比較では、前々回調査と比べて「役場の窓口など住民に対するサービスを充実させること」が6.4ポイント、「町のホームページ、携帯電話情報を充実させること」が6.8ポイント高くなっています。



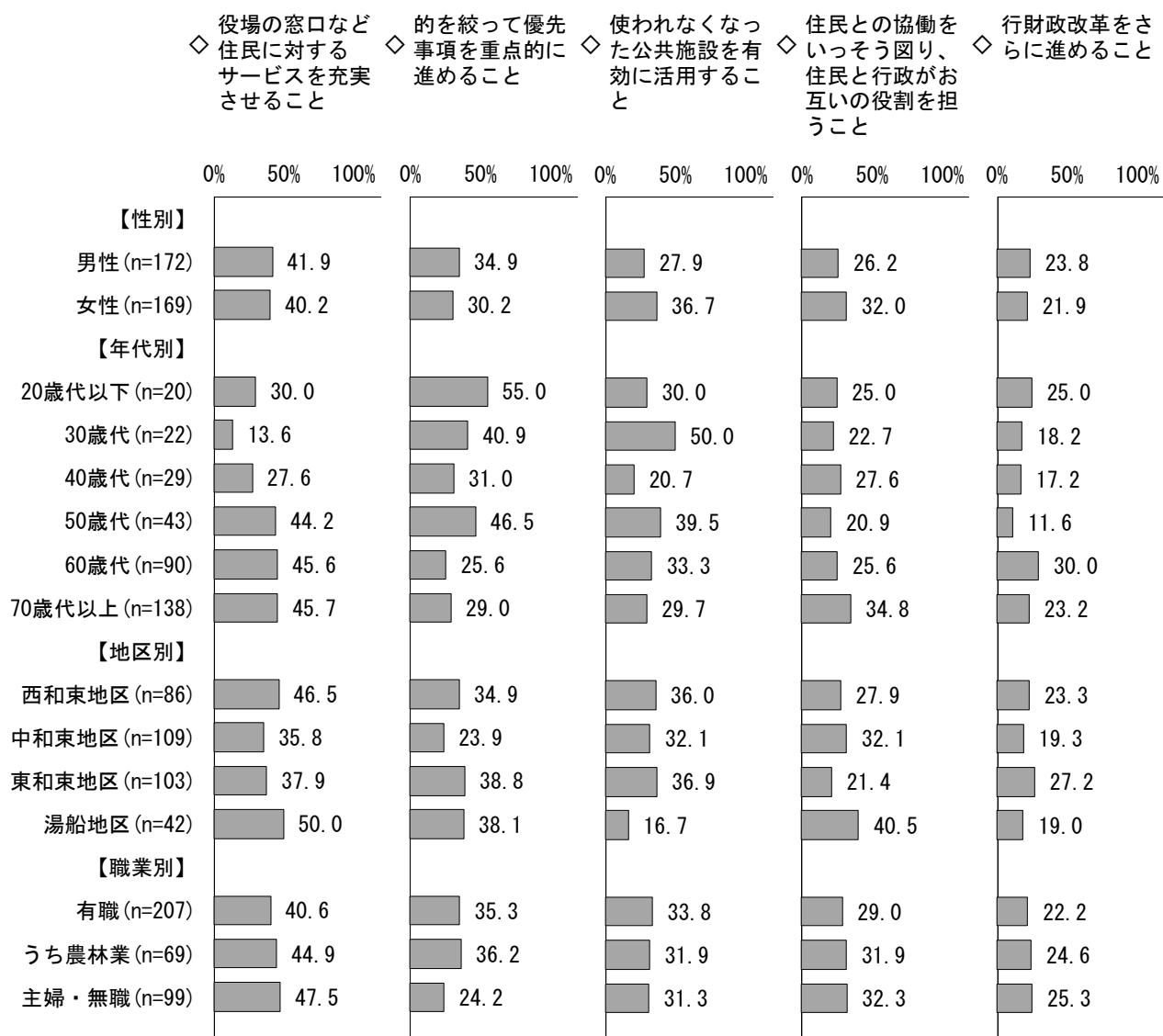
※今回アンケートと前々回（H22）アンケートでは選択肢の文言が異なる。具体的には、今回の「茶源郷行政情報発信システムによる行政情報の発信など、情報ネットワーク基盤の整備」が前々回では「地上デジタル化に対応した情報ネットワーク基盤の整備」となっている。いずれの選択肢も情報ネットワーク基盤に関する選択肢であるため比較を行っているが、正確な比較ではない点に留意が必要である。

(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、男女ともに「役場の窓口など住民に対するサービスを充実させること」が4割以上となっています。また、「使われなくなった公共施設を有効に活用すること」は、女性（36.7%）が男性（27.9%）を8.8ポイント上回っています。

年代別では、「役場の窓口など住民に対するサービスを充実させること」は50歳代以降において割合が高くなっています。「的を絞って優先事項を重点的に進めること」は20歳代以下、30歳代、50歳代で4割を超えています。「使われなくなった公共施設を有効に活用すること」は30歳代で5割となっています。

地区別では、湯船地区で「使われなくなった公共施設を有効に活用すること」が16.7%と他の地区と比べ低くなっています。



4. 公共交通について

(1) 外出する際の主な交通手段

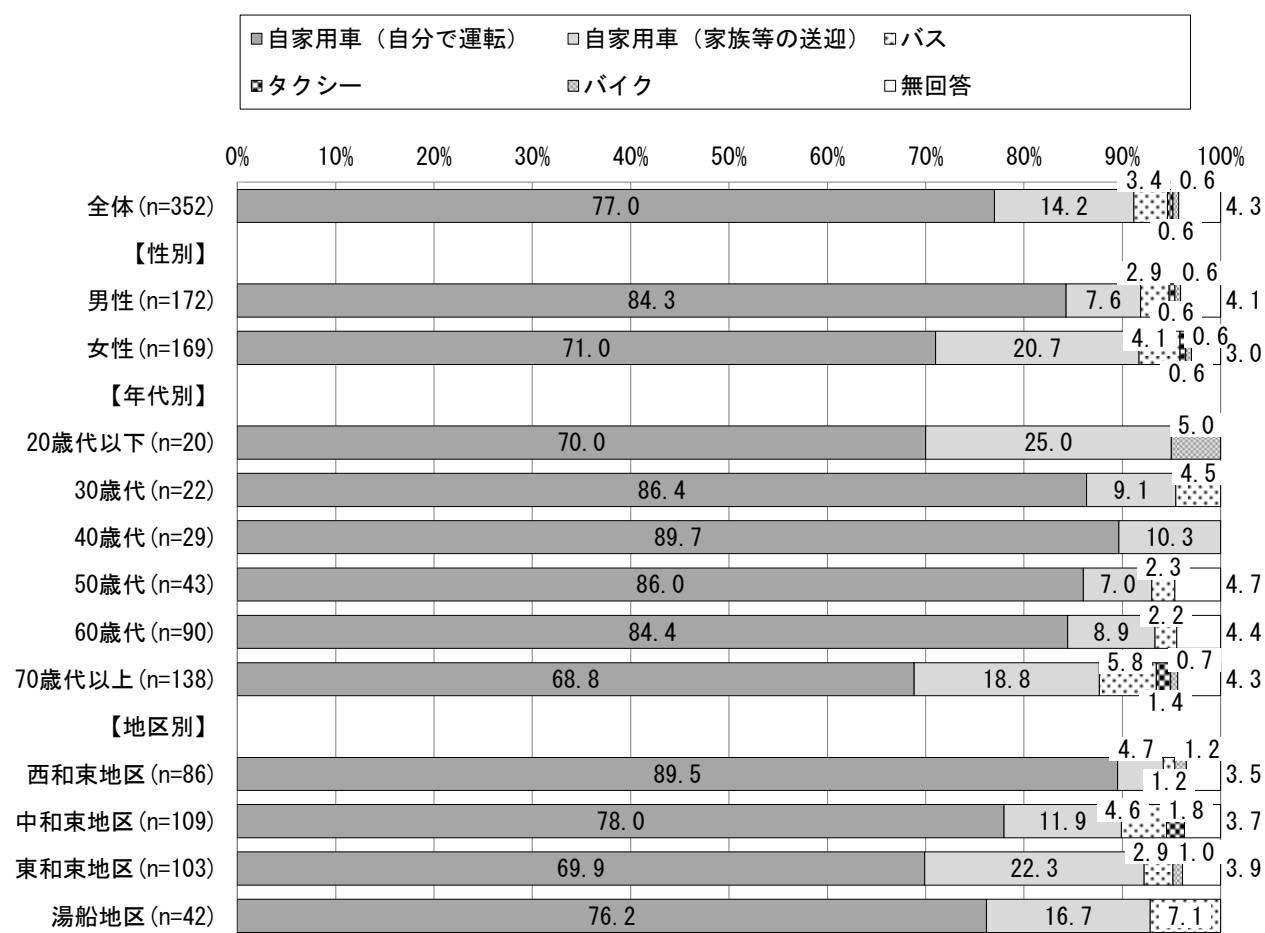
問 11 あなたが外出するときに主に利用する交通手段はなんですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では、「自家用車（自分で運転）」が77.0%と最も高く、「自家用車（家族等の送迎）」が14.2%、「バス」が3.4%と続いています。

性別では、男性は「自家用車（自分で運転）」が84.3%と8割を超えています。

年代別では、30歳代から60歳代で「自家用車（自分で運転）」が8割超となっています。

地区別では、西和東地区で「自家用車（自分で運転）」が約9割（89.5%）と、他の地区と比べて高くなっています。



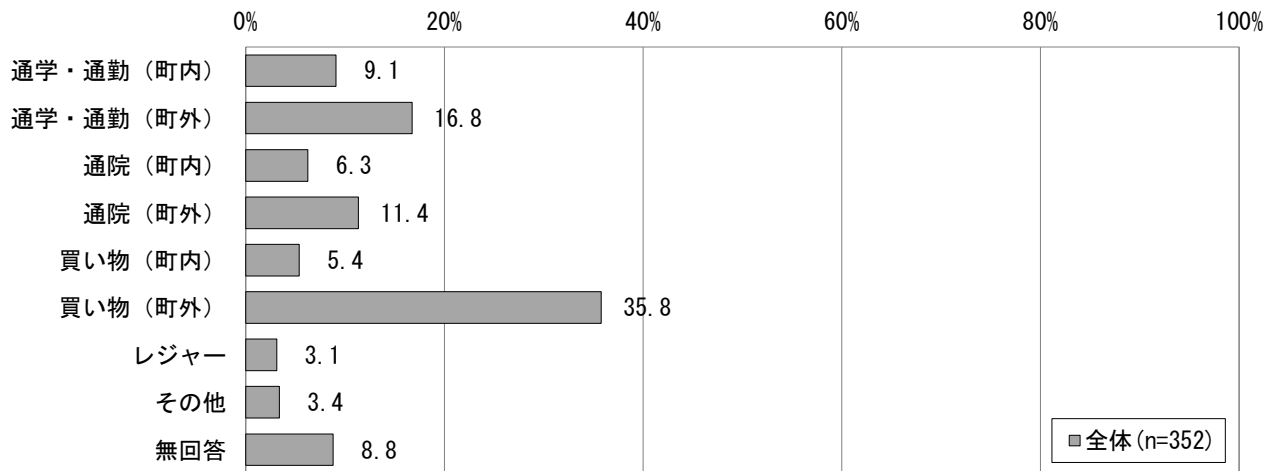
※「自転車」、「徒歩」、「その他」との回答はみられない

(2) 外出の主な目的

問 12 交通手段を利用して外出するときの主な目的はなんですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、「買い物（町外）」が35.8%と最も高く、「通学・通勤（町外）」が16.8%、「通院（町外）」が11.4%、「通学・通勤（町内）」が9.1%、「通院（町内）」が6.3%と続いています。

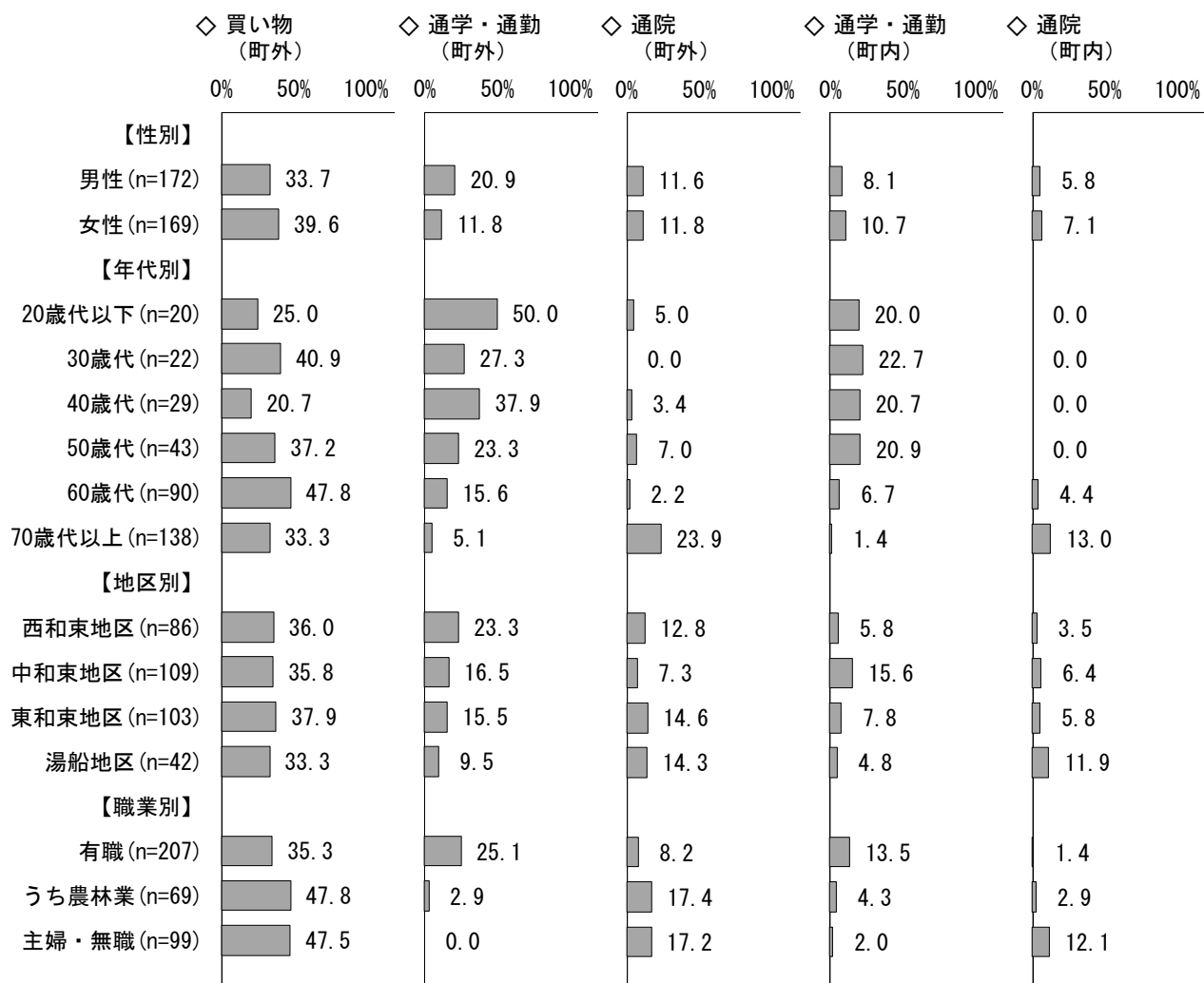


(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、「買い物（町外）」は女性（39.6%）が男性（33.7%）を5.9ポイント上回っています。一方、「通学・通勤（町外）」は男性（20.9%）が女性（11.8%）を9.1ポイント上回っています。

年代別では、「買い物（町外）」は30歳代や60歳代で4割を超えています。「通学・通勤（町外）」は、年代が下がるほど割合が高くなる傾向にあり（一部年代除く）、20歳代以下では半数（50.0%）となっています。また、70歳代以上で「通院（町外）」が2割超（23.9%）となっています。

職業別では、有職で「通学・通勤（町外）」が25.1%と、約4人に1人が町外へ通勤していることがわかります。



(3) 環境に優しい新たな交通手段の利用意向

問 13 現在和東町では環境に優しい新たな交通手段として、和東町観光案内所を発着し、町内2ルートを周遊するグリーンスローモビリティ※の実証実験を行っています（令和2年3月1日～令和2年3月29日）。今後このような交通手段が普及した場合、利用したいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

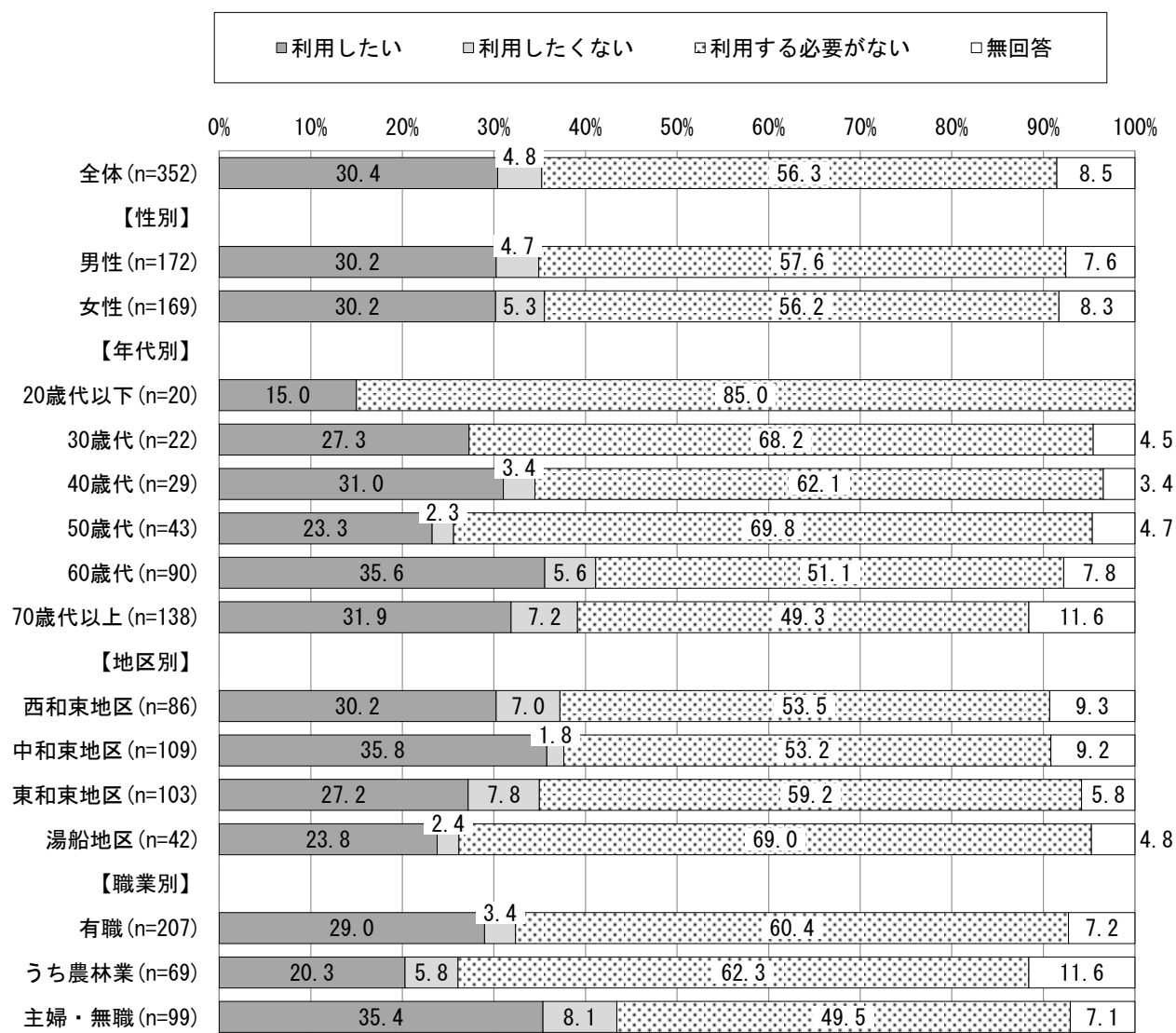
※グリーンスローモビリティとは…電動で、時速20km未満で公道を走る、4人乗り以上の交通手段。

全体では、「利用したい」が30.4%、「利用したくない」が4.8%、「利用する必要がない」が56.3%となっています。

年代別では、60歳代以降で「利用したい」が3割以上となっており、高齢者にとって一定のニーズがあることがうかがえます。

地区別では、中和東地区で「利用したい」が35.8%と他の地区と比べて高くなっています。

職業別では、主婦・無職で「利用したい」が35.4%と他の属性と比べて高くなっています。



(4) 外出の利便性向上のために必要な改善・施策

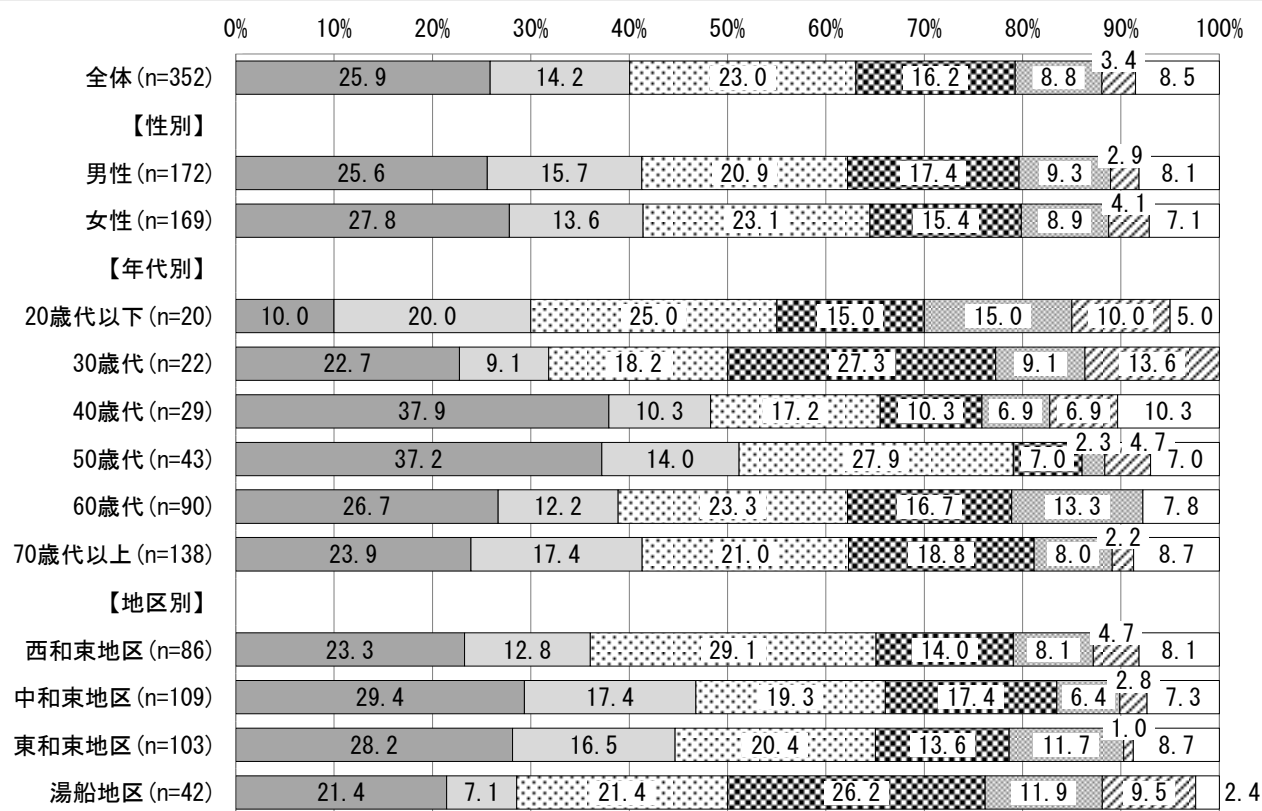
問 14 町内外への外出がより便利になるためには、どのような改善・施策が必要だと思いますか。あなたの考えに最も近い番号1つに○を付けてください。

全体では、「町の負担（財政支出）を増やして、新たな公共交通（コミュニティバス・予約型乗り合いタクシー等）の導入を進めるべき」が25.9%と最も高く、「赤字路線を廃止するなどして町の負担を減らし、新たな公共交通の導入を図るべき」が23.0%と続いています。

年代別では、40歳代と50歳代で「町の負担（財政支出）を増やして、新たな公共交通（コミュニティバス・予約型乗り合いタクシー等）の導入を進めるべき」が約4割と他の年代と比べて高くなっています。

地区別では、湯船地区で「新たな公共交通を導入するのではなく、町の負担によって既存の公共交通の維持・充実を図るべき」が26.2%と、他の地区と比べて高くなっています。

- 町の負担（財政支出）を増やして、新たな公共交通（コミュニティバス・予約型乗り合いタクシー）の導入を進めるべき
- 有料化などの利用者負担により、新たな公共交通の導入を図るべき
- 赤字路線を廃止するなどして町の負担を減らし、新たな公共交通の導入を図るべき
- 新たな公共交通を導入するのではなく、町の負担によって既存の公共交通の維持・充実を図るべき
- サービス水準は現状のままで良い
- その他
- 無回答



5. 住みやすさや、定住意向について

(1) 定住意向

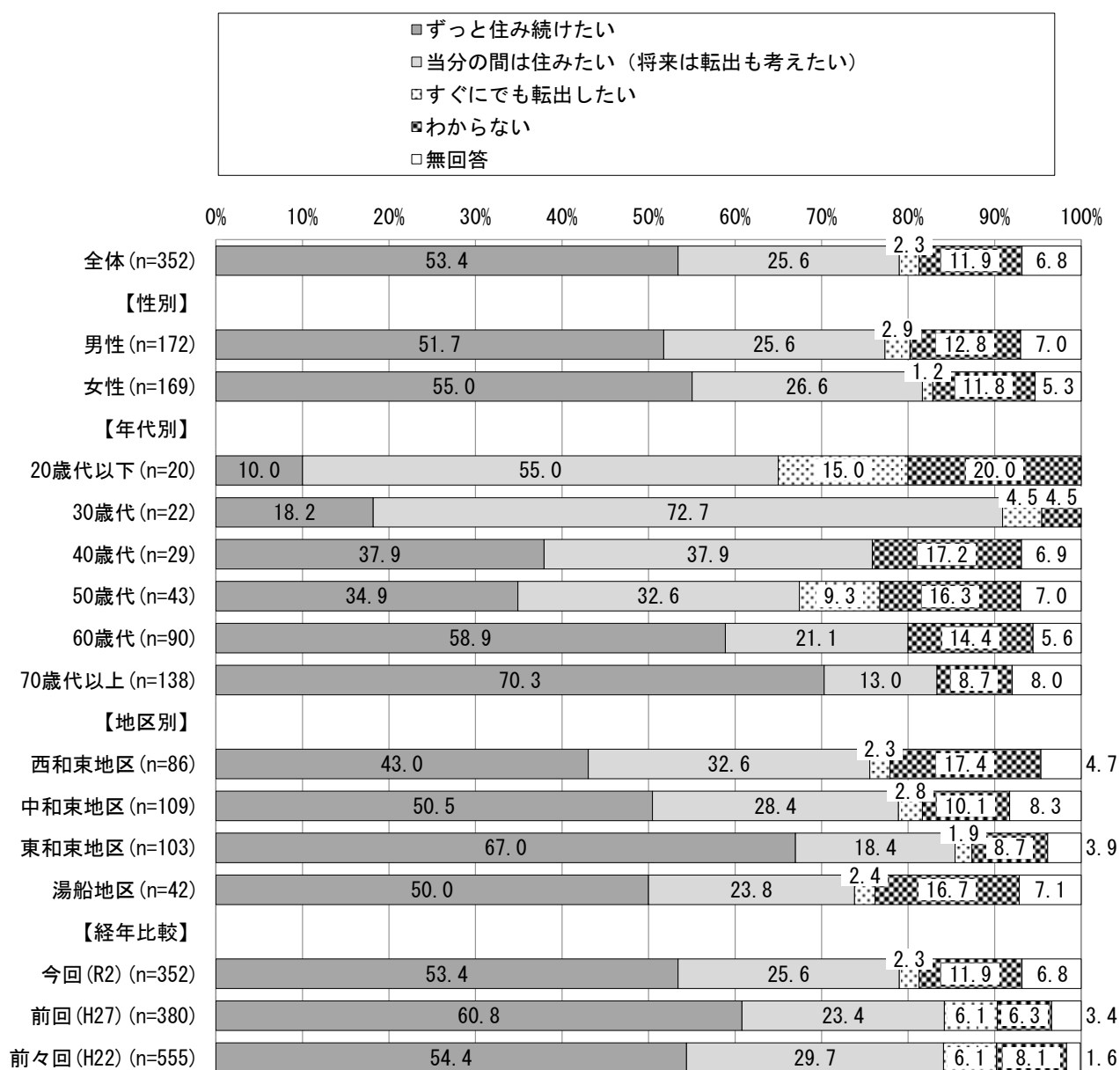
問 15 あなたはこれからも和東町に住み続けたいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では、「ずっと住み続けたい」が53.4%と最も高く、「当分の間は住みたい（将来は転出も考えたい）」が25.6%、「わからない」が11.9%、「すぐにでも転出したい」が2.3%と続いています。

年代別では「ずっと住み続けたい」は、年代が上がるほど、割合が高くなる傾向にあります（一部年代除く）。

地区別では「ずっと住み続けたい」は、東和東地区で67.0%と他の地区と比べて高くなっています。

経年比較では、前回調査と比較して「ずっと住み続けたい」は、7.4ポイント低くなっています。



(2) これからも住みたい理由

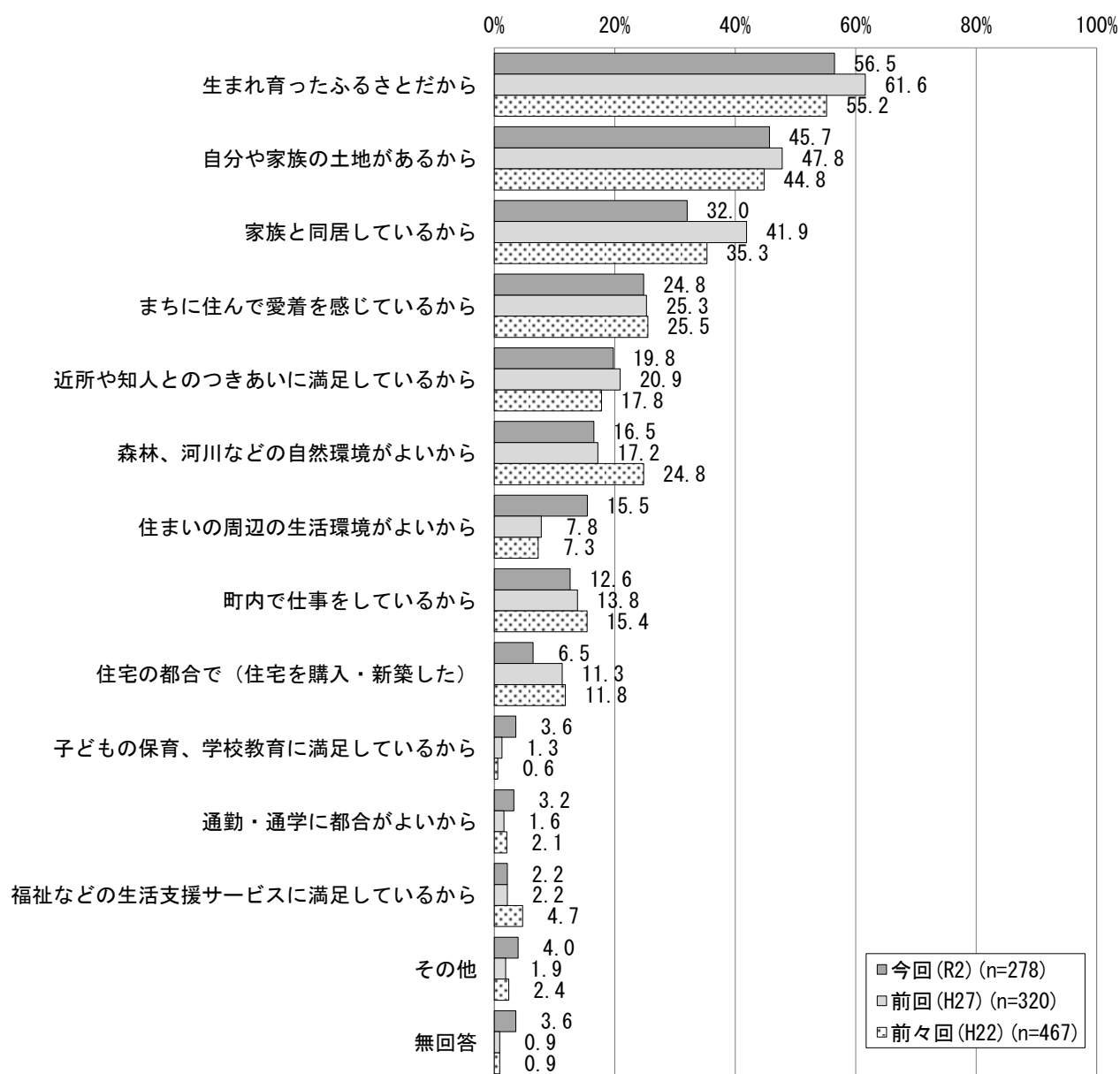
※ 問 15 で「ずっと住み続けたい」「当分の間は住みたい（将来は転出も考えたい）」とお答えの方におたずねします。

問 16 これからも和東町に住みたい主な理由は何ですか。特にあてはまる番号に3つまで○をつけてください。

(ア) 全体・経年比較

全体では、「生まれ育ったふるさとだから」が56.5%と最も高く、「自分や家族の土地があるから」が45.7%、「家族と同居しているから」が32.0%、「まちに住んで愛着を感じているから」が24.8%と続いています。

経年比較では、前回調査と上位6項目の順位に変動はありません。なお、「住まいの周辺の生活環境がよいから」(15.5%)が前回調査と比較して7.7ポイント高くなっています。

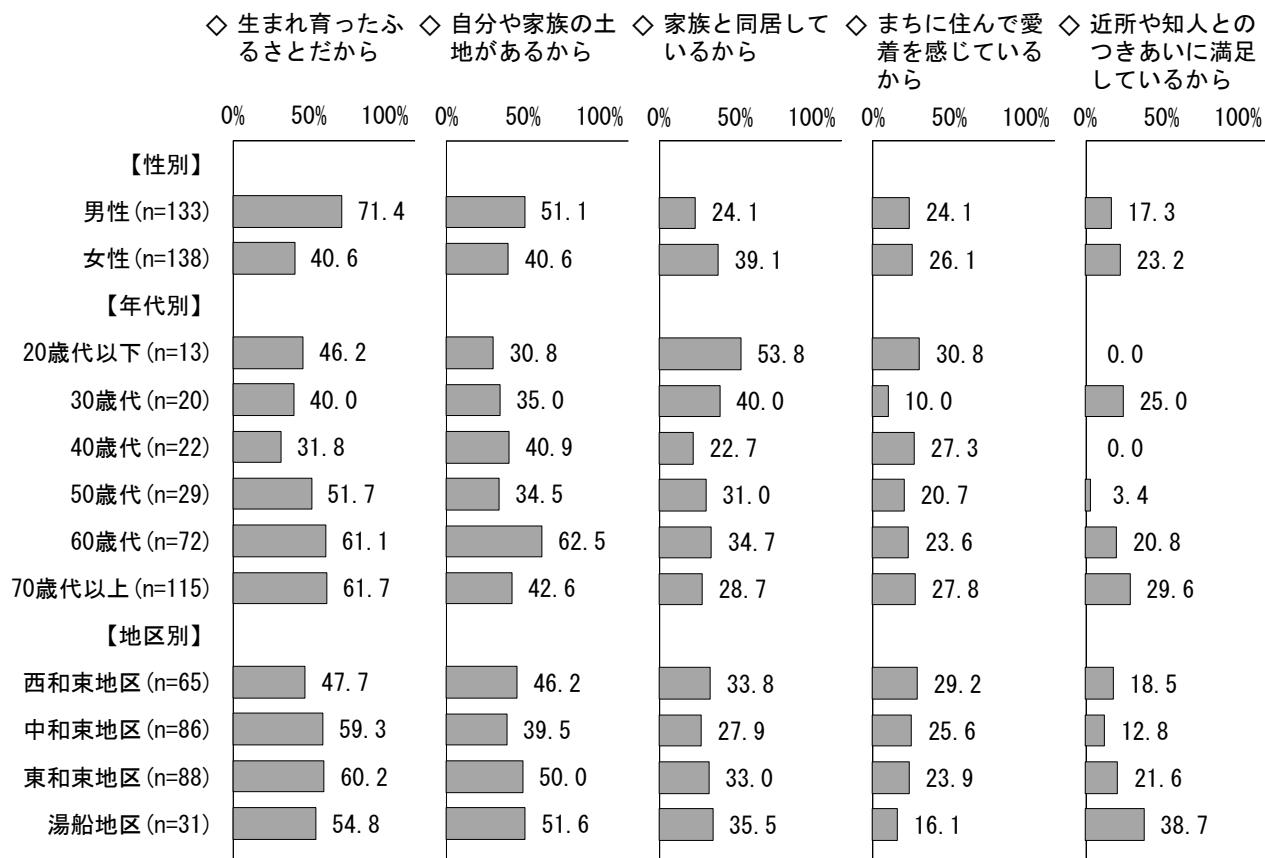


(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、「生まれ育ったふるさとだから」は、男性（71.4%）が女性（40.6%）を30.8ポイント上回っています。また「自分や家族の土地があるから」は、男性（51.1%）が女性（40.6%）を10.5ポイント上回っています。一方、「家族と同居しているから」は、女性（39.1%）が男性（24.1%）を15.0ポイント上回っています。

年代別では、40歳代以降年代が上がるほど、「生まれ育ったふるさとだから」の割合が高くなる傾向にあります。

地区別では、湯船地区で「近所や知人とのつきあいに満足しているから」が38.7%と、他の地区と比べて高くなっています。



(3) 転出したい理由

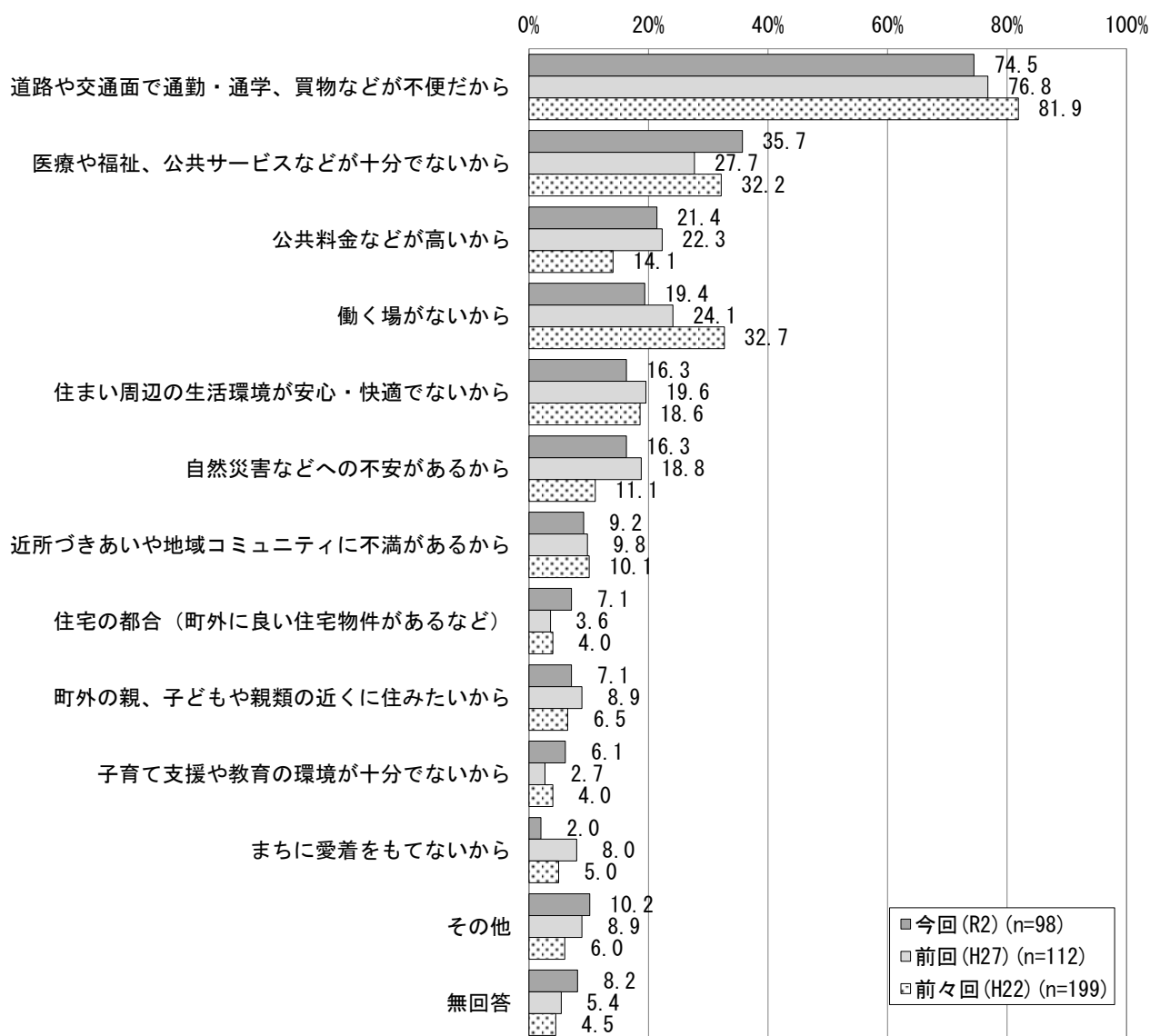
※ 問 15 で「当分の間は住みたい（将来は転出も考えたい）」「すぐにでも転出したい」とお答えの方におたずねします。

問 17 和東町から転出したい主な理由は何ですか。特にあてはまる番号に 3 つまで○をつけてください。

(ア) 全体・経年比較

全体では、「道路や交通面で通勤・通学、買物などが不便だから」が 74.5%と最も高く、「医療や福祉、公共サービスなどが十分でないから」が 35.7%、「公共料金などが高いから」が 21.4%、「働く場がないから」が 19.4%と続いています。

経年比較では、「道路や交通面で通勤・通学、買物などが不便だから」や「働く場がないから」は前々回、前回、今回と減少傾向がみられます。一方、前回調査よりも「医療や福祉、公共サービスなどが十分でないから」が 8.0 ポイント高くなっています。

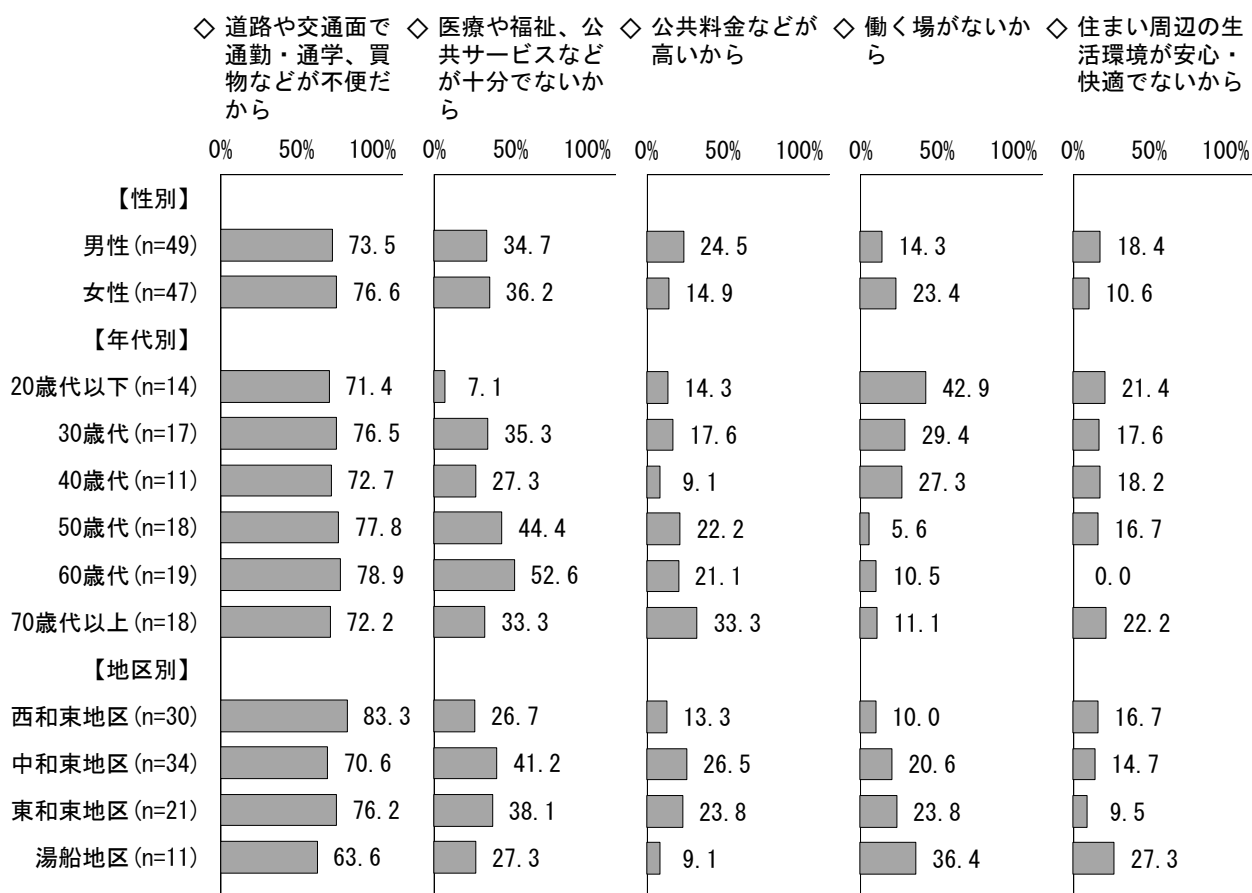


(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、「公共料金などが高いから」は、男性（24.5%）が女性（14.9%）を9.6ポイント上回っています。また「住まい周辺の生活環境が安心・快適でないから」は、男性（18.4%）が女性（10.6%）を7.8ポイント上回っています。一方、「働く場がないから」は、女性（23.4%）が男性（14.3%）を9.1ポイント上回っており、女性の雇用機会が少ないことがうかがえます。

年代別では、すべての年代において、「道路や交通面で通勤・通学、買物などが不便だから」が7割を超えています。また、50歳代と60歳代では、「医療や福祉、公共サービスなどが十分でないから」の割合が高く、20歳代以下から50歳代においては、年代が下がるほど「働く場がないから」の割合が高くなる傾向にあります。

地区別では、湯船地区で「働く場がないから」が36.4%と他の地区と比べて高くなっています。



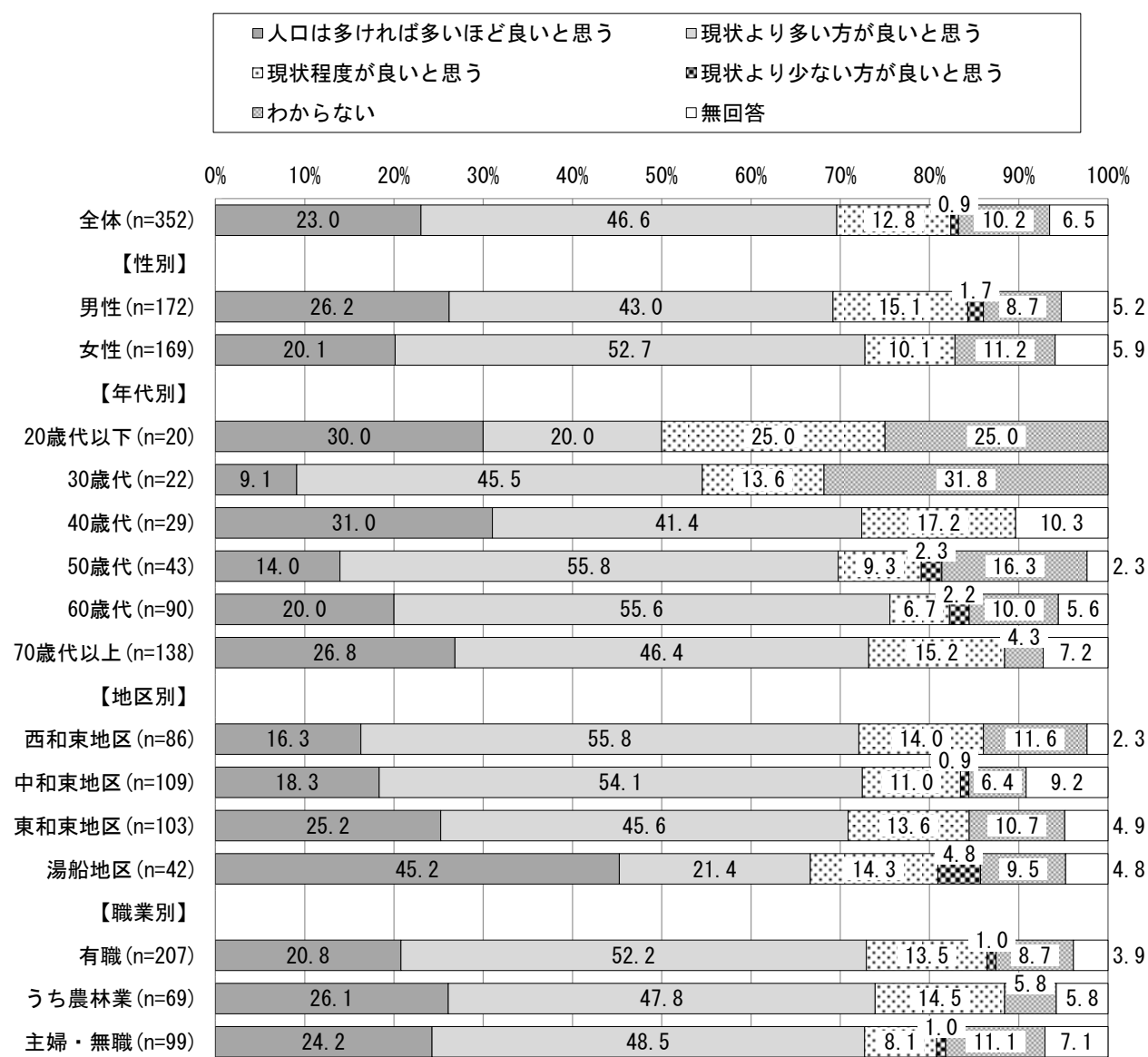
6. 人口について

(1) 人口

問 18 現在の和束町の人口は3,548人です（京都府推計人口 2月1日現在）。あなたは何人くらいが和束町の人口としてちょうど良いと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では、「人口が多ければ多いほど良いと思う」（23.0%）と「現状より多い方が良いと思う」（46.6%）を合わせた“多い方が良いと思う”が約7割（69.6%）となっています。

年代別では、40歳代以降で“多い方が良いと思う”がおよそ7～8割となっています。

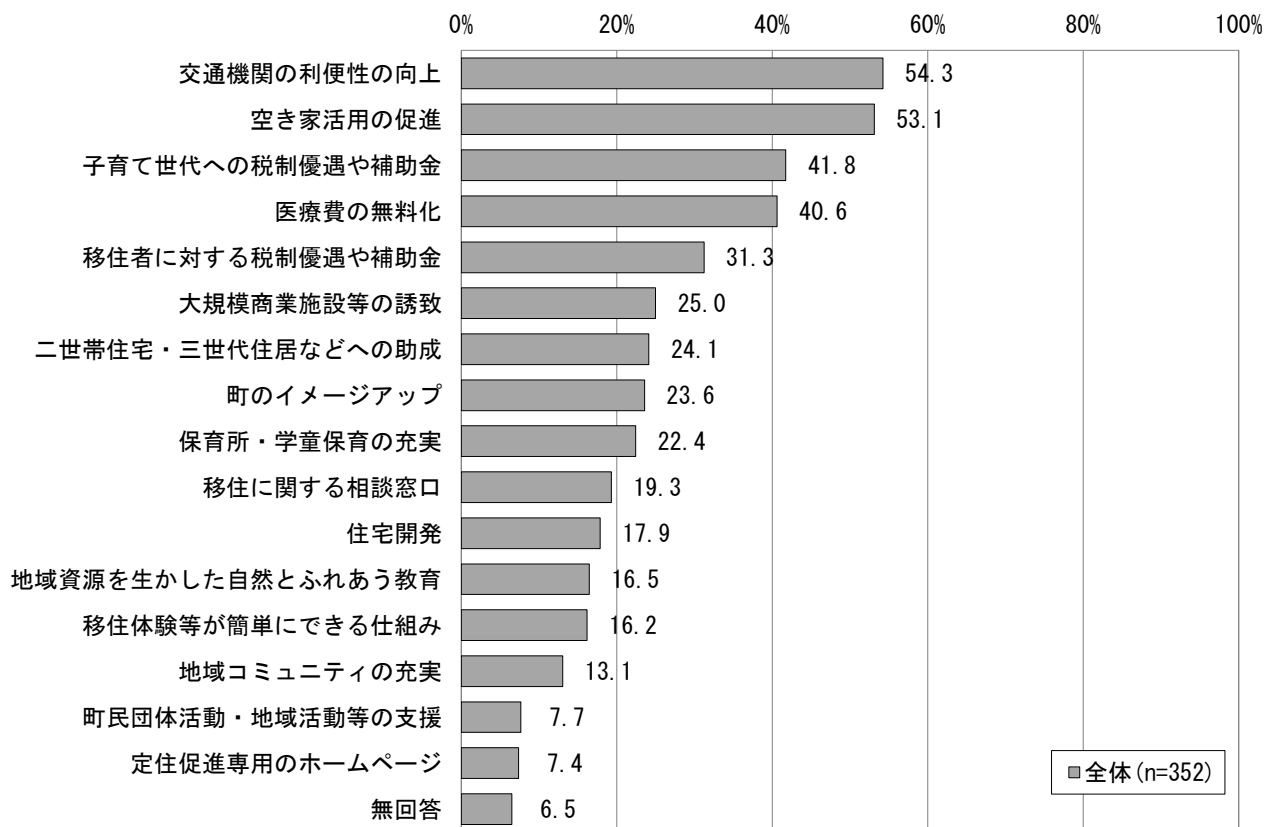


(2) 人口減少対策において重要だと思う取組

問 19 和東町では人口減少が進み、国立社会保障・人口問題研究所による推計によると 2040 年には現在の約半数（1,800 人程度）まで減少することが想定されます。町が人口減少対策に取り組むうえで、今後どのような取組が重要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、「交通機関の利便性の向上」が 54.3%と最も高く、「空き家活用の促進」が 53.1%、「子育て世代への税制優遇や補助金」が 41.8%、「医療費の無料化」が 40.6%と続いています。

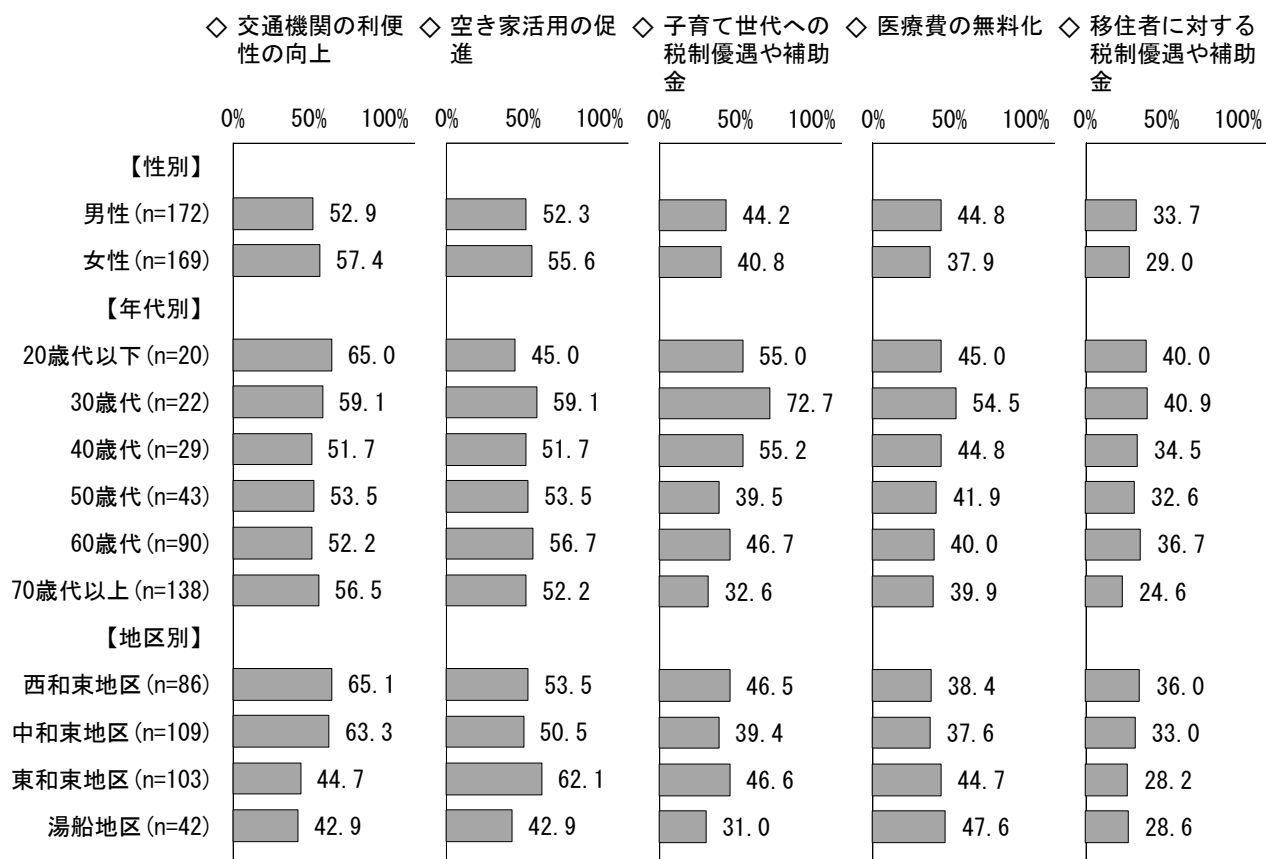


(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、男女ともに「交通機関の利便性の向上」と「空き家活用の促進」が半数を超えています。また「医療費の無料化」は、男性（44.8%）が女性（37.9%）を6.9ポイント上回っています。

年代別では、30歳代で「子育て世代への税制優遇や補助金」が7割超（72.7%）と、他の年代と比べて高くなっています。また「医療費の無料化」は、30歳代以降年代が上がるほど、割合は低くなる傾向にあります。

地区別では、西和東地区と中和東地区で「交通機関の利便性の向上」が、東和東地区で「空き家活用の促進」がそれぞれ6割を超えています。



(3) 人口減少抑制・関係人口拡大のために重点的に進めるべきだと思う取組

問 20 そのほか、今後人口減少を抑制するため、また関係人口※を拡大させるためにはどのような取組を重点的に進めるべきだと思いますか。あなたが考えることを自由に記述してください。

※関係人口とは…移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様な形でかかわる人のこと。

要旨ごとのまとめは下表のとおりです。

「近辺の雇用創出・企業誘致」が31件と最も多く、「道路・上下水道などのインフラ整備」が16件、「住居の提供・サポート（空き家バンク、賃貸の斡旋、住宅地の開発）」と「公共交通機関の利便性向上」がそれぞれ13件と続いています。

意見要旨	件数
近辺の雇用創出・企業誘致	31件
道路・上下水道などのインフラ整備	16件
住居の提供・サポート（空き家バンク、賃貸の斡旋、住宅地の開発）	13件
公共交通機関の利便性向上	13件
飲食店や買い物できる場所の充実・利便性向上	12件
若い世代・子育て世代への移住促進、支援	8件
税制面での優遇・補助金など	7件
移住者や若者向けの施設・環境整備	6件
結婚を奨励する取り組み（婚活イベントなど）	5件
人間関係など閉鎖的なイメージの払拭	5件
まちの魅力PR推進	4件
地域のコミュニティ・交流強化	3件
自然を生かした景勝地や森林公園の整備	3件
医療機関の増強	3件
公園やアスレチック等、子どもの遊び場の増設	2件
IT化の推進	2件
まちへの愛着が持てるような取り組み	2件
茶業、農業、林業等へのサポート	2件
子育て支援	2件
移住者向け生活体験	2件
茶農家への外国人労働者雇用支援	1件
観光客よりも住民を重視した環境づくり	1件
人口減少時にどうありたいかという目標設定	1件
東部の町村との合併	1件
「道の駅」を作る	1件
町特産品の開発	1件
新しい教育プログラムの導入	1件
介護施設の増強	1件
対策不要	2件
わからない、思いつかない	2件
合計	153件

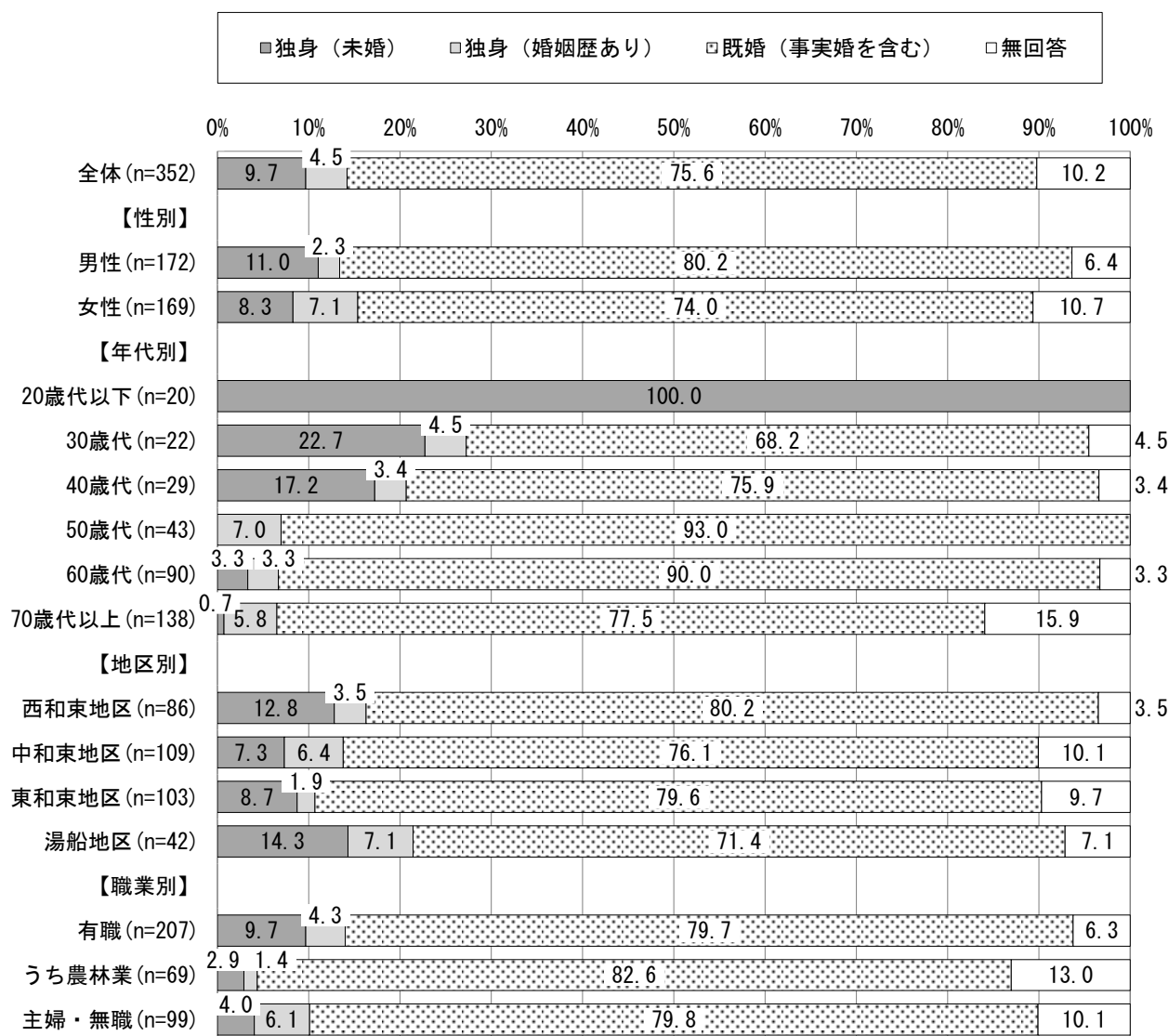
7. 結婚について

(1) 婚姻状況

問 21 あなたは、現在、結婚していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では、「独身（未婚）」が9.7%、「独身（婚姻歴あり）」が4.5%、「既婚（事実婚を含む）」が75.6%となっています。

年代別では、20歳代以下のすべての方が「独身（未婚）」と回答しており、30歳代で約7割が「既婚（事実婚を含む）」と回答しています。30歳代で結婚するケースが大半であることがうかがえます。



(2) 結婚していない理由

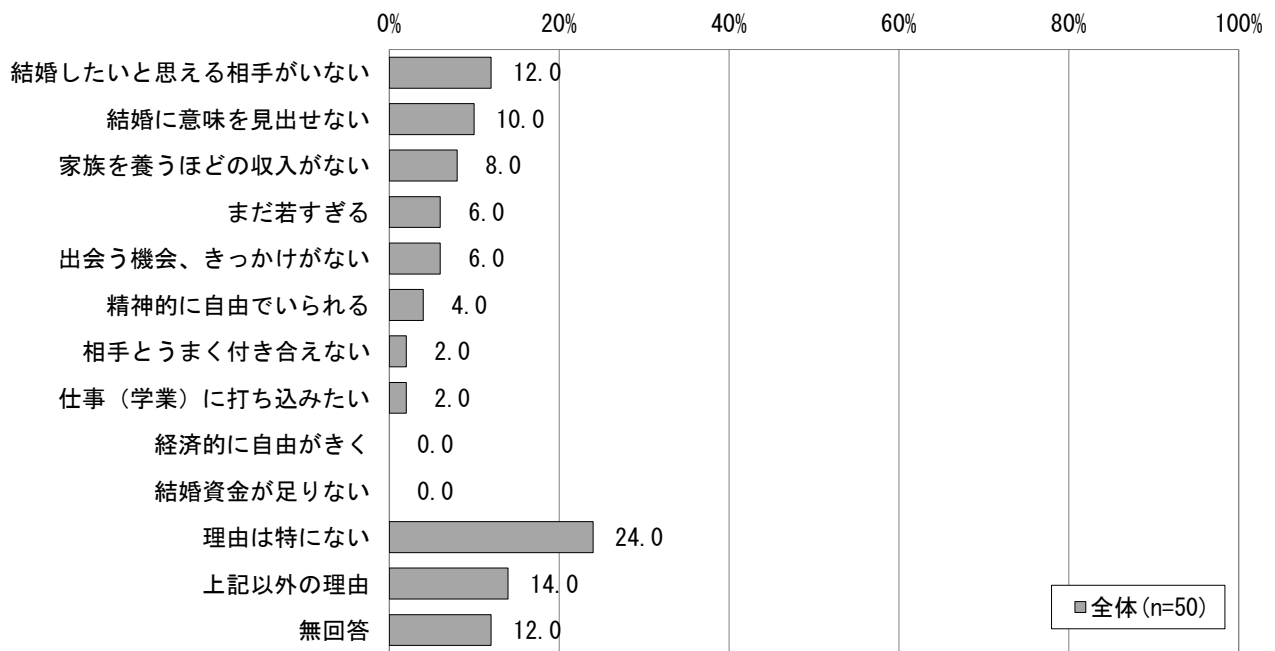
※ 問 21 で「独身（未婚）」、「独身（婚姻歴あり）」と答えた方におたずねします。

問 22-1 現在、結婚していない理由は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、「結婚したいと思える相手がない」が12.0%と最も高く、「結婚に意味を見出せない」が10.0%、「家族を養うほどの収入がない」が8.0%と続いています。

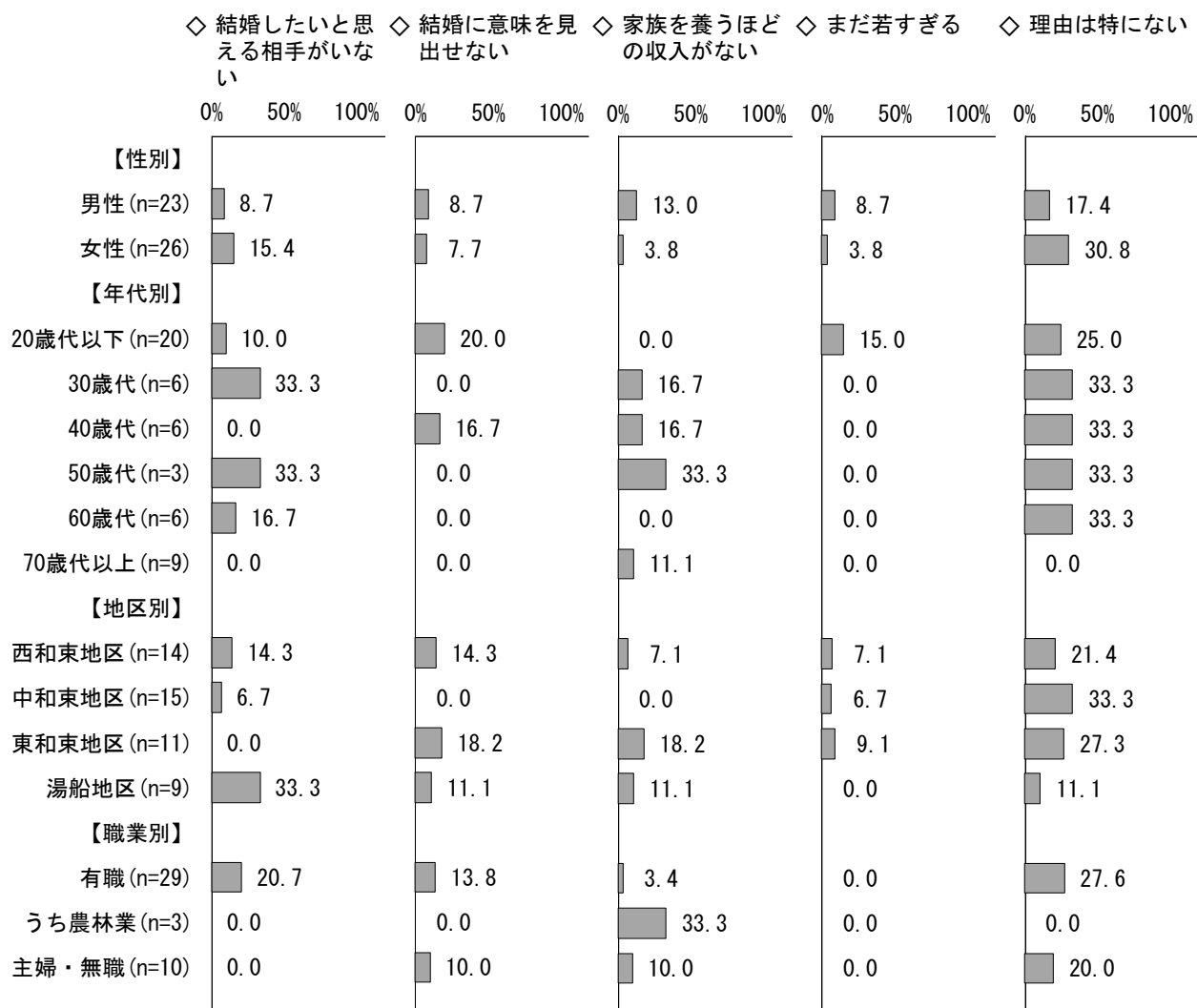
また、「理由は特にない」が24.0%みられます。



(イ) 属性別

性別では、男性で「家族を養うほどの収入がない」(13.0%)が、女性で「結婚したいと思える相手がない」(15.4%)が最も高くなっています。

また、女性においては「理由は特にない」が約3割(30.8%)みられます。



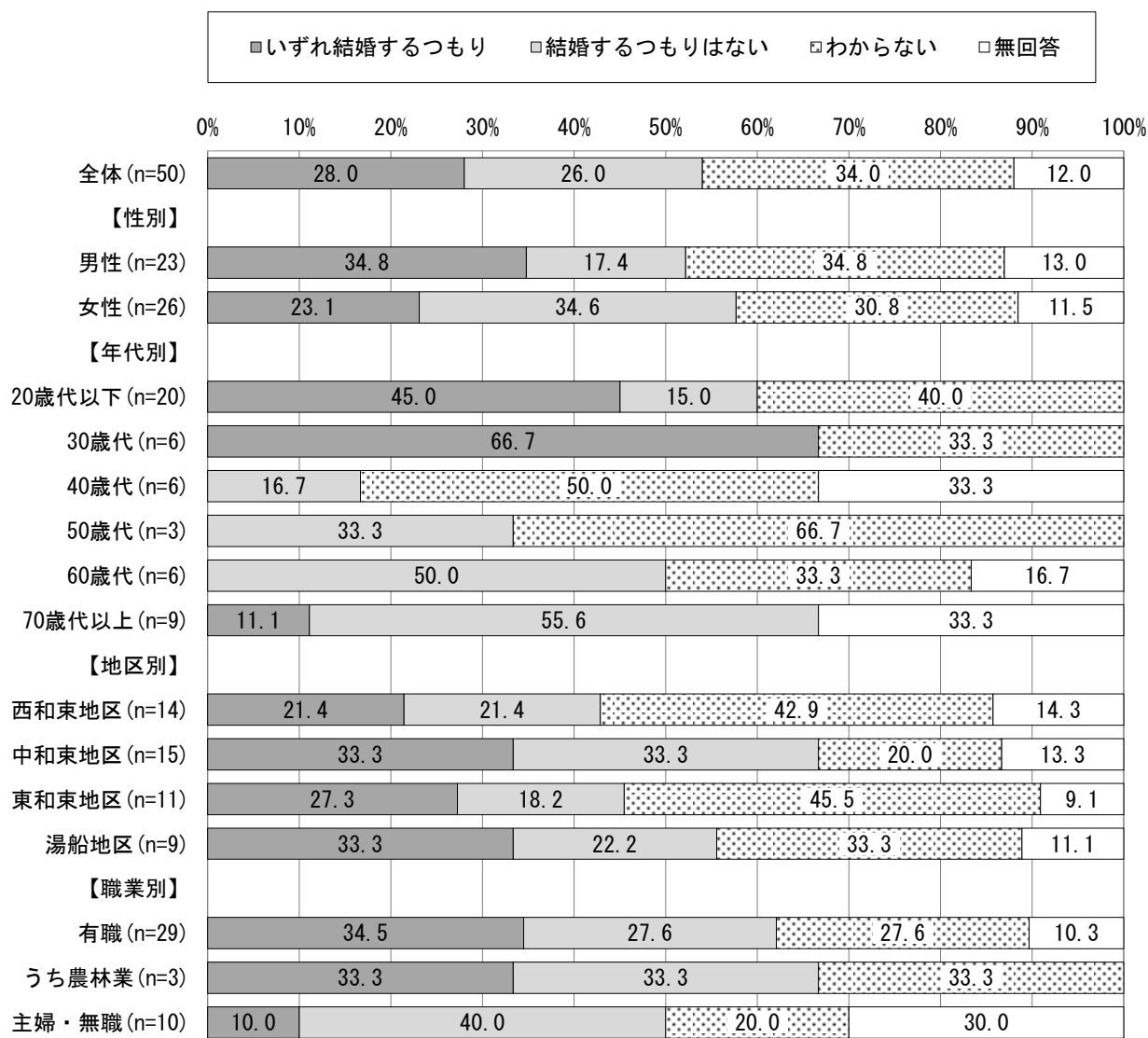
(3) 今後の結婚に関する希望

※ 問21で「独身（未婚）」、「独身（婚姻歴あり）」と答えた方におたずねします。

問22-2 今後の結婚に関するあなたの希望は、次のうちどれにあてはまりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では、「いずれ結婚するつもり」が28.0%、「結婚するつもりはない」が26.0%、「わからない」が34.0%となっています。

性別では、「いずれ結婚するつもり」は、男性（34.8%）が女性（23.1%）を11.7ポイント上回っています。一方、「結婚するつもりはない」は、女性（34.6%）が男性（17.4%）を17.2ポイント上回っています。女性より男性の方が結婚を望む人が多いことがうかがえます。



(4) 結婚後の居留意向

※ 問 21 で「独身（未婚）」、「独身（婚姻歴あり）」と答えた方におたずねします。

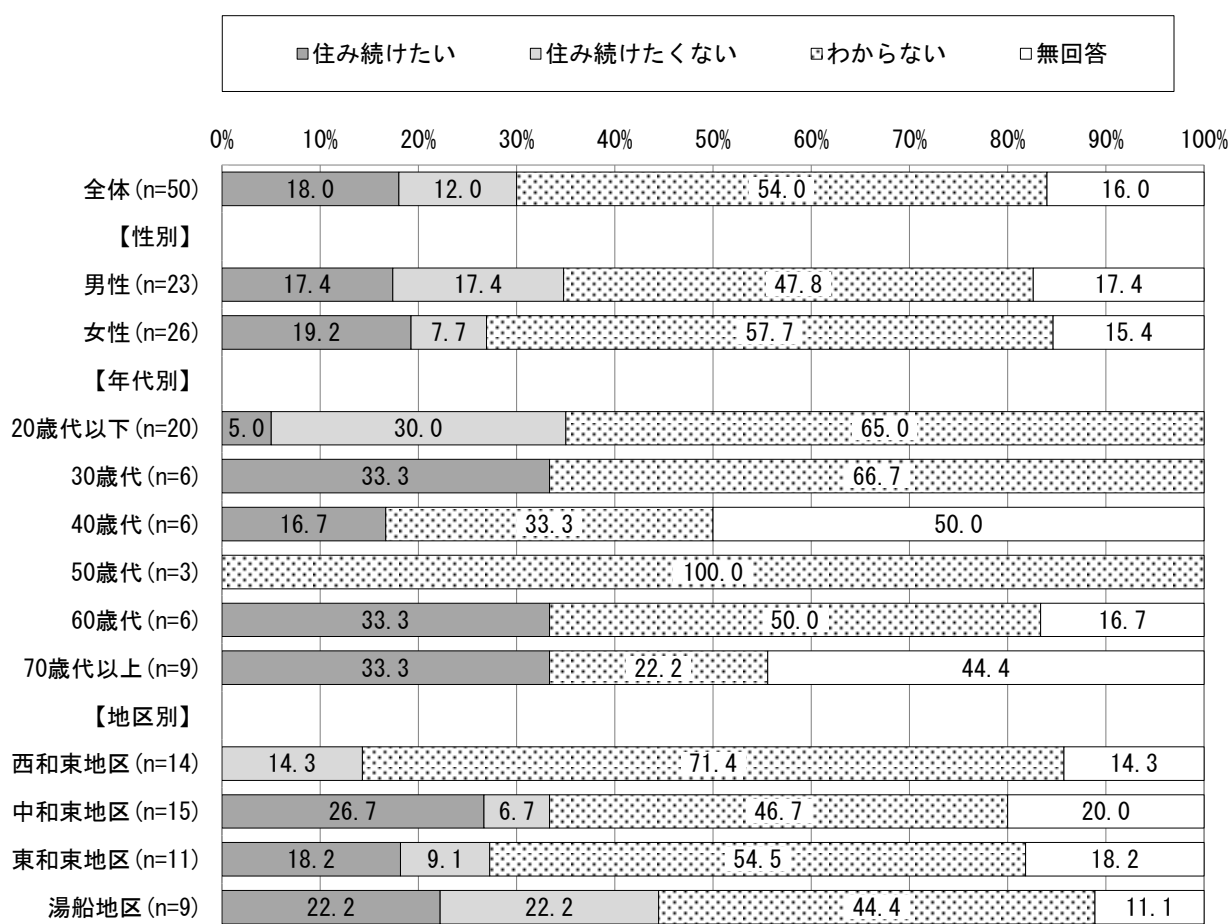
問 22-3 結婚後も和束町に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

全体では、「住み続けたい」が 18.0%、「住み続けたくない」が 12.0%、「わからない」が 54.0% となっています。

性別では「住み続けたくない」は、男性（17.4%）が女性（7.7%）を 9.7 ポイント上回っています。

年代別では、20 歳代以下で「住み続けたくない」が 30.0%となっています。

地区別では、西和束地区で「住み続けたい」との回答はみられません。

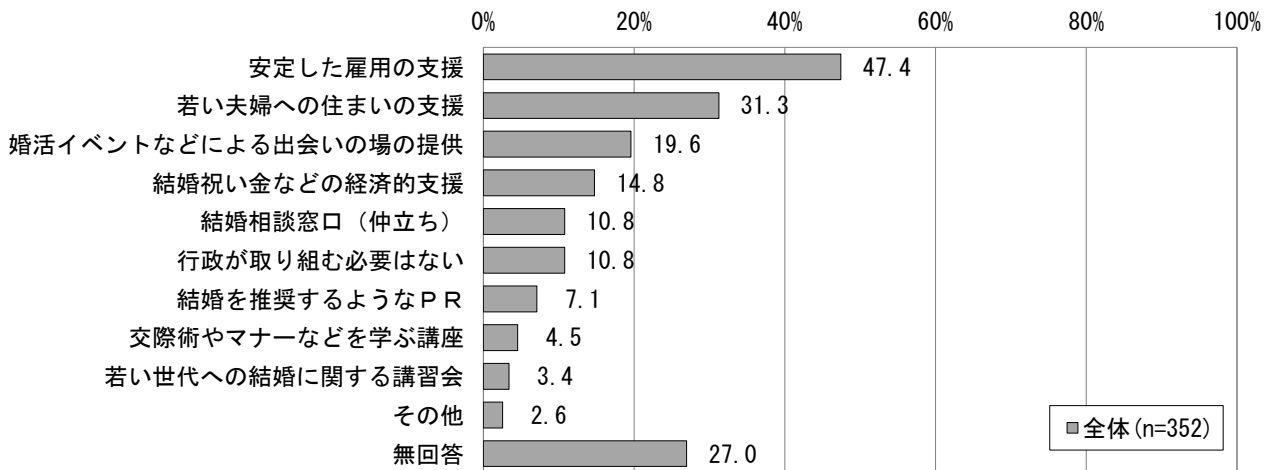


(5) 重点的に取り組むべき結婚支援事業

問 23 和束町が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思えますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

(ア) 全体

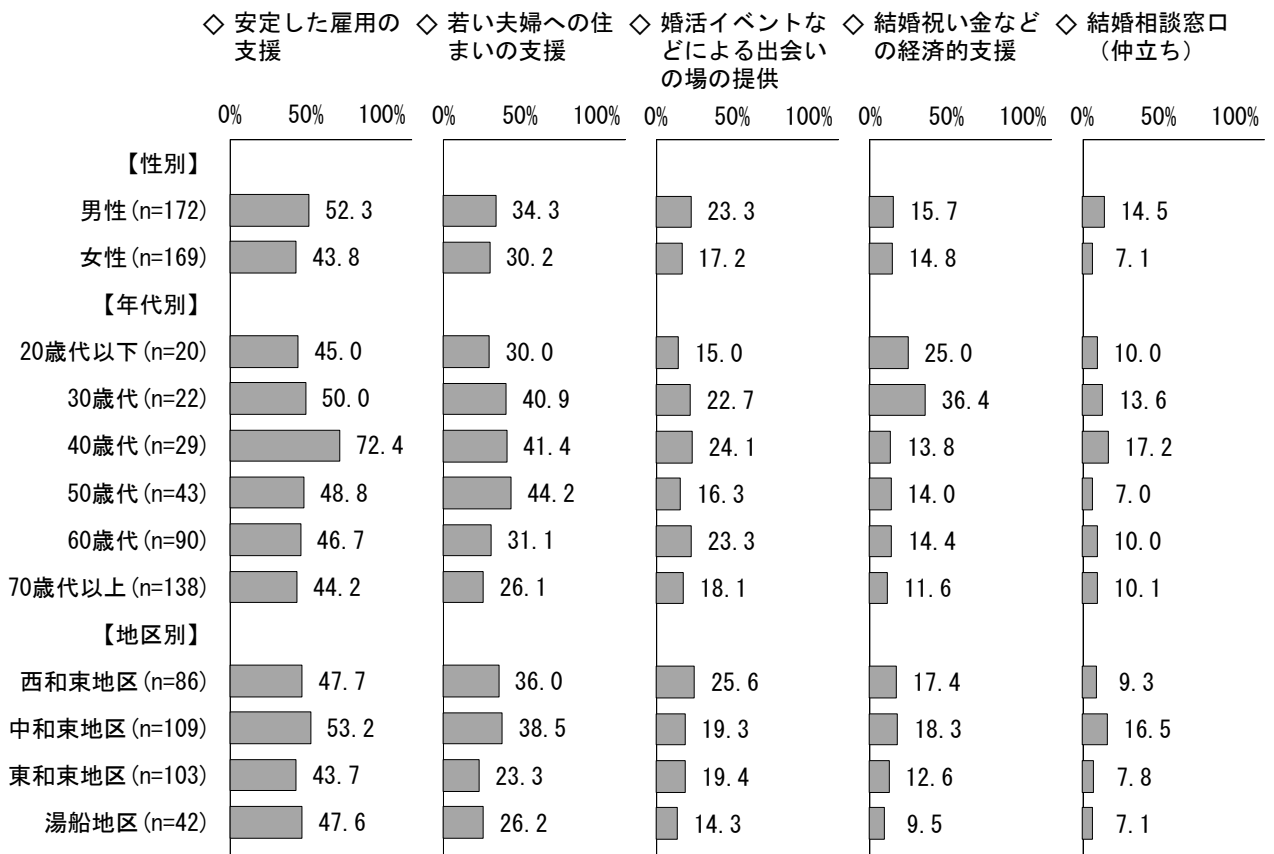
全体では、「安定した雇用の支援」が47.4%と最も高く、「若い夫婦への住まいの支援」が31.3%、「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」が19.6%、「結婚祝い金などの経済的支援」が14.8%と続いています。



(イ) 属性別(上位5項目)

性別では、男性で「安定した雇用の支援」(52.3%)が半数を超えています。

年代別では、すべての年代で「安定した雇用の支援」が最も高くなっています。また、20歳代以下、30歳代では「結婚祝い金などの経済的支援」が2割を超えています。



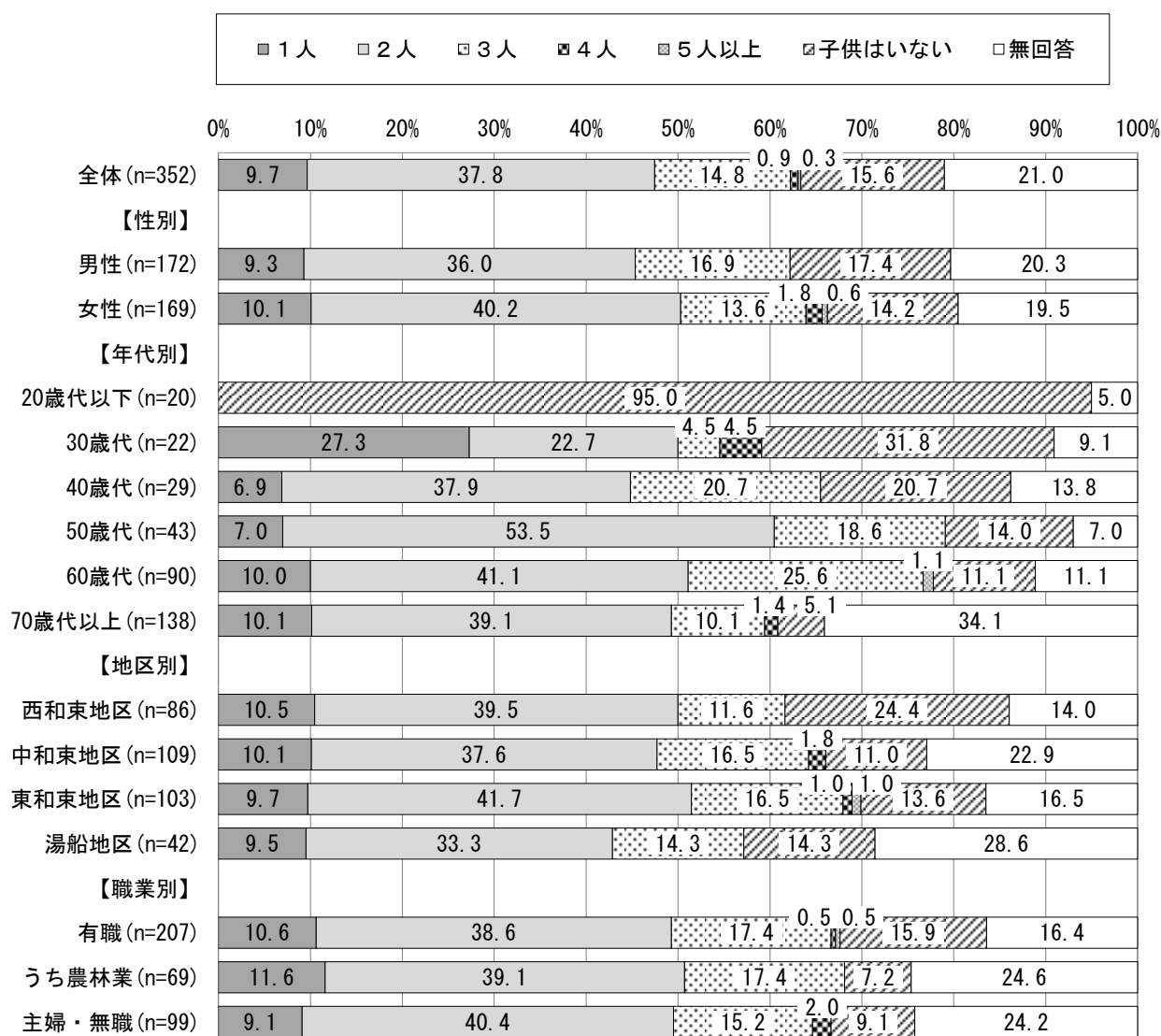
8. 出産・子育てについて

(1) 子どもの人数

問 24 あなたは現在、お子さんが何人いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では、「2人」が37.8%と最も高く、「子供はいない」が15.6%、「3人」が14.8%、「1人」が9.7%と続いています。

年代別では、30歳代で「1人」が27.3%、「2人以上」が31.7%となっています。また、40歳代以降で「2人以上」が5割以上となっています。

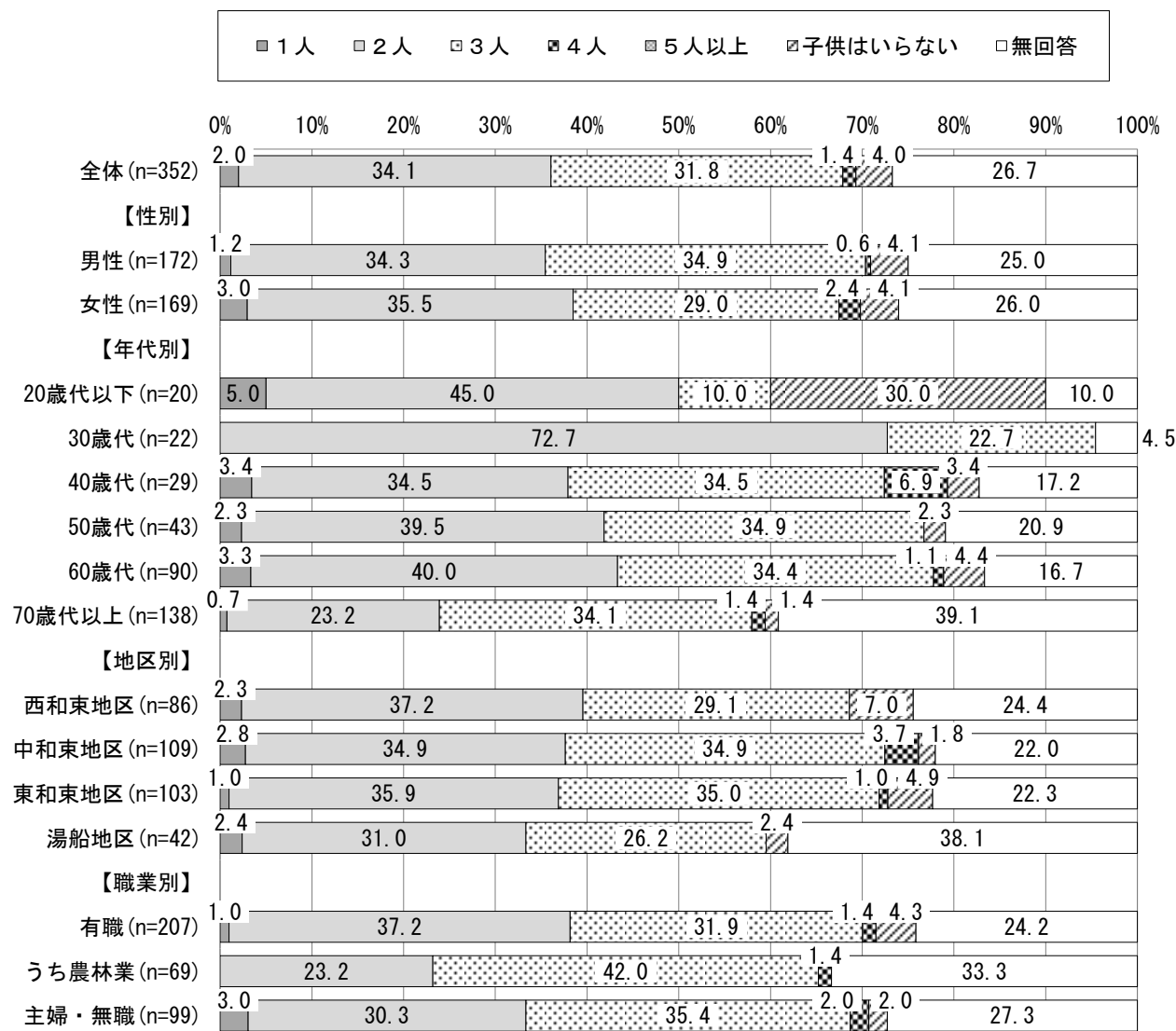


(2) 理想的な子どもの人数

問 25 あなたにとって、理想的な子供の数は何人ですか（現在いるお子さんの人数も含む）。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では、「2人」が34.1%と最も高く、「3人」が31.8%、「子供はいらない」が4.0%、「1人」が2.0%と続いています。

年代別では、30歳代で7割以上が「2人」を理想としています。

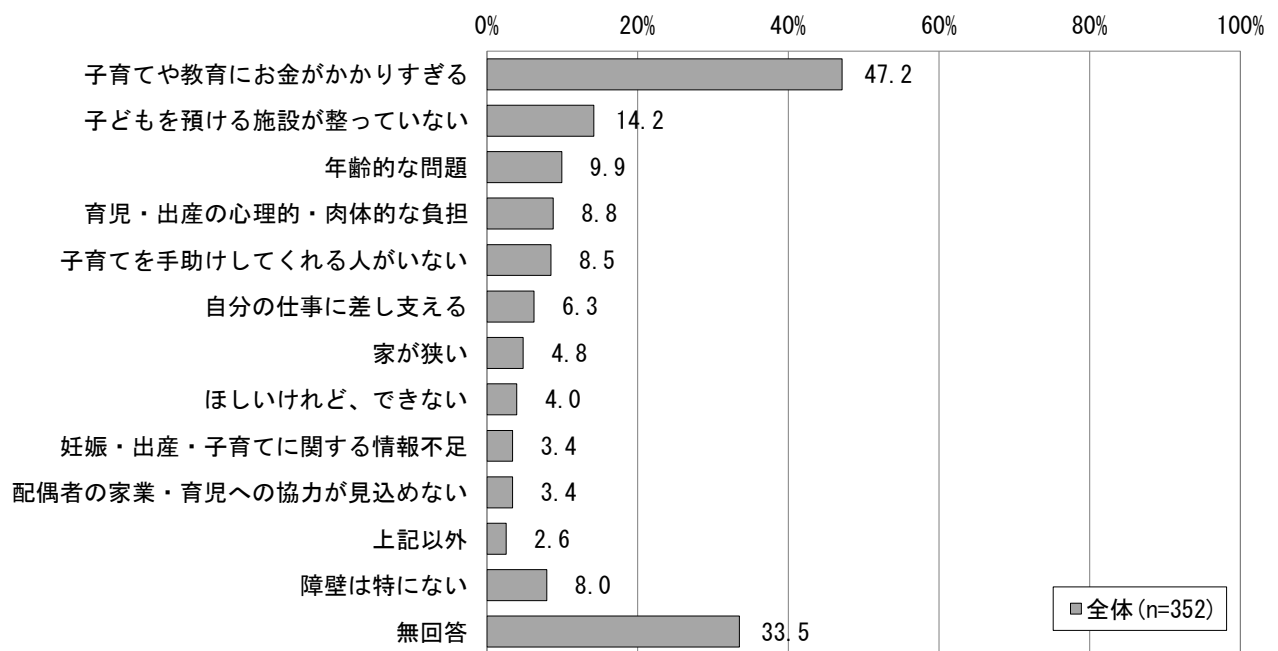


(3) 理想的な子どもの人数の実現の障壁となり得ること

問 26 理想的な子どもの数を実現するために、障壁となること（なりそうなこと）は何ですか。
あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が47.2%と最も高く、「子どもを預ける施設が整っていない」が14.2%、「年齢的な問題」が9.9%、「育児・出産の心理的・肉体的な負担」が8.8%と続いています。

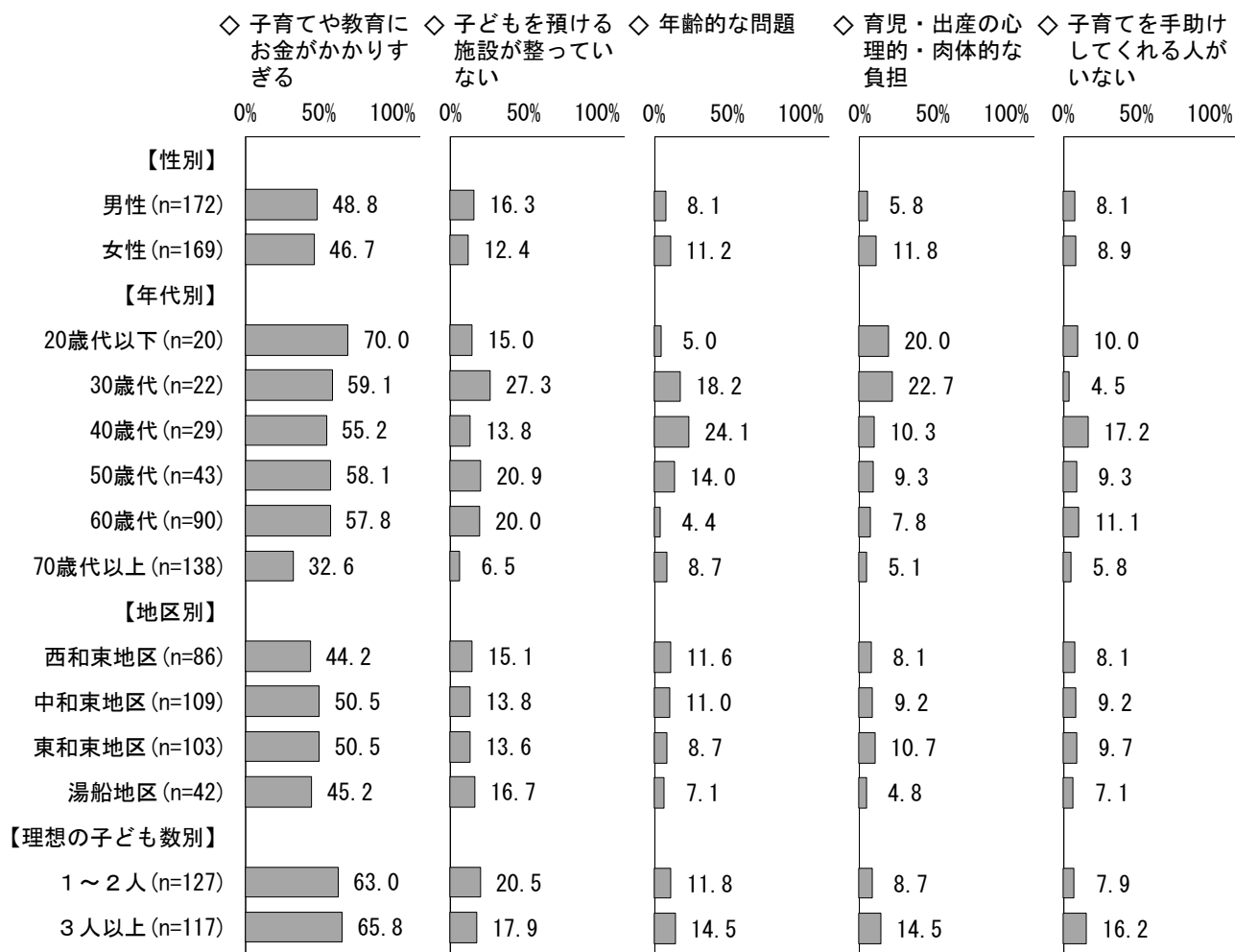


(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、男女ともに「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も高く約5割となっています。

年代別では、年代が下がるほど「子育てや教育にお金がかかりすぎる」の割合が高くなる傾向にあります（一部年代を除く）。

理想の子ども数別では、3人以上の子どもを理想とする方は「子育てを手助けしてくれる人がいない」が16.2%、「育児・出産の心理的・肉体的な負担」が14.5%と、1～2人の子ども数を理想とする方に比べ、割合が高くなっています。

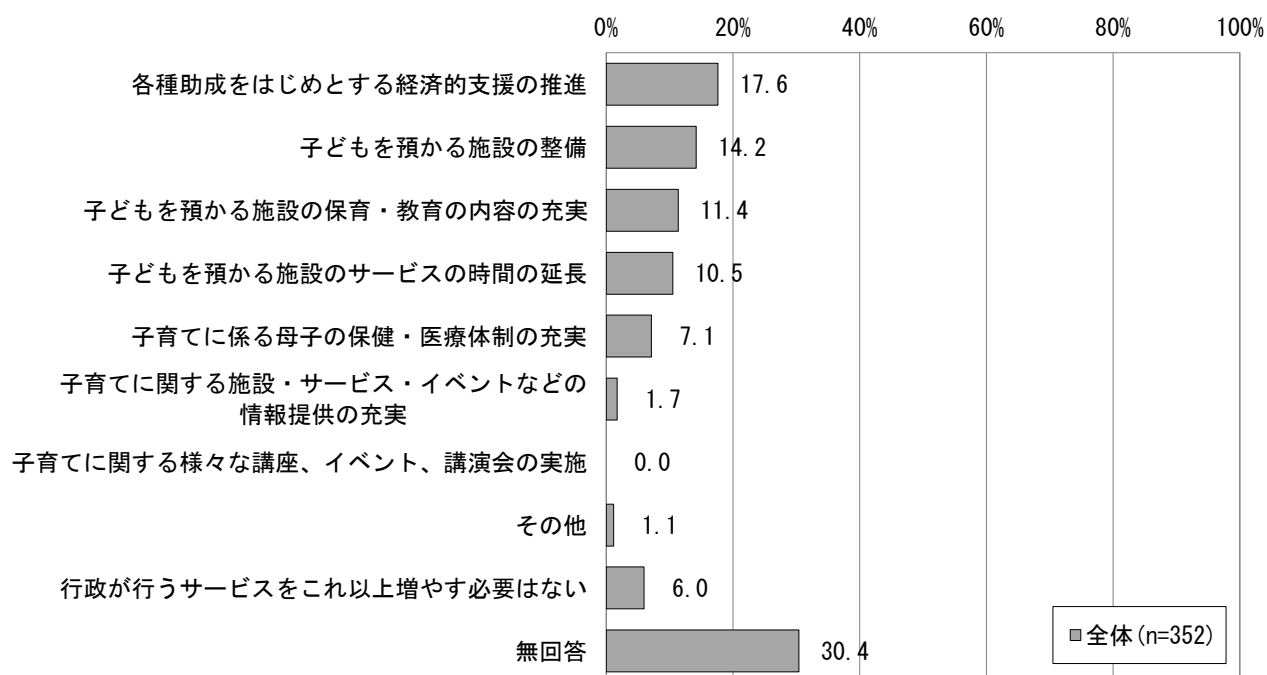


(4) 育児に関して今後力を入れるべきだと思うサービス

問 27 今後、育児に関するサービスとして、和東町が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、「各種助成をはじめとする経済的支援の推進」が17.6%と最も高く、「子どもを預かる施設の整備」が14.2%、「子どもを預かる施設の保育・教育の内容の充実」が11.4%、「子どもを預かる施設のサービスの時間の延長」が10.5%と続いています。

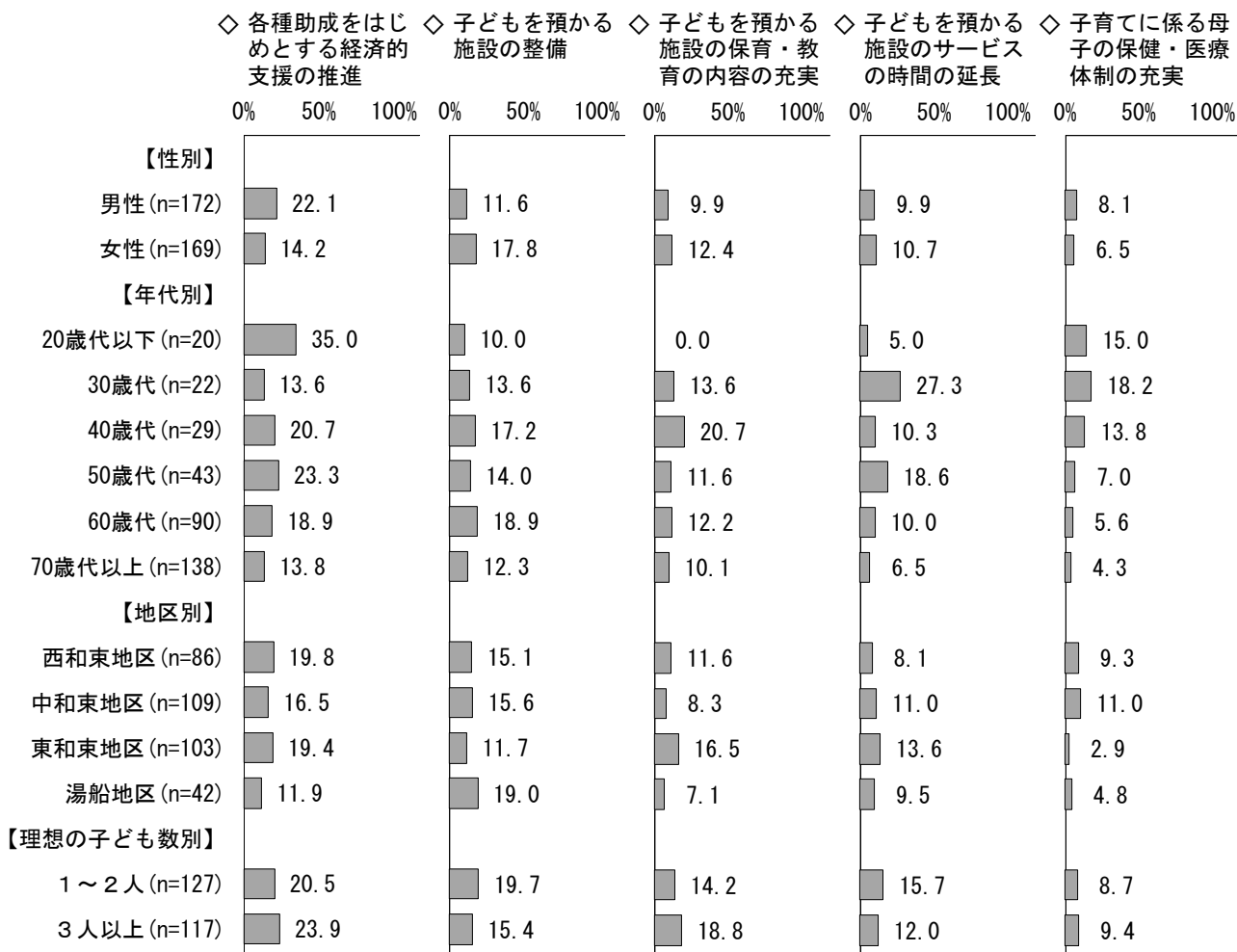


(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、男性は「各種助成をはじめとする経済的支援の推進」（22.1%）、女性は「子どもを預かる施設の整備」（17.8%）が最も高くなっています。

年代別では、20歳代以下は「各種助成をはじめとする経済的支援の推進」（35.0%）、30歳代は「子どもを預かる施設のサービスの時間の延長」（27.3%）が他の年代と比べて高くなっています。

理想の子ども数別では、3人以上の子どもを理想とする方は「子どもを預かる施設の保育・教育の内容の充実」が18.8%と、1～2人の子どもを理想とする方に比べ、その割合が高くなっています。



9. 相楽東部広域連合について

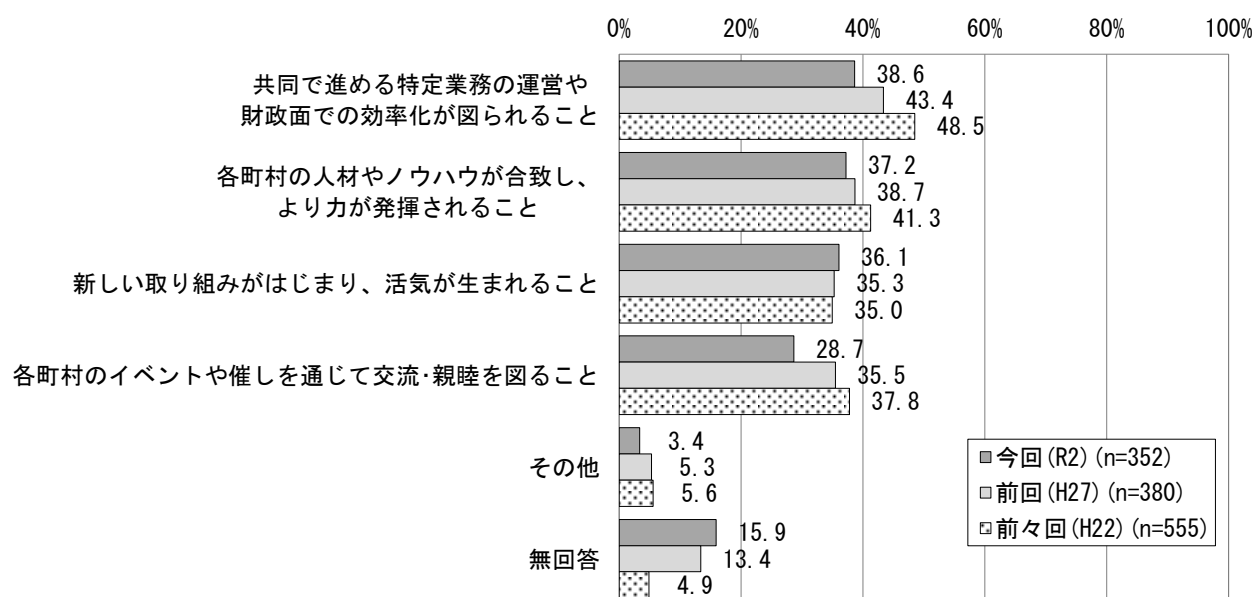
(1) 相楽東部広域連合に期待すること

問 28 和束町は、笠置町、南山城村とともに相楽東部広域連合を組織し、教育委員会事務、広報の発行などを共同で進めています。この広域行政の取り組みについて、あなたは今後特にどのようなことを期待しますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

(ア) 全体・経年比較

全体では、「共同で進める特定業務の運営や財政面での効率化が図られること」が38.6%と最も高く、「各町村の人材やノウハウが合致し、より力が発揮されること」が37.2%、「新しい取り組みがはじまり、活気が生まれること」が36.1%、「各町村のイベントや催しを通じて交流・親睦を図ること」が28.7%と続いています。

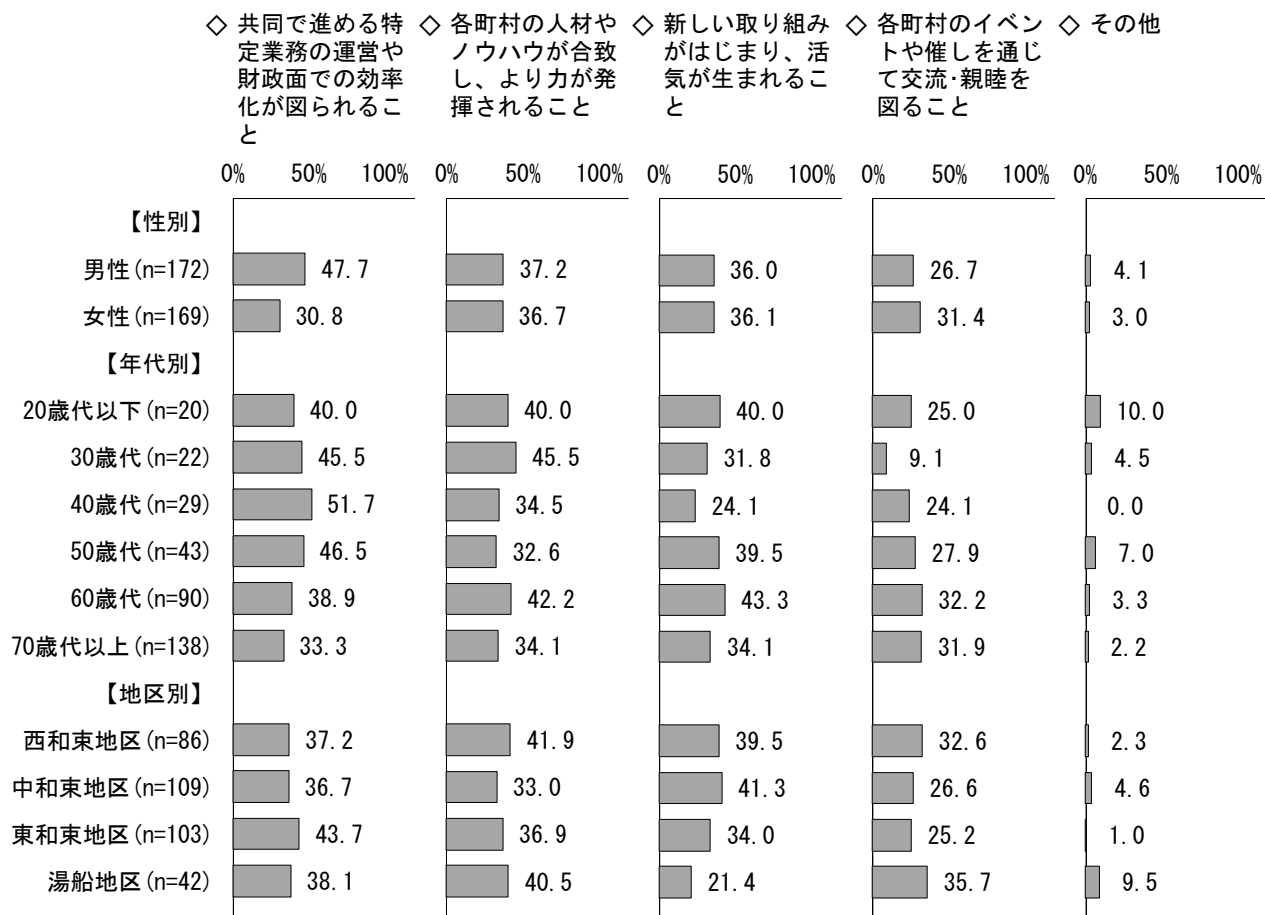
経年比較では、「共同で進める特定業務の運営や財政面での効率化が図られること」、「各町村の人材やノウハウが合致し、より力が発揮されること」、「各町村のイベントや催しを通じて交流・親睦を図ること」は前々回、前回、今回と減少傾向がみられます。一方、「新しい取り組みがはじまり、活気が生まれること」は増加傾向がみられます。



(イ) 属性別（上位5項目）

性別では「共同で進める特定業務の運営や財政面での効率化が図られること」は、男性（47.7%）が女性（30.8%）を16.9ポイント上回っています。

年代別では「各町村のイベントや催しを通じて交流・親睦を図ること」は、30代において9.1%と他の年代と比較して低くなっています。若年層を中心にイベント等のニーズが低くなっている可能性が推測されます。



(2) 相楽東部広域連合の取り組みへの考え

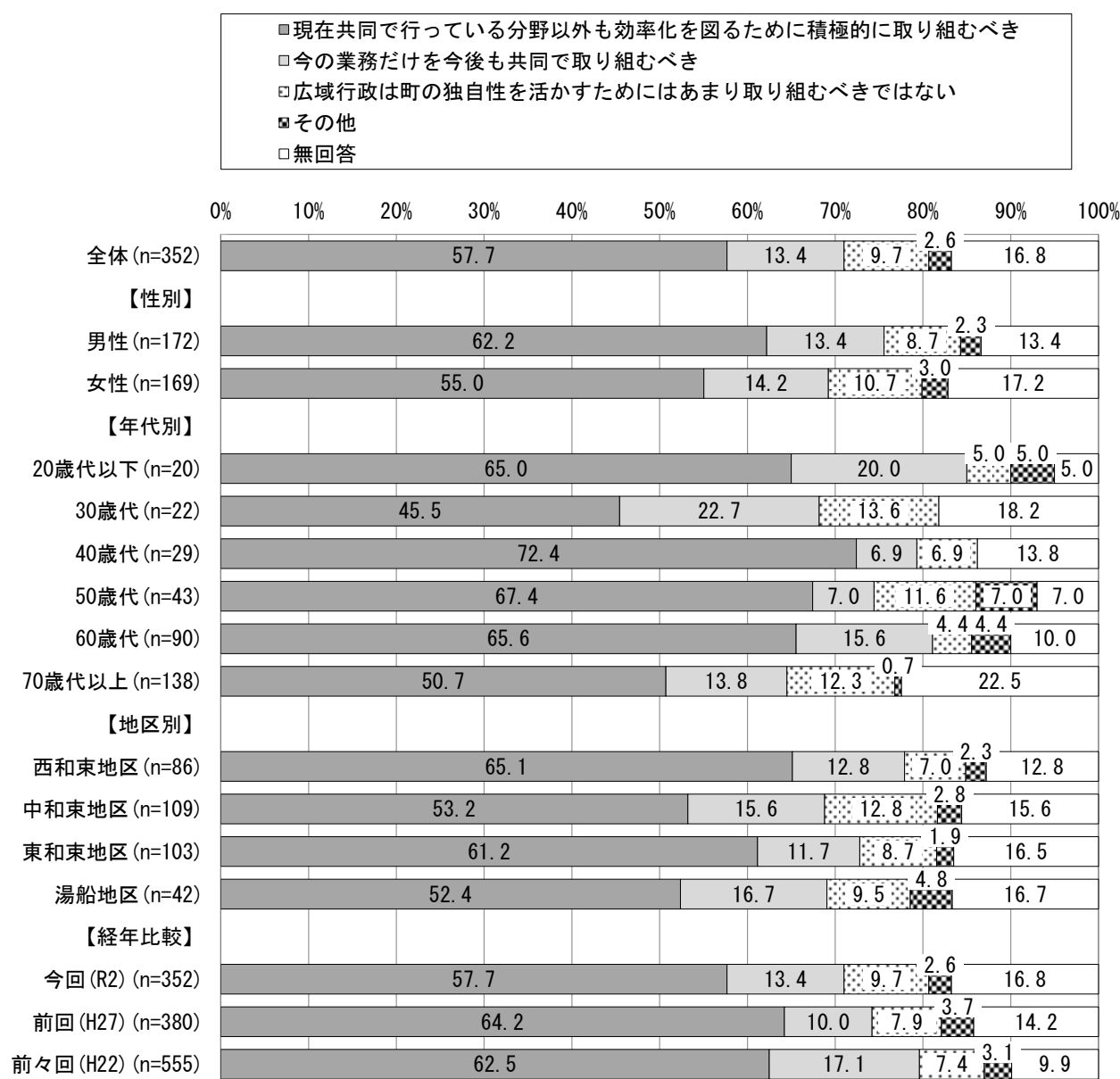
問 29 相楽東部広域連合の取り組みについて、あなたの考えに最も近いものはどれでしょうか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では、「現在共同で行っている分野以外も効率化を図るために積極的に取り組むべき」が57.7%と最も高く、「今の業務だけを今後も共同で取り組むべき」が13.4%、「広域行政は町の独自性を活かすためにはあまり取り組むべきではない」が9.7%と続いています。

性別では「現在共同で行っている分野以外も効率化を図るために積極的に取り組むべき」は、男性(62.2%)が女性(55.0%)を7.2ポイント上回っています。

年代別では、「現在共同で行っている分野以外も効率化を図るために積極的に取り組むべき」は40代以降年代が上がるほど、割合が低くなる傾向があります。

経年比較では「現在共同で行っている分野以外も効率化を図るために積極的に取り組むべき」は、前回調査と比較して6.5ポイント低くなっています。



10. 協働のまちづくりについて

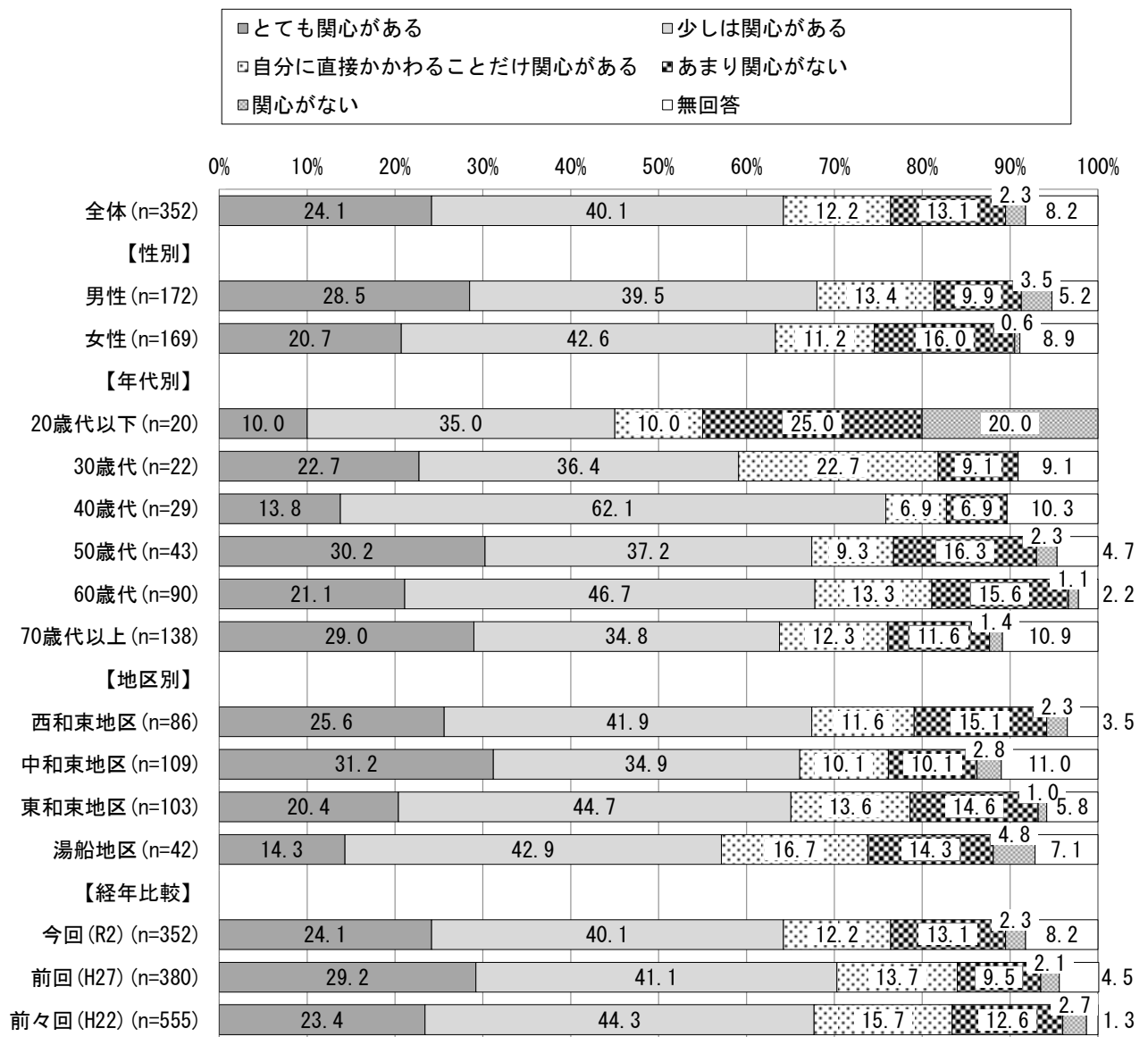
(1) まちづくりへの関心

問 30 あなたは、和束町のまちづくりの計画や取り組みに関心をお持ちですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

全体では、「とても関心がある」(24.1%)、「少しは関心がある」(40.1%)、「自分に直接かかわることだけ関心がある」(12.2%)を合わせた“関心がある“が76.4%となっています。

年代別では、40歳代で“関心がある“が82.8%と他の年代と比べて高くなっています。

経年比較では“関心がある“は、前回調査と比較して7.6ポイント低くなっています。

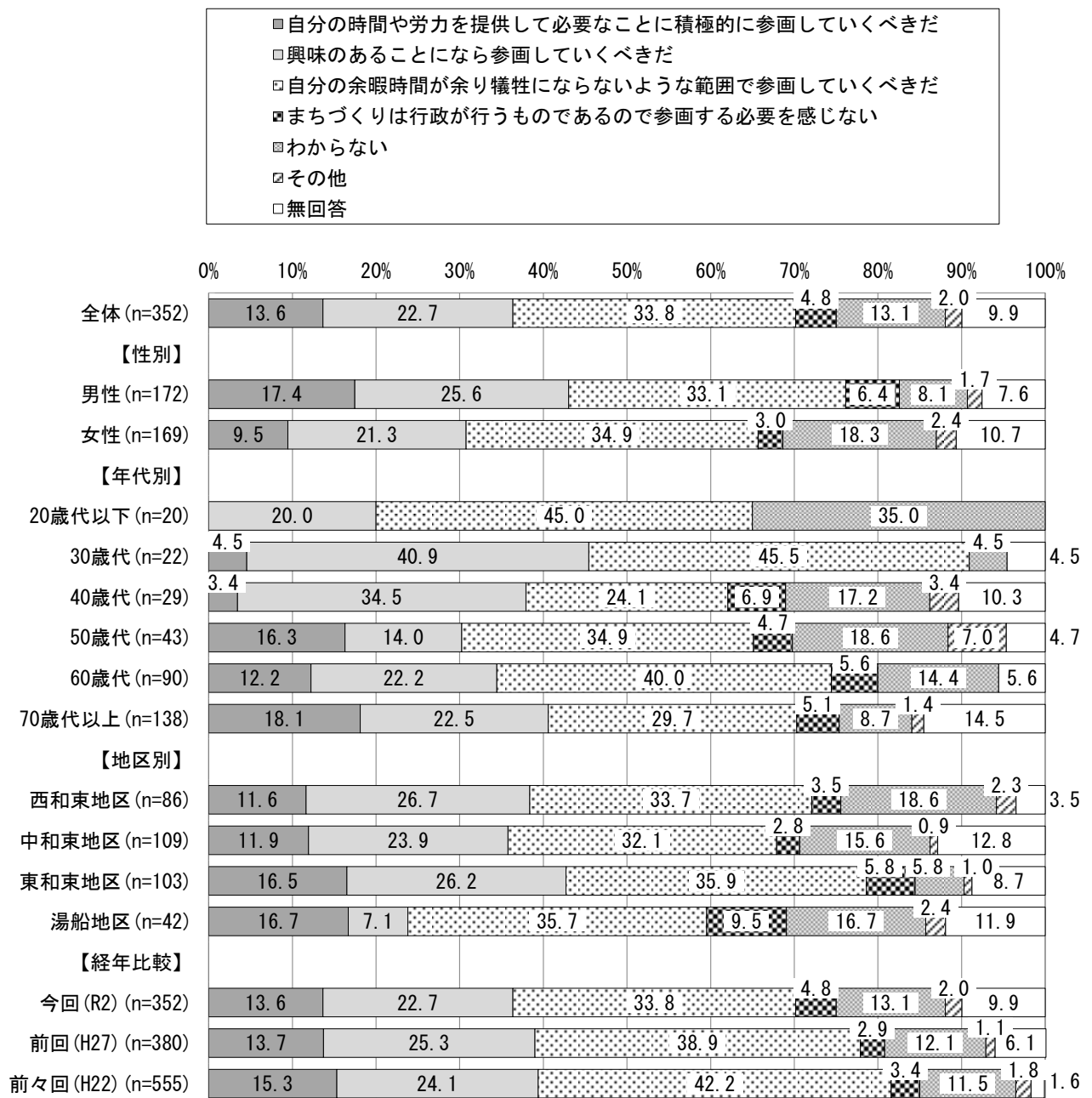


(2) 町民のまちづくりへの参画に対する考え

問 31 住民がまちづくりに参画していくことについてあなたはどのように考えますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

全体では、「自分の時間や労力を提供して必要なことに積極的に参画していくべきだ」(13.6%)、「興味のあることになら参画していくべきだ」(22.7%)、「自分の余暇時間が余り犠牲にならないような範囲で参画していくべきだ」(33.8%)を合わせた“参画していくべき”が70.1%となっています。

年代別では、30歳代で“参画していくべき”が90.9%と他の年代と比べて高くなっています。経年比較では“参画していくべき”は、前々回、前回、今回と減少傾向がみられます。

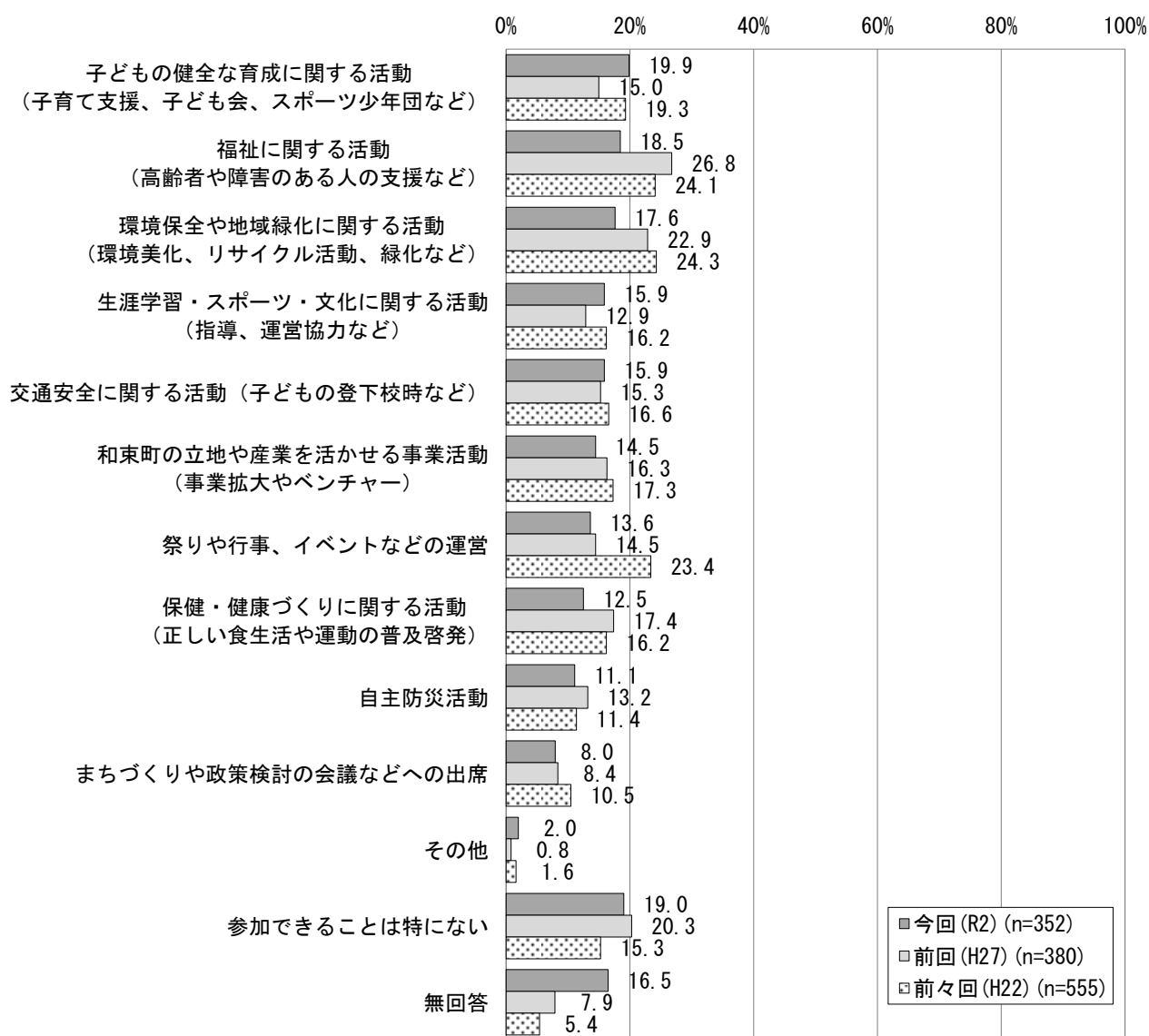


(3) 自分自身が参画したい活動

問 32 あなたが、和東町のまちづくりやボランティア活動などに参画するとしたら、現在行っているものも含めてどのようなことに参画したいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

(ア) 全体・経年比較

全体では、前回最も高かった「福祉に関する活動（高齢者や障害のある人の支援など）」を超えて、「子どもの健全な育成に関する活動（子育て支援、子ども会、スポーツ少年団など）」が19.9%と最も高くなっています。次いで「福祉に関する活動（高齢者や障害のある人の支援など）」が18.5%、「環境保全や地域緑化に関する活動（環境美化、リサイクル活動、緑化など）」が17.6%、「生涯学習・スポーツ・文化に関する活動（指導、運営協力など）」が15.9%となっています。

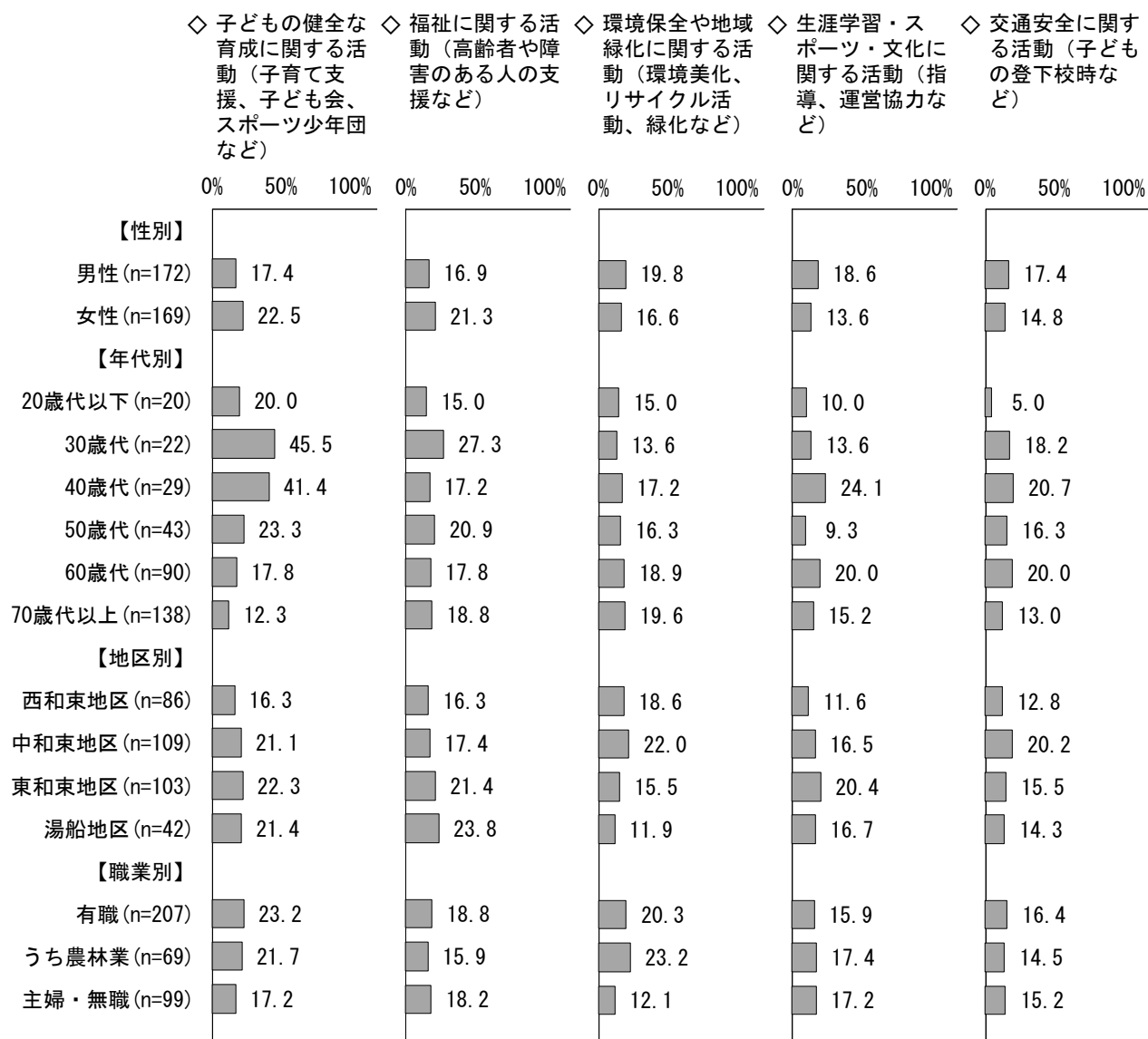


(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、男性は「環境保全や地域緑化に関する活動（環境美化、リサイクル活動、緑化など）」（19.8%）、女性は「子どもの健全な育成に関する活動（子育て支援、子ども会、スポーツ少年団など）」（22.5%）が最も高くなっています。

年代別では、年代が下がるほど、「子どもの健全な育成に関する活動（子育て支援、子ども会、スポーツ少年団など）」の割合が高くなる傾向にあります（20歳代以下を除く）。

職業別では、農林業で「環境保全や地域緑化に関する活動（環境美化、リサイクル活動、緑化など）」が23.2%と最も高くなっています。

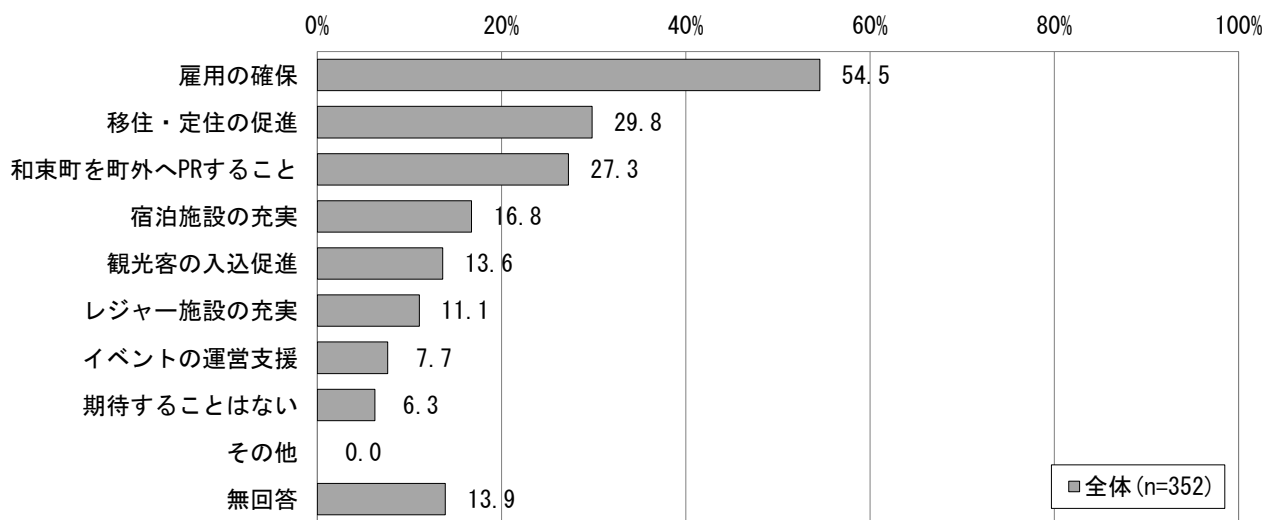


(4) 民間事業者に期待すること

問 33 和東町が地元事業者以外の民間事業者（例：宿泊施設や工場等）と協働してまちづくりを推進する場合、民間事業者にどのようなことを期待しますか。あなたが考えることを自由に記述してください。

(ア) 全体

全体では、「雇用の確保」が54.5%と最も高く、「移住・定住の促進」が29.8%、「和東町を町外へPRすること」が27.3%、「宿泊施設の充実」が16.8%と続いています。

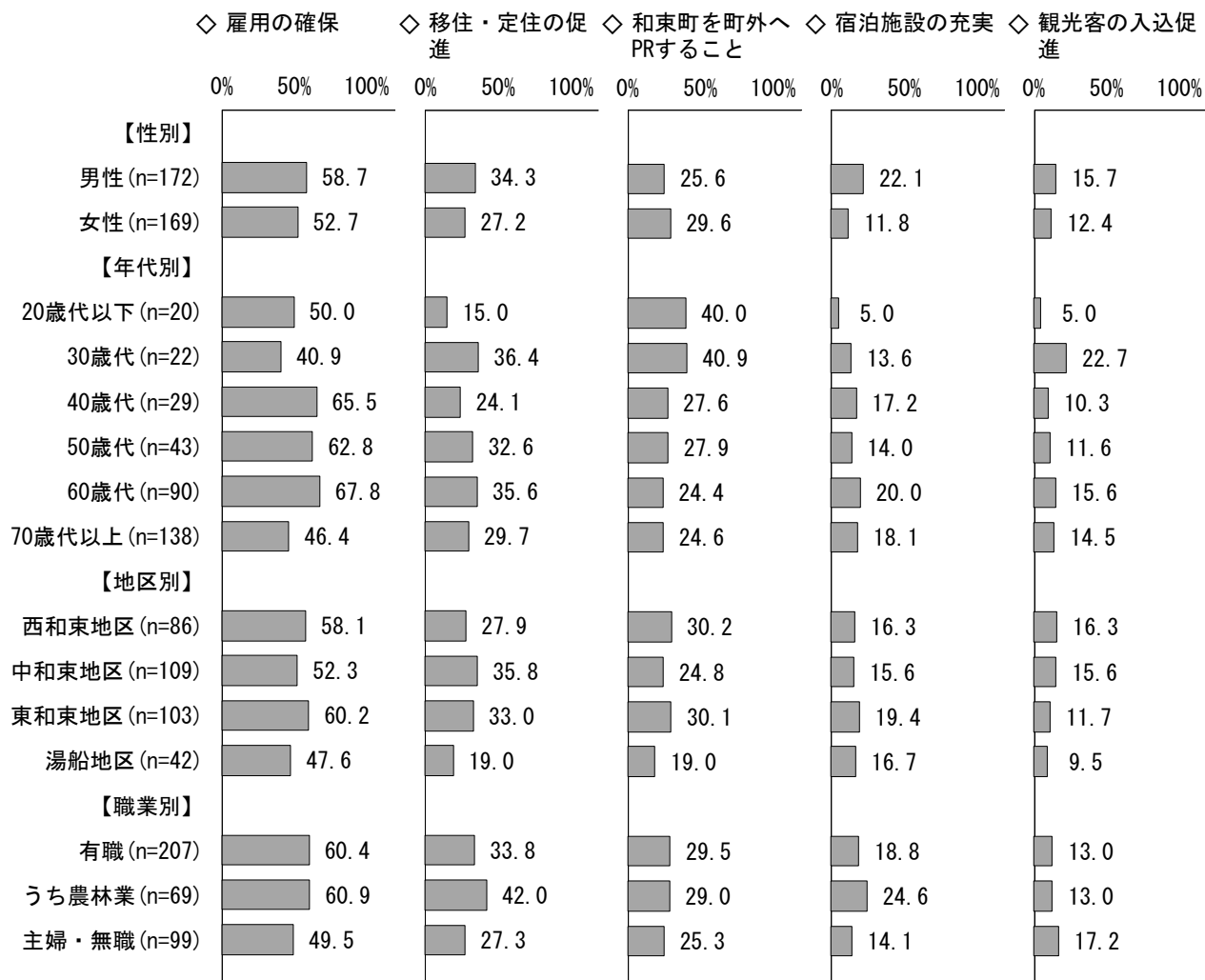


(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、「雇用の確保」、「移住・定住の促進」、「宿泊施設の充実」で男性が女性に比べ5ポイント以上高くなっています。一方、「和東町を町外へPRすること」は女性の割合が高くなっています。

年代別では、40歳代から60歳代で「雇用の確保」が6割を超えています。また、30歳代以下で「和東町を町外へPRすること」が4割以上となっています。

職業別では、農林業で「移住・定住の促進」が42.0%と他の属性に比べて高くなっています。



(5) 住民と行政の協働のまちづくりを進めるために必要だと思う取組

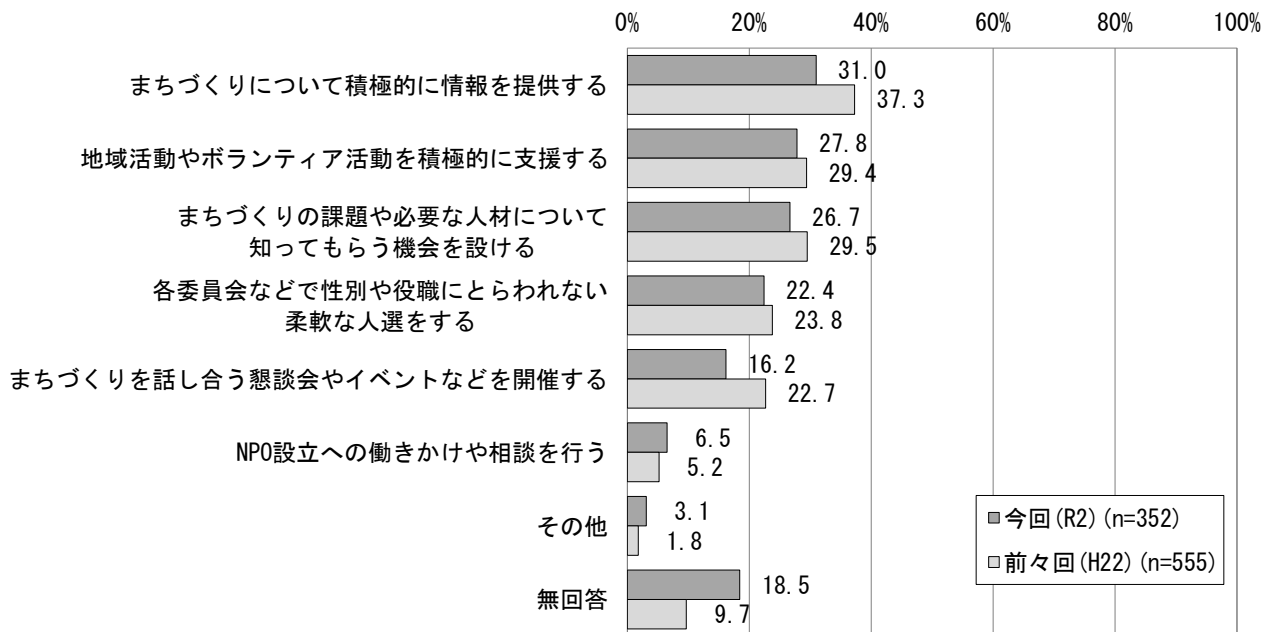
問 34 どのような取り組みをすれば、住民の皆さんと行政の協働※のまちづくりがより進むでしょうか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

※協働とは…住民、団体、事業者及び町が相互の理解と信頼により、町全体や地域などの公的な利益の増進や公共的な問題の解決といった共通の目標に向かって、対等な立場で連携・協力すること。

(ア) 全体

全体では、「まちづくりについて積極的に情報を提供する」が31.0%と最も高く、「地域活動やボランティア活動を積極的に支援する」が27.8%、「まちづくりの課題や必要な人材について知ってもらう機会を設ける」が26.7%、「各委員会などで性別や役職にとらわれない柔軟な人選をする」が22.4%と続いています。

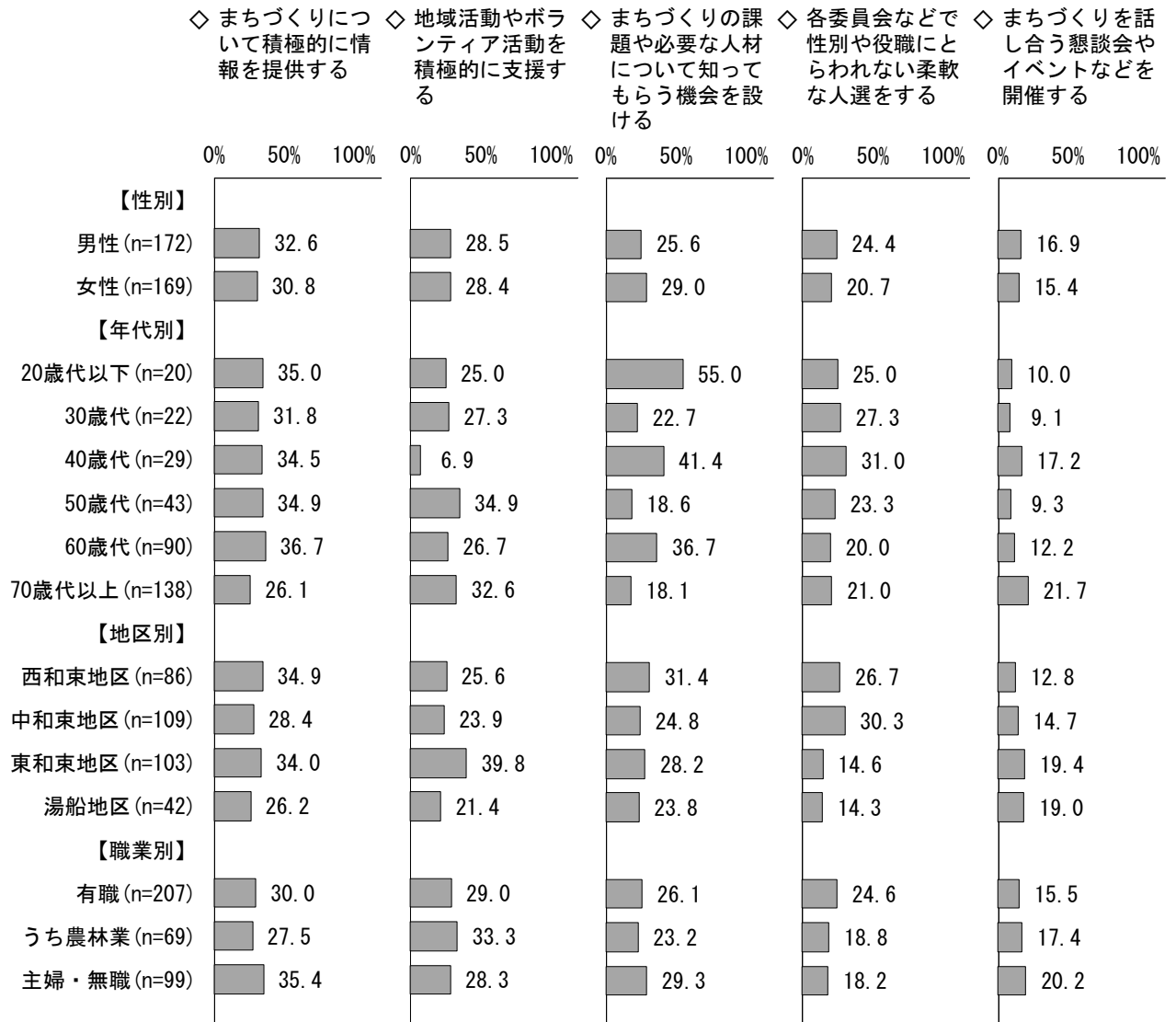
経年比較では、今回調査と前々回調査でほとんど順位に変動はみられません。なお、前々回と比べて「まちづくりについて積極的に情報を提供する」が6.3ポイント、「まちづくりを話し合う懇談会やイベントなどを開催する」が6.5ポイント低くなっています。



(イ) 属性別（上位5項目）

年代別では、20歳代以下で「まちづくりの課題や必要な人材について知ってもらう機会を設ける」が55.0%と半数を超えています。

地区別では、東和東地区で「地域活動やボランティア活動を積極的に支援する」が39.8%と、他の地区と比べて高くなっています。



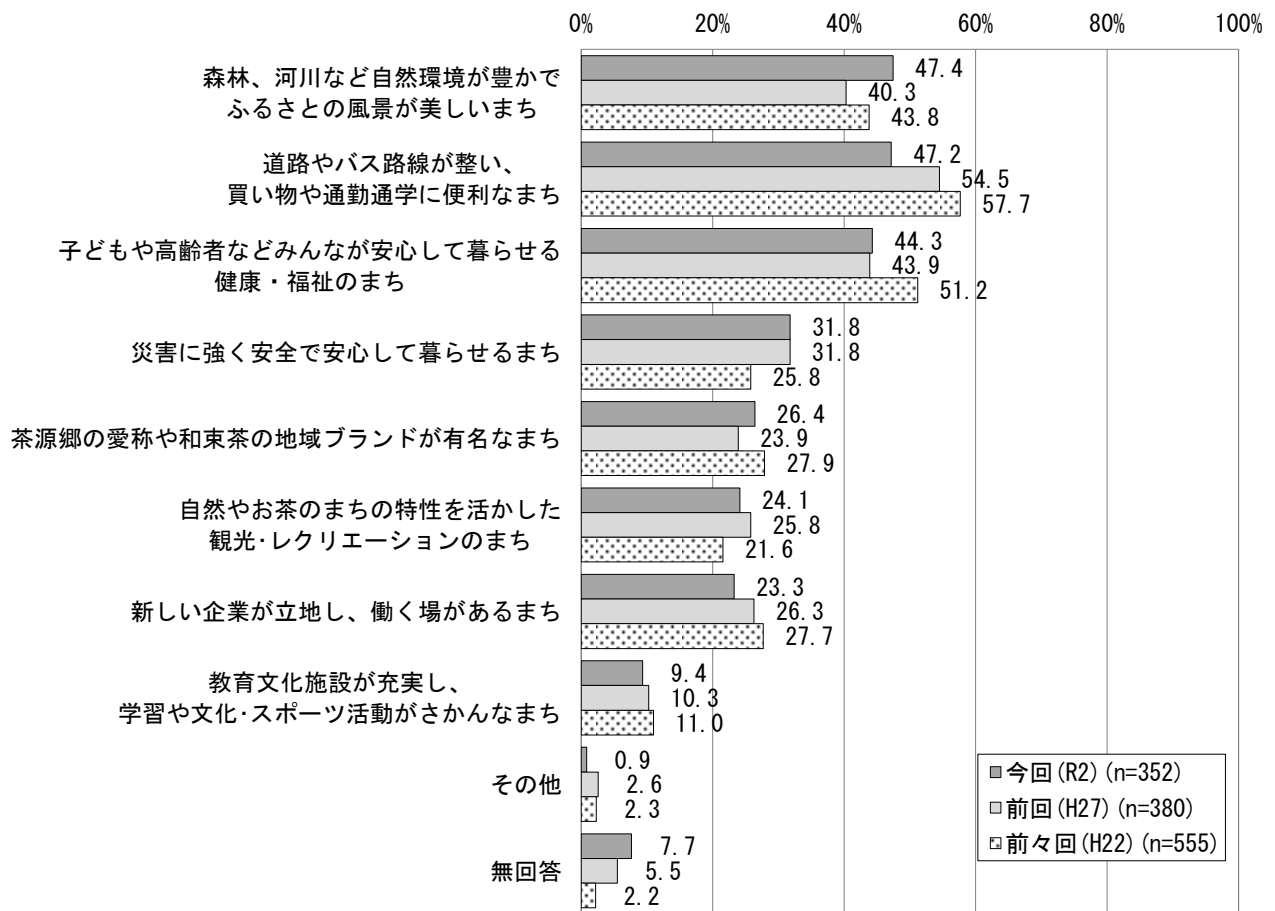
11. 和東町の将来像について

(1) 和東町が将来どのようなまちであってほしいか

問 35 あなたは和東町が将来、どのようなまちであってほしいとお考えですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

(ア) 全体

全体では、前回最も高かった「道路やバス路線が整い、買い物や通勤通学に便利なまち」を超えて、「森林、河川など自然環境が豊かでふるさとの風景が美しいまち」が47.4%と最も高くなっています。なお、「道路やバス路線が整い、買い物や通勤通学に便利なまち」は、前々回、前回、今回と減少傾向がみられます。

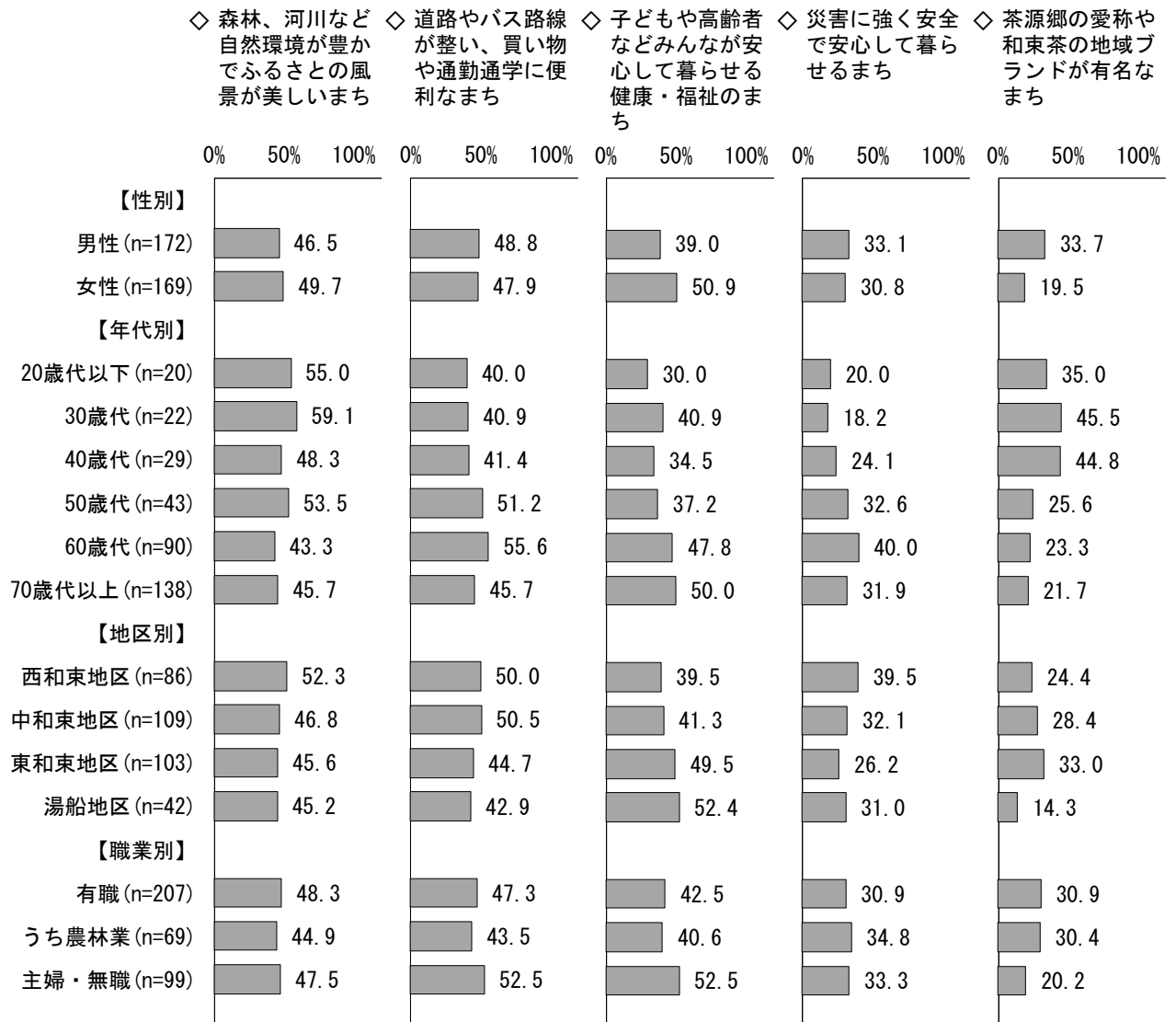


(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、「子どもや高齢者などみんなが安心して暮らせる健康・福祉のまち」は女性（50.9%）が男性（39.0%）を 11.9 ポイント上回っています。一方、「茶源郷の愛称や和束茶の地域ブランドが有名なまち」は男性（33.7%）が女性（19.5%）を 14.2 ポイント上回っています。

年代別では、50 歳代以下は「森林、河川など自然環境が豊かでふるさとの風景が美しいまち」、60 歳代は「道路やバス路線が整い、買い物や通勤通学に便利なまち」、70 歳代以上は「子どもや高齢者などみんなが安心して暮らせる健康・福祉のまち」が最も高くなっています。

地区別では、湯船地区で「茶源郷の愛称や和束茶の地域ブランドが有名なまち」が 14.3%と、他の地区と比べて低くなっています。

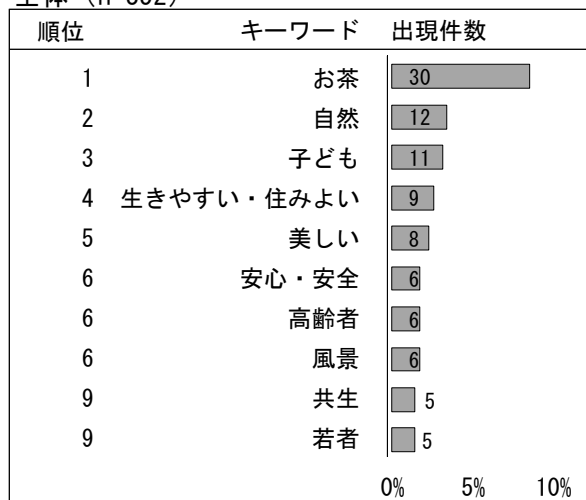


(2) 10年後の和束町のあるべき姿を表現するキーワードやキャッチフレーズ

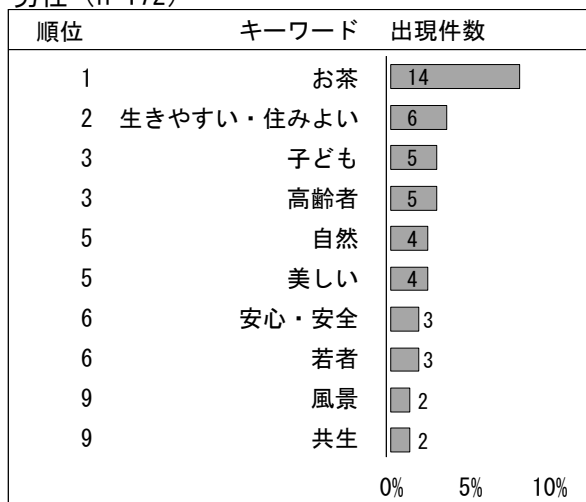
問 36 10年後の和束町のあるべき姿を、簡単なキーワードやキャッチフレーズで表現するとしたら、どのようなものが考えられますか。あなたが考えることを自由に記述してください。

全体では、「お茶」が30件と最も多く、「自然」が12件、「子ども」が11件、「生きやすい・住みよい」が9件と続いています。属性別でも、性別・年代別問わず、「お茶」が最も多くなっています。

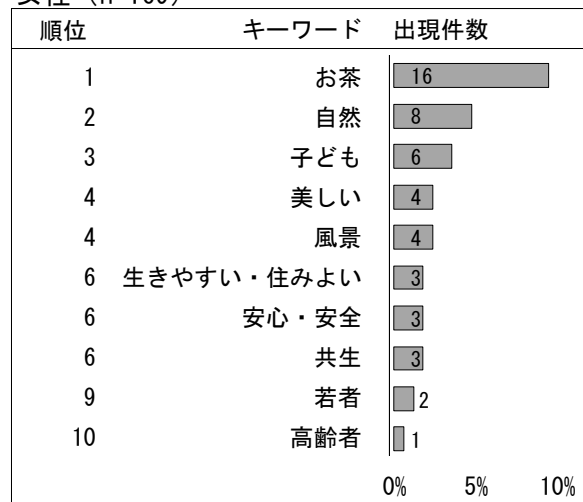
全体 (n=352)



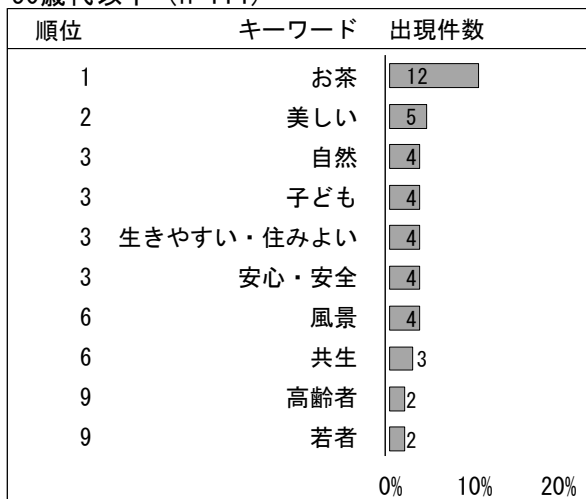
男性 (n=172)



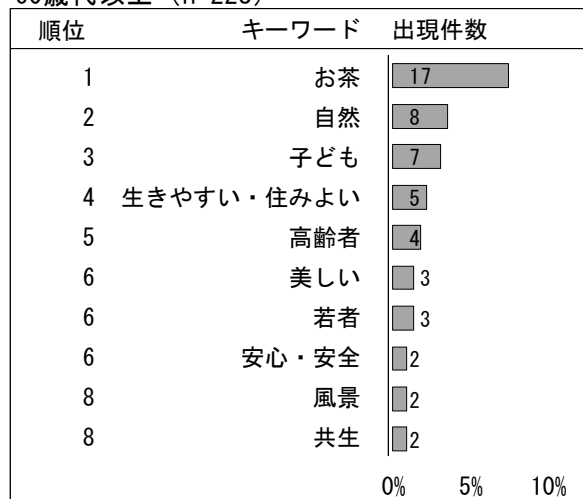
女性 (n=169)



50歳代以下 (n=114)



60歳代以上 (n=228)



(3) まちづくりに対する意見・要望

問 37 そのほか、まちづくりに対するご意見やご要望などがありましたら自由にお書き下さい。

要旨ごとのまとめは下表のとおりです。

「道路の拡張・修繕・アクセスの改善要望」が13件と最も多く、「交通手段（デマンドタクシー・コミュニティバスなど）の拡充」が8件、「制度やサービス等に関する情報提供の充実」が6件と続いています。

意見要旨	件数
道路の拡張・修繕・アクセスの改善要望	13件
交通手段（デマンドタクシー・コミュニティバスなど）の拡充	8件
制度やサービス等に関する情報提供の充実	6件
アンケート内容・設問の改善、簡略化	5件
子ども・子育て世代に対する優遇、子育て環境の充実	4件
高齢者福祉の充実	4件
茶業を継続するための人材育成・環境整備	3件
観光客のマナー、トイレ、ゴミの問題に対する不満	3件
道の駅のような施設づくり	3件
企業誘致など雇用の場の創出	3件
自然環境の保護	3件
災害時への不安	2件
水道料金値上げへの反対	2件
新しい住宅地の開発	2件
移住者に対する金銭面・税制面での優遇	2件
休耕田、廃茶園等の土地活用	2件
自然を生かしたアスレチックや公園などの整備	2件
組の体制や人間関係に関する不満	2件
空き家対策	2件
町職員の対応に関する不満	2件
町外へのまちの魅力発信	2件
その他（身の上話、漠然とした不安など）	26件
合計	101件

和束町まちづくりアンケート調査結果報告書

発行年月 令和2年（2020年）6月

発行 和束町

企画／編集 総務課

住所 〒619-1295

京都府相楽郡和束町釜塚生水 14-2

TEL：0744-78-3001（代表）

<http://www.town.wazuka.kyoto.jp/>